

Panasonic®

取扱説明書 Vol.2

メモリーカードカメラレコーダー

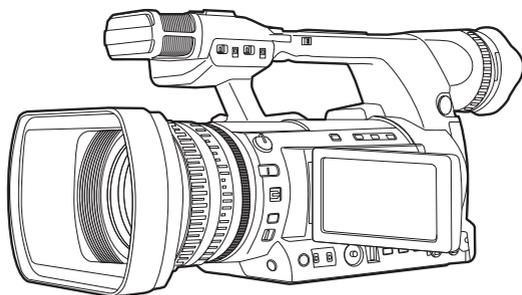
品番 **AG-AC160A**

Volume **2**

本書は、メモリーカードカメラレコーダーの詳しい操作方法について説明しています。
本機の基本操作は、製品に同梱の、「取扱説明書 Volume 1」（印刷物）をご覧ください。

AVCCAM

SDTM XC



AVCHDTM

DV

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

HDMITM HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に Volume 1 の「安全上のご注意」（6～9 ページ）を必ずお読みください。

本機の使いかた
安全上のご注意 必ずお守りください
まずお読みください
使用上のご注意

はじめに

ご使用前に
付属品
別売品

各部の名称

各部の名称

準備

バッテリーの充電

電源の準備
グリップベルトの調節
ショルダーベルトの取り付け
レンズフードの取り外し・取り付け
レンズキャップの取り外し・取り付け
アイカップの取り付け
リモコンの準備
電源の入れかた・切りかた
設定メニューの基本操作
カレンダーを合わせる

メニュー

設定メニューの構成

ご参考

保証とアフターサービス(よくお読みください)
定格

撮影

ファインダーの使いかた	4
ビューファインダーを使う	4
液晶モニターを使う	5
映像の輪郭を強調する	5
画面表示を調整する	6
バックライトの明るさを変える	7
画像の上下左右を反転させる	7
タリランプについて	8
撮影の基本操作	9
撮影準備	9
オートモードで撮影する	10
撮影した映像を確認する (REC CHECK)	10
メモリーカードアクセスランプについて	11
スロット選択について	11
メモリーカードのフォーマット	11
メモリーカードの記録時間について	12
メモリーカードを取り出す	13
メモリーカードの保護について	13
メモリーカードの修復について	14
ズーム機能を使う	15
デジタルズーム機能	15
マニュアルモードで撮影する	16
マニュアルモードに切り替える	16
ピントを合わせる(マニュアルフォーカス)	16
フォーカスアシストを使う	17
絞りを調整する	17

ゲインを調整する	18
光量調節	18
ホワイトバランスを調整する	18
1080i/480i/576i プログレッシブモードで 撮影する	21
便利な撮影機能を使う	22
ローアングル撮影	22
対面撮影	22
ゼブラパターン	22
マーカー	23
撮影状態の確認と表示	23
〈FUNCTION〉ノブを使った撮影	24
手ブレ補正機能	25
映像に効果を加える	25
USER ボタンの活用	25
逆光補正	25
カラーバー	25
映像サイズを変える	26
ウェーブフォームモニター機能	26
撮影時の音量調整	26
ショットマーク機能	27
インデックス記録 (AVCHD モードのみ)	27
[LAST CLIP] 機能	27
特殊な撮影機能を使う	28
プリレック (PRE REC)	28
インターバル記録 (AVCHD モードのみ)	28
タイムスタンプ機能	29
リレー機能	29
同時記録	30

バックアップ記録 (DV モードのみ)	31
バリエーションフレームレート (VFR) (AVCHD モードのみ)	32
シャッタースピードを調整する	35
〈SHTR/F.RATE〉ダイヤルの使い方	35
シャッターの設定	35
シンクロスキャンの設定	36
フレームレートの設定	36
シンクロスキャン	38
入力音声を切り替える	39
内蔵マイクを使う	39
外部マイクやオーディオ機器を使う	40
音声の記録レベルを自動で合わせる	41
音声の記録レベルをマニュアルで調整する	41
撮影用の設定を使い分ける (シーンファイル)	42
シーンファイルの設定変更	42
メモリーカードにシーンファイルなどを保存する	44
クリップメタデータについて (AVCHD モードのみ)	45
メタデータのアップロードなどを行う [META DATA]	46
[USER CLIP NAME] の記録方法の選択	46
カウンターを利用する	47
カウンター表示	47
TC プリセットモード	47
内蔵電池の充電 / タイムコードを設定する	48
内蔵電池の充電	48
タイムコードを設定する	48
タイムコードを指定する ([TC PRESET] 項目)	48
ユーザーズビットを設定する	50

再生

再生の基本操作	51
サムネール画面について	52
サムネール画面の基本操作	52
クリップにショットマークを付ける	54
再生スロットを選択する	54
再生の設定をする [PLAY SETUP]	55
再生フォーマットを設定する [PB FORMAT] (AVCHD モードのみ)	55
リピート再生 [REPEAT PLAY]	55
続きから再生する [RESUME PLAY]	56
スキップの方法を設定する [SKIP MODE] (AVCHD モードのみ)	56
サムネールの操作	57
サムネールの表示方法を選ぶ [THUMBNAIL]	57
クリップの削除やプロテクト (保護) な どを行う [OPERATION]	58
クリップを修復する (DV モードのみ)	59
メモリーカードのフォーマット / クリッ プやメモリーカードの情報を確認す る [CARD FUNCTIONS]	60
再生に便利な機能	62
早送り / 早戻し再生	62
クリップ送り / 戻し	62

コマ送り再生	63
音量を調整する	63
テレビやモニターに接続して見る	63
撮影日時を確認する	63

編集

外部機器を接続する	64
ヘッドホン	64
外部マイク	64
パーソナルコンピューター	65
デジタル機器	66
テレビ / モニター	67
ノンリニア編集をする	69
メモリーカード記録データの取り扱いについて	70
AVCHD モードの場合	70
DV モードの場合	70
ダビングをする	71
ブルーレイディスクレコーダーを使って ダビングする	71

表示

画面の表示	72
通常の表示	72
主なワーニング	76
画面表示内容の選択	78

メニュー

設定メニュー一覧	79
[SCENE FILE] 画面	79
[SW MODE] 画面	81
[AUTO SW] 画面	84
[RECORDING SETUP] 画面	85
[TC/UB SETUP] 画面	87
[AV OUT SETUP] 画面	88
[DISPLAY SETUP] 画面	89
[CARD FUNCTIONS] 画面	91
[USER FILE] 画面	91
[META DATA] 画面 (AVCHD モードのみ)	92
[OTHER FUNCTIONS] 画面	92
[OPTION MENU] 画面	94
[PLAY SETUP] 画面	94
[THUMBNAIL] 画面	95
[OPERATION] 画面	95

ご参考

故障?と思ったら (Q&A)	96
本機搭載ファームウェアのアップデート	100
お手入れについて	101
保管上のお願	101
海外で使う	102
AC アダプターを海外で使用するには	102
記録フォーマット一覧	102
さくいん	103

ファインダーの使いかた

本機のファインダーには、小型の液晶モニターを採用したビューファインダーと、3.45型の液晶モニターがあります。

用途や撮影条件に合わせて、使い分けてください。

- ビューファインダーや液晶モニターの映像と、モニターテレビの映像とでは、明るさや色合いが違う場合があります。

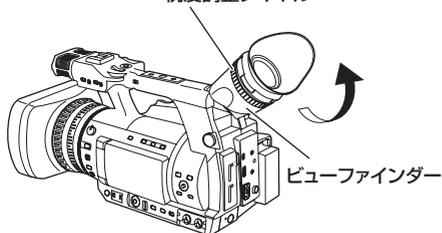
最終的な映像は、モニターテレビで確認してください。

- 液晶部には、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これらは故障ではなく、また記録された映像に影響を与えるものではありません。
- 液晶モニターに画面の焼付けが発生する場合がありますが、故障ではありません。

ビューファインダーを使う

- 1 本機のPOWER/MODEスイッチを〈ON〉にし(Vol.1の27ページ)、ビューファインダーに映像が映っていることを確認する。
- 2 ビューファインダーの画面が、一番見やすい位置にする。
ビューファインダーは、約90°まで垂直に起こすことができます。
- 3 視度調整ダイヤルで、ファインダー画面の文字がはっきり見えるように調整する。

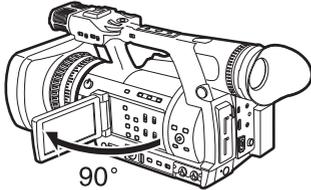
視度調整ダイヤル



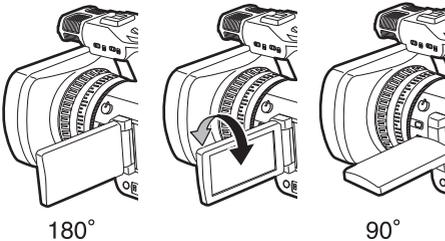
- ビューファインダーのアイピース（接眼レンズ）は、太陽や強い光源に向けたままにしない。レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因になります。
- 液晶モニターが開いているときは、ビューファインダーが表示されない場合があります。液晶モニターを閉じてください。(67ページ)

液晶モニターを使う

- 1 本機の POWER/MODE スイッチを 〈ON〉 にする。(Vol.1 の 27 ページ)
- 2 液晶モニターを開く。
開く角度は、90°までです。それ以上、無理に開くと、本機の故障につながります。



- 3 液晶モニターの画面が一番見やすい位置にする。
 - レンズ方向に 180°、手前方向に 90°まで回転します。
 - 開いた状態の液晶モニターには無理な力が掛からないようにしてください。本機が故障するおそれがあります。



- 液晶モニターを閉じる時は、確実に閉じてください。
- 対面撮影時の動作状態表示
表示なし：記録できない状態（メモリーカードなし等）

[○]：撮影中、撮影停止移行中

[■]：撮影停止（撮影待機）

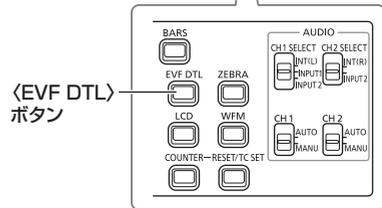
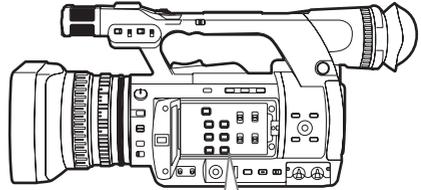
[!]：警告表示中

映像の輪郭を強調する

ビューファインダー映像や液晶モニター映像の輪郭を強調することで、フォーカスが合わせやすくなります。

輪郭を強調しても、記録される映像には影響しません。

- 1 〈CAMERA〉モードの時に 〈EVF DTL〉 ボタンを押す。
画面中央に [EVF DTL ON] と約 2 秒間表示されます。

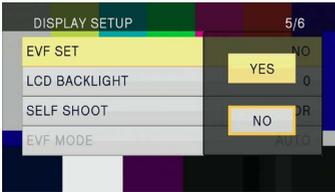


元に戻す時は、再度 〈EVF DTL〉 ボタンを押します。この時、画面中央に [EVF DTL OFF] と約 2 秒間表示されます。

画面表示を調整する

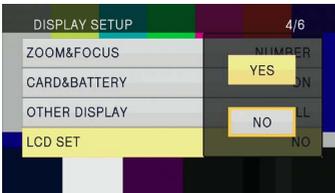
- 1 本機の POWER/MODE スイッチを 〈ON〉 にする。(Vol.1 の 27 ページ)
- 2 〈MENU〉 ボタンを押す。
 - メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「リモコン」(Vol.1 の 21 ページ) をご参照ください。
- 3 ビューファインダーの調整

設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [EVF SET] 項目で [YES] を選ぶ。



液晶モニターの調整

設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [LCD SET] 項目で [YES] を選ぶ。



- 4 設定したい項目を OPERATION レバーの 〈▲〉 または 〈▼〉 で選び、OPERATION レバーを押す。



- 5 選んだ項目を OPERATION レバーの 〈▲〉 または 〈▼〉 で調整する。



- 6 〈MENU〉 ボタンを押して、メニューモードを解除する。

- ビューファインダー表示は、設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [EVF COLOR] 項目でカラーとモノクロを選択できます。なお、解像度はどちらも同じです。

バックライトの明るさを変える

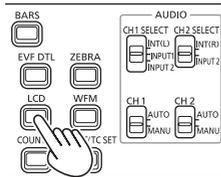
液晶モニターのパックライトの明るさを5段階で切り替えることができます。

1 設定メニュー [SW MODE] 画面の [LCD] 項目で [LCD BL] を選ぶ。

〈LCD〉ボタンに [LCD BL] が割り当てられます。

2 〈LCD〉ボタンを押す。

ボタンを押すごとに 0 (標準) → -1 (やや暗い) → -2 → -3 (暗い) → +1 (明るい) → 0 (標準) の順にバックライトの明るさが切り替わります。



- 本体の電源を切っても、設定は保持されます。
- 設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [LCD BACKLIGHT] 項目でも切り替えできます。(90 ページ)

画像の上下左右を反転させる

液晶モニターに表示される映像の上下、左右を反転することによって、画角や映像のイメージを確認することができます。

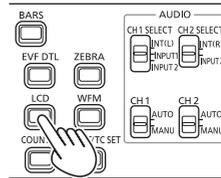
表示される映像を反転しても、記録される映像は反転されません。

1 設定メニュー [SW MODE] 画面の [LCD] 項目で [LCD REV] を選ぶ。

〈LCD〉ボタンに [LCD REV] が割り当てられます。

2 〈LCD〉ボタンを押す。

ボタンを押すごとに通常表示、反転表示が切り替わります。



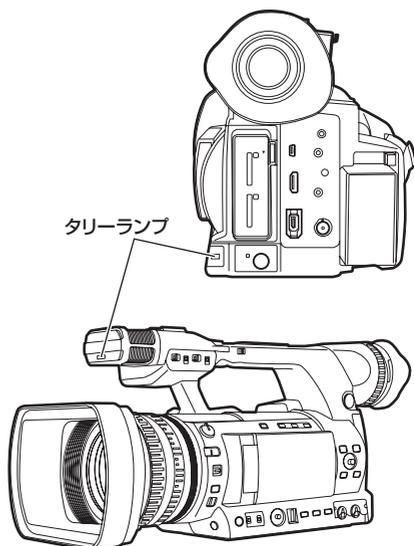
- 本機の電源を切ると、次回、電源を入れた時は通常表示されます。
- 映像以外の画面表示も反転表示されます。画面表示が不要な場合は、〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押すと、一部表示を消すことができます。
- 反転表示中は、REC CHECK 中の映像と〈PB〉モードでの再生映像も反転します。
- ビューファインダーの映像は反転しません。

タリーランプについて

[OTHER FUNCTIONS] 画面の [TALLY LAMP] 項目 (93 ページ) を [OFF] 以外に設定すると、撮影中にタリーランプを点灯させることができます。

また、本機が下記の状態の時は、タリーランプが点滅します。

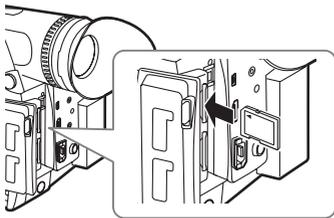
- 記録異常が発生した時 (1 秒間に 4 回)
- バッテリーの残量がなくなった時 (1 秒間に 4 回)
- メモリーカードの記録残量がなくなった時 (1 秒間に 4 回)
- バッテリーの残量が少なくなった時 (1 秒間に 1 回)
- メモリーカードの記録残量が少なくなった時 (1 秒間に 1 回)



撮影の基本操作

撮影準備

- 1 本機の POWER/MODE スイッチを〈ON〉にする。(Vol.1 の 27 ページ)
 - 動作ランプの点灯を確認してください。
- 2 メモリーカードスロットカバーの〈OPEN〉レバーを下にスライドさせて開く。
- 3 メモリーカードの切り欠きを上にしてメモリーカードスロットの奥までしっかり差し込む。
- 4 メモリーカードスロットカバーを閉じる。
 - 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。



端子側を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む

- 撮影を開始してから停止するまでが、1 クリップとして記録されます。
- 短時間記録の停止動作の場合、〈START/STOP〉ボタンを押しても、メモリーカードへの書き込み完了までに時間を要する場合があります。その場合は、すぐに〈START/STOP〉ボタンを押しても、動作を受け付けることができません。
- メモリーカード挿入直後は、メモリーカード情報の読み込みを行っていますので、動作状態表示 (73 ページ) に [PAUSE] が表示されてから、〈START/STOP〉ボタンを押して撮影を開始してください。
- 工場出荷モードは、[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz]、AVCHD モードで [PH 1080/60i]、DV モードで [DV 480/60i] の記録設定になっています。現在の設定状態を確認するには、「撮影状態の確認と表示」(23 ページ) をご参照ください。
- 1 枚のメモリーカードに、AVCHD モードで記録できるクリップ数の上限は 900 です。(ただし、POWER/MODE スイッチを〈ON〉にしてすぐに撮影するような場合に、クリップ数が 900 を超えて記録されることがあります。)
DV モードで記録できるクリップ数の上限は 900 です。

- メモリーカードアクセスランプが点滅中に下記の動作を行わないでください。メモリーカードやメモリーカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
 - メモリーカード扉を開けてメモリーカードを抜く
 - 電源を切る
 - USB2.0 ケーブルを抜き差しする
 - バッテリーを取り外す
 - 振動や衝撃を与える
- 他の機器でお使いになったメモリーカードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。(11 ページ)
- ビューファインダーや液晶モニターの画面に [CHECK CARD.] (メモリーカードを確認してください。) の表示が出た場合は、メモリーカードを取り出して、再度挿入してください。

AVCHD モード / DV モードを切り替える

- 1 本機の POWER/MODE スイッチを〈ON〉にする。(Vol.1 の 27 ページ)
- 2 〈MENU〉ボタンを押す。
- 3 設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [HD/SD MODE] 項目で [AVCHD] または [DV] を選択する。
- 4 [TURN POWER OFF] のメッセージが表示されたら、一度電源を切り、再度電源を入れる。再度電源を入れることにより、モードが切り替わります。
 - 電源の入れかた・切りかたは、Vol.1 の 27 ページをご参照ください。
 - AVCHD モードに切り替えると〈HD〉表示が青色に点灯します。
 - DV モードに切り替えると〈HD〉表示は消灯します。

オートモードで撮影する

1 本機の POWER/MODE スイッチを〈ON〉にする。(Vol.1 の 27 ページ)

- 動作ランプ (CAMERA) が赤点灯していることを確認してください。

2 〈AUTO/MANU〉スイッチを〈AUTO〉にする。

- 〔A〕がビューファインダーや液晶モニターの上部に表示されます。
- 設定メニュー [AUTO SW] 画面の項目の設定に従って、フォーカス、ゲイン、絞り、ホワイトバランスが自動調整されます。オートモード時は、USER ボタンに [FACE DETECT] 機能を割り当てることによって、顔検出機能を使うことができます。自動的に顔を検出してピントを合わせ、きれいに撮れるように明るさを調整します。[FACE DETECT] 設定時は、画面に [A/Q] が表示されます。

大きいもの、画面の中心に近いものが優先枠としてオレンジ色で囲まれ、それ以外はグレーの枠で囲まれます。顔検出枠は、最大 15 個まで画面に表示されます。

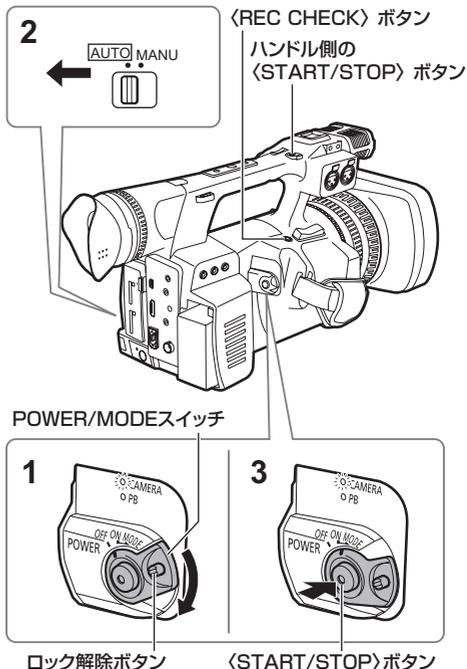
設定メニュー [SW MODE] 画面の [FACE FRAMING] 項目で [PRIMARY] に設定した場合は、オレンジ色の優先枠のみ表示されます。

- フォーカスアシスト機能 (拡大表示) の動作中は顔検出枠を表示しません。
- [FACE DETECT] 機能は、以下の場合に設定が解除されます。
 - 〈AUTO/MANU〉スイッチを〈MANU〉の位置にした場合。
 - 〈PB〉モードに切り替えた場合。
 - 本機の電源を切った場合。
- 〈AUTO/MANU〉スイッチを〈MANU〉の位置にしても、オートアイリス、オートフォーカス設定で [FACE DETECT] 機能を設定することができます。画面に [A/Q] が表示されます。

3 〈START/STOP〉ボタンを押し、撮影を開始する。

- 再度押すと撮影の一時停止状態になります。
- ローアングルで撮影する時は、ハンドル側の〈START/STOP〉ボタンを使うと便利です。誤操作防止のために〈HOLD〉スイッチでロックできます。(22 ページ)
- メニュー画面が表示されていると撮影ができません。メニュー画面を閉じてから、〈START/STOP〉ボタンを押してください。

- 撮影中にメモリーカードスロットカバーを開けると、撮影が停止します。



撮影した映像を確認する (REC CHECK)

撮影の一時停止中に〈REC CHECK〉ボタンを押すと、直前約 3 秒間の映像と音声の確認ができます。映像と音声の再生後、撮影の一時停止状態に戻ります。

- 機器を接続してバックアップ映像を記録している場合、この REC CHECK 映像も記録されます。
- 動作モードが〈PB〉モードの時は動作しません。
- 撮影後に、[REC FORMAT] を変更した場合や、〈PB〉モードに切り替えた後で〈CAMERA〉モードにした場合、メモリーカードスロットカバーを開いた場合、スロット切替を行った場合は動作しません。
- 同時記録モード時は動作しません。

メモリーカードアクセスランプについて

オレンジ色点灯：読み込み、書き込み可能

オレンジ色点滅（遅）：アクセス中

緑色点滅：書き込み保護状態、

[CHECK CARD.] 表示中のスロット、
メモリーカード残量なし

緑色点灯：選択スロット以外

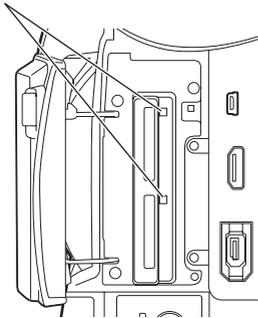
消灯：未挿入、未フォーマットのメモリーカード
未対応のメモリーカードの挿入

USB 接続時

オレンジ色点滅：アクセス中

消灯：アクセス中以外

メモリーカードアクセスランプ



スロット選択について

2つのメモリーカードスロットの内、記録先のスロットを切り替えることができます。

1 記録待機状態の時、〈SLOT SEL〉ボタンを押す。

記録先スロットのアクセスランプがオレンジ色に点灯します。

- 両方のスロットに記録可能なメモリーカードが挿入されているときに動作します。
- 記録中に、切り替えることはできません。

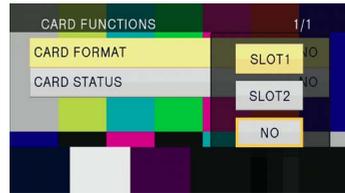
メモリーカードのフォーマット

1 本機の POWER/MODE スイッチを〈ON〉にする。(Vol.1 の 27 ページ)

2 〈MENU〉ボタンを押す。

3 設定メニュー [CARD FUNCTIONS] 画面の [CARD FORMAT] 項目で OPERATION レバーを押す。

- 下記のような画面が表示されますので、フォーマットするメモリーカードの SLOT 番号を選択してください。フォーマットしない場合は [NO] を選択してください。
- 〈MENU〉ボタンを押すと、メニュー表示が消えます。



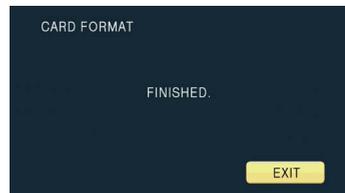
4 確認の画面で [YES] を選ぶ。

- メモリーカードがフォーマットされます。



5 〈MENU〉ボタンを押して終了する。

- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているビデオ映像を含むすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパーソナルコンピュータに保存しておいてください。



- DV モードでフォーマットされたメモリーカードは、AVCHD モードで最初に使用したシステムフォーマット (59.94 Hz または 50 Hz) のみ使用することができます。AVCHD モードでは、同じメモリーカードにシステムフォーマット 59.94 Hz で撮影したコンテンツと、システムフォーマット 50 Hz で撮影したコンテンツは、混在することができません。

メモリーカードの記録時間について

● Panasonic 製 SD/SDHC/SDXC メモリーカード使用時の記録時間（目安）

記録モード メモリー カード容量	AVCHD モード					
	PS*4 (最高画質モード*3/1920 × 1080 画素)	PH*1 (最高画質モード*3/1920 × 1080 画素 または 1280 × 720 画素)	PM*2 (長時間モード/1280 × 720 画素)	HA*1 (高画質モード/1920 × 1080 画素)	HE*2 (長時間モード/1440 × 1080 画素)	CH*2 (長時間モード/1440 × 1080 画素)
512 MB	約 1 分 40 秒	約 2 分	約 5 分	約 3 分	約 10 分	約 18 分
1 GB	約 4 分	約 5 分	約 12 分	約 7 分	約 21 分	約 36 分
2 GB	約 9 分	約 10 分	約 25 分	約 15 分	約 45 分	約 1 時間
4 GB	約 18 分	約 21 分	約 52 分	約 30 分	約 1 時間 30 分	約 2 時間 15 分
6 GB	約 30 分	約 33 分	約 1 時間 20 分	約 45 分	約 2 時間 15 分	約 3 時間 30 分
8 GB	約 40 分	約 45 分	約 1 時間 50 分	約 1 時間	約 3 時間	約 5 時間
12 GB	約 1 時間	約 1 時間 5 分	約 2 時間 50 分	約 1 時間 30 分	約 4 時間 30 分	約 7 時間
16 GB	約 1 時間 20 分	約 1 時間 30 分	約 3 時間 45 分	約 2 時間	約 6 時間	約 10 時間
32 GB	約 2 時間 40 分	約 3 時間	約 7 時間 30 分	約 4 時間	約 12 時間	約 20 時間
48 GB	約 4 時間	約 4 時間 30 分	約 11 時間 20 分	約 6 時間	約 18 時間	約 30 時間
64 GB	約 5 時間 20 分	約 6 時間	約 15 時間	約 8 時間	約 24 時間	約 40 時間

メモリー カード容量	記録モード	DV モード
		DV
512 MB		約 2 分
1 GB		約 4 分
2 GB		約 8 分
4 GB		約 16 分
6 GB		—
8 GB		約 32 分

メモリー カード容量	記録モード	DV モード
		DV
12 GB		—
16 GB		約 1 時間 4 分
32 GB		約 2 時間 8 分
48 GB		約 3 時間 12 分
64 GB		約 4 時間 16 分

■ AVCHD モード

- * 1 PH モード / HA モードで記録する場合は、SD スピードクラス 4 以上のメモリーカードをお使いください。SD スピードクラス 4 未満では記録できません。
- * 2 PM モード / HE モード / CH モードで記録する場合は、SD スピードクラス 2 以上のメモリーカードをお使いください。
- * 3 PH モード：1080i/720P での最高画質モードです。
PS モード：1080P での最高画質モードです。
- * 4 PS モードで記録する場合は、SD スピードクラス 6 以上のメモリーカードをお使いください。SD スピードクラス 6 未満では記録できません。
- 本機は VBR 記録方式を採用しています。VBR とは Variable Bit Rate（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体によりビットレート（一定時間あたりのデータ量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合は、記録できる時間が短くなります。
- 表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
- 連続して記録できる時間は最大 12 時間（AC アダプター使用時）です。
- 容量不足で記録が停止した場合でも、再度記録が開始できる場合があります。
- 同じメモリーカードであっても、記録フォーマット、記録画像などの条件により記録時間は異なる場合があります。

- 記録や削除を何度も繰り返していると、メモリーカードの記録時間が短くなる場合があります。その場合は、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパーソナルコンピューターに保存しておいてください。
- VFR 機能を使用する場合は、SD スピードクラス 6 以上のメモリーカードをお使いください。SD スピードクラス 6 未満では記録できません。

■ DV モード

- DV モードで記録する場合は、SD スピードクラス 6 以上のメモリーカードをお使いください。SD スピードクラス 6 未満では記録できません。
- 表示容量には管理領域等が含まれており、記録に使用できる容量はこれより少なくなります。
- 連続して記録できる時間は最大 12 時間（AC アダプター使用時）です。
- 記録や削除を何度も繰り返していると、メモリーカードの記録時間が短くなる場合があります。その場合は、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパーソナルコンピューターに保存しておいてください。
- メモリーカードに記録されるクリップの分割について
本機で、8 GB 以上の SDHC メモリーカードを使用した場合に、1 つのクリップの記録容量が 4 GB を超えると、自動的に別クリップとして保存されます。保存されたデータは、本機のサムネール操作時には、1 つのクリップとして操作できます。ノンリニア編集ソフトウェアやパーソナルコンピューターで操作する場合には、別々のクリップとして扱われます。

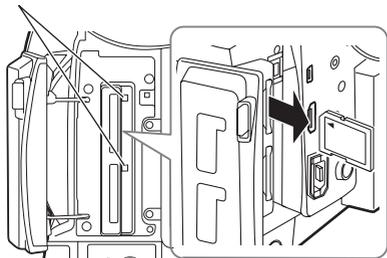
メモリーカードを取り出す

1 メモリーカードスロットカバーの〈OPEN〉レバーを下にスライドさせて開く。

- メモリーカードアクセスランプが、オレンジ色に点滅していないことを確認してください。

2 メモリーカードの中央を押し、少し出たらまっすぐ引き抜く。

メモリーカードアクセスランプ



- メモリーカードが故障する原因となりますので、以下の期間は、メモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
 - メモリーカード挿入後、オレンジ色のメモリーカードアクセスランプの点滅が、点灯に変わるまでの間。
 - 撮影中や撮影終了処理中など、メモリーカードアクセスランプが点滅している間。

メモリーカードの保護について

メモリーカードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、メモリーカードの書き込み禁止スイッチを〈LOCK〉側にします。



メモリーカードの修復について

■ AVCHD モードの場合

メモリーカードの故障の原因になりますので、メモリーカードアクセスランプが点滅中にメモリーカードを取り出したり、バッテリーや DC コードを取り外したりしないでください。万が一、メモリーカードアクセスランプが点滅中にメモリーカードを取り出した場合や、記録中や記録終了処理中にバッテリーや DC コードを取り外して電源が切れた場合は、エラーを修復するために、次に電源を入れた時に修復を確認する画面が表示されます。



[YES] を選ぶと修復が始まり、修復が終了すると、[REPAIR FINISHED] が表示され、撮影待機画面になります。

[NO] を選ぶと修復せずに撮影待機画面になります。

- [NO] を選んだ場合は、本機で修復できなくなりますが、コンテンツ修復ソフト AVCCAM Restorer (リストアラー) * を使うと修復可能です。
- エラーの発生したメモリーカードは、撮影を行ったカメラ本体、またはコンテンツ修復ソフト AVCCAM Restorer (リストアラー) を使うと修復可能です。
- エラーの発生していないメモリーカードを挿入した場合に、修復確認メッセージが表示されることがありますが、[YES] / [NO] のどちらを選択しても修復はされません。
- 修復時間は、メモリーカードのエラー発生箇所により最大 20 分前後かかる場合があります。
- 十分に充電されたバッテリー、または AC アダプターをご使用ください。
- 修復に失敗すると、[SYSTEM ERROR TURN POWER OFF] が表示されます。この場合は、コンテンツ修復ソフト AVCCAM Restorer (リストアラー) をお使いください。
- データの状態によっては、完全に修復できないことがあります。この場合は、電源が切れる前に撮影したクリップが再生できなくなります。
- 撮影時間が 10 秒未満のクリップは、修復できない場合があります。

- 撮影中に付加したインデックスは修復されません。
- 2 枚のメモリーカードに記録する同時記録の修復については、本体の修復画面の指示に従って、それぞれのメモリーカードを修復してください。
- * AVCCAM Restorer (リストアラー) は同梱の CD-ROM に収録されています。インストール方法は InstallJ.txt を参照してください。詳しい使い方は、取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。下記サイトにおいてダウンロードすることができます。
<http://panasonic.biz/sav/>

■ DV モードの場合

DV モードの場合の修復については、「クリップを修復する (DV モードのみ) (59 ページ) をご参照ください。

ズーム機能を使う

本機は、22 倍光学ズームを備えています。ズームレバー、またはズームリングでズーム動作を行います。

ズームレバー

〈ZOOM〉スイッチを〈SERVO〉位置にすると、ズームレバーでモータードライブによるズーム動作が行えます。

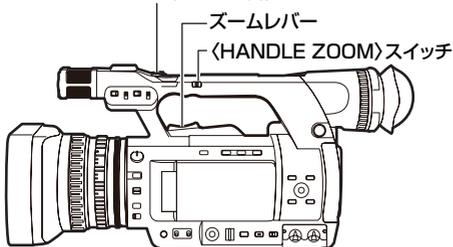
- 〈T〉：ズームイン
- 〈W〉：ズームアウト

グリップベルト側のズームレバーを軽く押すと低速でズーム動作を行い、強く押すと高速でズーム動作を行います。

ハンドル側のズームレバーで行うズーム動作のスピードは、〈HANDLE ZOOM〉スイッチで3段階に切り替えることができます。

〈HANDLE ZOOM〉スイッチのスピード設定は、設定メニュー [SW MODE] 画面の [HANDLE ZOOM] 項目で変更できます。(82 ページ)

ズームレバー(ハンドル側)

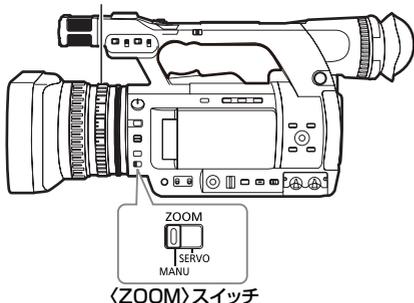


ズームリング

〈ZOOM〉スイッチを〈MANU〉位置にすると、ズームリングで手動によるズーム動作が行えます。

- 〈ZOOM〉スイッチが〈SERVO〉位置の時は手動でズーム操作を行わないでください。故障の原因になります。

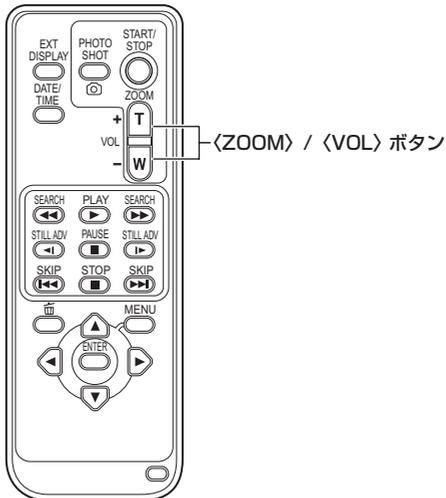
ズームリング



リモコンでの操作

〈ZOOM〉 / 〈VOL〉 ボタンを押すと、モータードライブでのズーム動作を行います。

- ズームスピードは中速に固定されています。



デジタルズーム機能

USER ボタンに、[D.ZOOM] を割り当てることによって、デジタルズーム機能を使うことができます。(25 ページ、83 ページ)

[D.ZOOM] を割り当てた USER ボタンを押すごとに、倍率が OFF (× 1) → 2 倍 (× 2) → 5 倍 (× 5) → 10 倍 (× 10) → OFF (× 1) の順に切り替わります。

- ズーム倍率が大きくなるほど画質が粗くなります。
- OFF (× 1) 以外が選択されている時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面に、現在の倍率が表示されます。
- 〈FUNCTION〉 ノブを使った AREA 機能動作時は、デジタルズーム機能を使うことができません。(24 ページ)

マニュアルモードで撮影する

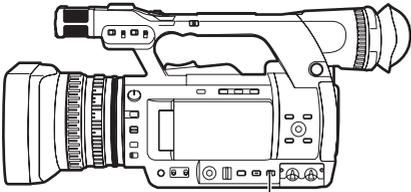
手動でフォーカス、絞り、ゲイン、およびホワイトバランスを調整する場合は、本機をマニュアルモードにします。

〈PUSH AUTO〉ボタン

〈PUSH AUTO〉ボタンを押している間は、自動で高速にピントを合わせることができます。

マニュアルモードに切り替える

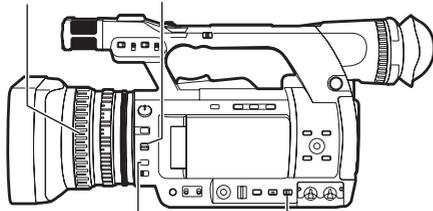
〈AUTO/MANU〉スイッチを、〈MANU〉の位置にしてマニュアルモードに切り替えます。
(ビューファインダーや液晶モニターの [A] 表示が消えます)



〈AUTO/MANU〉スイッチ

ピントを合わせる (マニュアルフォーカス)

フォーカスリング 〈FOCUS〉スイッチ



〈PUSH AUTO〉ボタン

〈AUTO/MANU〉スイッチ

マニュアルフォーカスアシストモードに切り替える
設定メニュー [SW MODE] 画面の [MF ASSIST] 項目を [ON] にすることで、マニュアルモードから切り替わります。

- マニュアルフォーカスモードと比べて、フォーカスリングの回転が約半分の操作で、フォーカスを調整 (粗調整) できます。
- フォーカスリングでの調整の後、フォーカスを自動で調整 (微調整) します。
- フォーカスのズレが大きい場合は、フォーカスが合わない場合があります。
- 自動調整実施後は、フォーカスリングを操作するまでは、次の自動調整を行いません。
- フリッカーが生じると、オートフォーカスの制御が正しく動作しない時がありますので、照明に適したシャッタースピードを選んでください。(35 ページ)
- 60i、60P 以外の時にオートフォーカスモードにすると、通常のフォーカスモードの時よりも、フォーカス制御を行う時間が若干長くなります。
- 設定メニュー [AUTO SW] 画面の [AF] 項目で [ON] が選ばれている場合、オートモードの時は 〈FOCUS〉 スイッチの位置に関係なくオートフォーカスになります。(84 ページ)
- マクロ撮影時は [AF]、[MF]、[MA] の画面表示が枠付き文字になります。

1 〈AUTO/MANU〉スイッチで、マニュアルモードに切り替える。

2 〈FOCUS〉スイッチでフォーカスの制御方法を切り替えます。

〈A〉 (AUTO) :

オートフォーカスモード
自動的にピントを合わせます。

〈M〉 (MANUAL) :

マニュアルフォーカスモード
フォーカスリングを手動で制御して、ピントを合わせます。

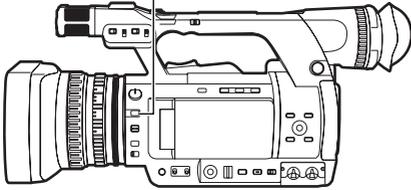
〈∞〉 :

ピント距離を無限遠に合わせた後、マニュアルフォーカスモードになります。〈∞〉の位置にしても、〈FOCUS〉スイッチは、〈M〉 (MANUAL) の位置に戻ります。

フォーカスアシストを使う

〈FOCUS ASSIST〉ボタンを押すと、映像の輪郭部分が赤色でふち取られて表示、または液晶モニターの画面中央部分が拡大表示され、ピントを容易に合わせることができます。〈FOCUS ASSIST〉ボタンを押した時のビューファインダーや液晶モニターの画面表示は、設定メニュー [SW MODE] 画面の [FOCUS ASSIST] 項目で設定することができます。

〈FOCUS ASSIST〉ボタン



[IN RED] :

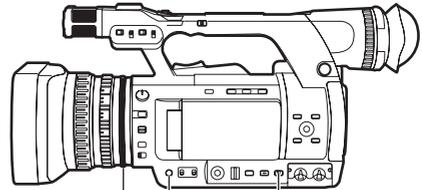
ビューファインダーや液晶モニターに表示される映像の輪郭部分が赤色でふち取られます。この時、画面枠が赤くなります。ピントを合わせたい被写体の輪郭が赤色になるように、フォーカスを調整してください。

[EXPAND] :

液晶モニターに表示される画面中央部分が、縦横ともに 2.25 倍に拡大表示されます。拡大表示中は液晶モニターの画面枠が青くなります。画面表示はカウンター、オーディオレベルメーター、アイリスメーター、アイリス表示、シャッター速度、フォーカスパー、ズーム値およびフォーカス値の表示のみになり、メッセージは表示されません。

- 拡大表示の動作中に 〈START/STOP〉ボタンを押すと、元の画面に戻り、記録中は拡大表示しません。
- メニュー表示中は拡大表示しません。
- カラーバー表示時は拡大表示しません。
- REC CHECK 機能の動作時は拡大表示しません。
- 〈FUNCTION〉ノブを使った AREA 機能動作時は拡大表示しません。
- 拡大表示の動作中に [D.ZOOM] を割り当てた USER ボタンを押すと、拡大表示は [OFF] になり、[D.ZOOM] 中は拡大表示しません。
- 拡大表示の動作中はゼブラパターン、マーカールおよびセーフティーゾーンは表示しません。
- 拡大表示の動作中に 〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押すと、拡大表示は [OFF] になります。

絞りを調整する



IRISリング

〈AUTO/MANU〉スイッチ

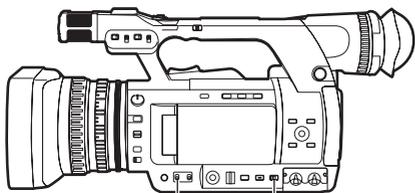
〈IRIS〉ボタン

- 1 〈AUTO/MANU〉スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(16 ページ)
- 2 〈IRIS〉ボタンを押して、レンズ絞りの調整方法を切り替える。
[AUTO IRIS] : (オートアイリス)
 絞り値を自動調整します。
[MANUAL IRIS] : (マニュアルアイリス)
 手でレンズの絞りを調整します。
- 3 マニュアルアイリスになっている時は、IRIS リングを回して、レンズの絞りを調整する。
 - オートアイリス時は、このリングでレンズの絞りを補正することができます。
 - 設定メニュー [AUTO SW] 画面の [A.IRIS] 項目で [ON] が選ばれている場合、オートモードの時は、強制的にオートアイリスになります。(84 ページ)
 - 光量の状態については、IRIS METER 表示を確認してください。IRIS METER 表示については、75 ページをご参照ください。

- 本機におけるレンズ絞りが開放の時の F 値は、レンズズームの広角側 (W) 端で [F1.6]、望遠側 (T) 端で [F3.2] になっています。ビューファインダーや液晶モニターに表示されるレンズ絞りが開放の時のアイリス表示には、広角側 (W) 端で [OPEN] が表示され、望遠側 (T) 端では [F3.2] または [OPEN] が表示されます。
- 絞りをクローズ付近にすると、光の回折現象により解像度が低下していきます。このような場合には、シャッター速度を調整して、絞りがクローズ付近にならないようにすることで改善できます。

ゲインを調整する

カメラの画面が暗い時は、ゲインを上げ、画面を明るくすることができます。



〈GAIN〉スイッチ 〈AUTO/MANU〉スイッチ

1 〈AUTO/MANU〉スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(16 ページ)

2 〈GAIN〉スイッチで、ゲインを切り替える。

〈L〉:

通常は、この位置にします。

(工場出荷時は 0 dB)

〈M〉:

カメラ映像アンプのゲインを上げます。

(工場出荷時は 6 dB)

〈H〉:

カメラ映像アンプのゲインを上げます。

(工場出荷時は 12 dB)

- 〈L〉 / 〈M〉 / 〈H〉 のゲイン値は、設定メニュー [SW MODE] 画面の [LOW GAIN] 項目 / [MID GAIN] 項目 / [HIGH GAIN] 項目で変更することができます。(81 ページ)

さらにゲインの調整が必要な場合には、

〈USER1〉 ~ 〈USER3〉 ボタンのいずれかに、

[S.GAIN] 項目を割り当てます。割り当てたボタンを押すたびに、通常ゲイン / スーパーゲインを切り替えることができます。

スーパーゲイン設定時は、[SW MODE] 画面の

[SUPER GAIN] 項目で [24dB] / [30dB] を選択できます。

- 設定メニュー [AUTO SW] 画面の [AGC] 項目で [OFF] 以外が選ばれている場合、オートモードの時は 〈GAIN〉 スwitchの位置に関係なくオートゲインになります。(84 ページ)
- 記録フレームレートが 2fps の時は、〈GAIN〉 スwitchの位置に関係なく、0 dB に固定されます。

光量調節

外光が強い時〈ND FILTER〉ダイヤルで、使用する ND フィルター (光量の調節フィルター) を切り替えることができます。

〈OFF〉:

ND フィルターを使用しません。

〈1/4〉:

光の量を、約 4 分の 1 にカットします。

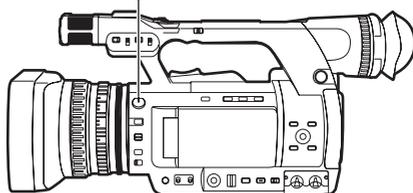
〈1/16〉:

光の量を、約 16 分の 1 にカットします。

〈1/64〉:

光の量を、約 64 分の 1 にカットします。

〈ND FILTER〉ダイヤル



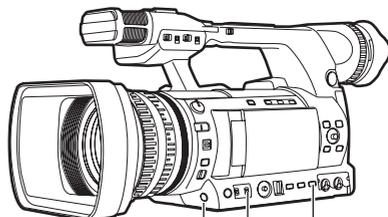
ホワイトバランスを調整する

白を正確に再現するために、RGB 三原色の比率を調整します。ホワイトバランスがずれていると、白の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

マニュアルモードで撮影する場合、照明条件が変わった時には、必ずホワイトバランスを調整し直してください。

ホワイトバランスの調整値は、〈WHITE BAL〉スイッチの 〈A〉 と 〈B〉 の位置にメモリーすることができます。

また、あらかじめメモリーされているプリセット値を使うこともできます。撮影条件に合わせて、メモリーを使い分けてください。



〈AUTO/MANU〉スイッチ

〈WHITE BAL〉スイッチ

〈AWB〉ボタン

ホワイトバランスの調整

- 1 〈AUTO/MANU〉スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(16 ページ)
- 2 シャッタースピードを設定する。(35 ページ)
- 3 被写体の照明光源と同じ条件の所にホワイトバターンを置き、ズームアップして画面全体に白を写す。
被写体近くの白い物(白布、白壁)を代用することもできます。
 - 画面内に高輝度スポットを入れないようにしてください。
- 4 〈WHITE BAL〉スイッチを〈A〉または〈B〉の位置(ホワイトバランスの調整値をメモリーする位置)にする。
- 5 〈AWB〉ボタンを押す。
 - 数秒で調整が完了します。
(下記のようなメッセージが表示されます。)
 - 調整中のメッセージ:
[AWB Ach ACTIVE]
 - 調整終了時のメッセージ:
[AWB Ach OK]
 - ホワイトバランスの自動調整ができていない時は、ビューファインダーや液晶モニターの画面にエラーメッセージが表示されます。
 - 調整できない時のメッセージ:
[AWB Ach NG]

- [ATW] (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイトバランス機能が動作している時は、ホワイトバランスの調整ができません。
- 設定メニュー [AUTO SW] 画面の [ATW] 項目で、[ON] が選ばれている場合、オートモードの時は 〈WHITE BAL〉スイッチの位置に関係なく [ATW] になります。(84 ページ)
- 下記のエラーメッセージが表示された場合、処置を行ってから再度ホワイトバランスの調整を試みてください。

エラーメッセージ	調整方法
[LOW LIGHT]	光量を多くする。 または、ゲインを上げる。
[LEVEL OVER]	光量を少なくする。 または、ゲインを下げる。

- 繰り返し試みてもエラーメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

プリセット値の利用

ホワイトバランスを調整する時間がない時に便利です。

- 1 〈AUTO/MANU〉スイッチで、マニュアルモードに切り替える。(16 ページ)
- 2 〈WHITE BAL〉スイッチを〈PRST〉の位置にする。
現在のホワイトバランス値が表示されます。
 - 〈PRST〉の位置には、3200 K と 5600 K のホワイトバランス値がメモリーされています。
 - プリセット値の目安
P3.2K (3200 K) : ハロゲンライト
P5.6K (5600 K) : 屋外
- 3 〈AWB〉ボタンを押す。
3200 K と 5600 K と VARIABLE のホワイトバランス値が順番に切り替わります。

- VARIABLE では、〈FUNCTION〉ノブを上方向に操作することにより、[P2.4K] ~ [P9.9K] まで任意のホワイトバランス値を設定することができます。
- 表示されている VARIABLE のホワイトバランス値は、絶対値を保証するものではありません。参考値としてご使用ください。
- VARIABLE のホワイトバランス値は、〈AWB〉ボタンを押すことで確認できます。
- 〈FUNCTION〉ノブの AREA 機能が動作し、枠が表示されている場合、VARIABLE の値を変更することはできません。

ブラックバランスの調整

黒を正確に再現するために、RGB 三原色のゼロレベルをそろえます。ブラックバランスがずれていると、黒の再現が悪くなるだけでなく、画面全体の色調も悪くなります。

ブラックバランスは、通常、調整直す必要はありませんが、次のような場合に調整が必要です。

- 本機を初めて使用する時
- 長時間使用しなかった後に使用する時
- 周囲の温度が大幅に変化した状態で使用する時
- GAIN やシャッタースピードを変更した時
- 〈PB〉モードから 〈CAMERA〉モードに変更した時
- [SYSTEM FREQ] を変更した時

〈AWB〉ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整し、さらにこのボタンを押し続けると、ブラックバランスの調整を行います。ホワイトバランスを調整する条件を整えてから行ってください。

調整中のメッセージ：

[ABB ACTIVE]

調整終了時のメッセージ：

[ABB END]

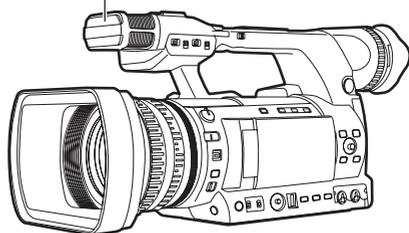
- [ATW] 機能使用中も、〈AWB〉ボタンを押し続けるとブラックバランスの調整ができます。
- 撮影中は、ブラックバランスの調整を行うことができません。

[ATW] (Auto Tracking White) 自動追尾式ホワイトバランス機能

[ATW] 機能を使用すると、撮影環境を自動的に判定して、常に最適なホワイトバランスに自動的に調整しながら撮影ができます。

設定メニュー [SW MODE] 画面の [ATW] 項目では、〈WHITE BAL〉スイッチ (〈A〉 / 〈B〉 / 〈PRST〉) のいずれかの位置) に [ATW] 機能を割り当てることができます。(82 ページ)
また、工場出荷時の設定では、オートモードで [ATW] 機能が働くようになっています。(84 ページ)

外光センサー



- 環境によっては、多少の調整誤差が発生することがあります。
- 高精度なホワイトバランス調整が必要な場合は、ホワイトバランス調整 (18 ページ) を行ってください。
- 本機には、[ATW] 機能を補助するために、外光センサーを搭載しています。[ATW] 機能を使用している撮影時には、外光センサーを手などでふさがないようにください。

1080i/480i/576i プログレッシブモードで撮影する

設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目(85ページ)で、AVCHDモードで 1080 モードの 30P、24P、25P または DV モードで 480 モードの 30P、24P、576 モードの 25P を選ぶと、プログレッシブモードで撮影できます。

30P モード :

30 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、30 コマ / 秒の画像を 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

高画質な映像を得ることができます。



24P モード :

24 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号はネイティブで記録されます。(AVCHD モードのみ)

映像信号は、24 コマ / 秒の画像を一般的な 2 : 3 変換方式で 60 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

映画感覚の映像を得ることができます。



25P モード :

25 コマ / 秒のプログレッシブモードで撮影を行います。

映像信号は、25 コマ / 秒の画像を 50 フィールドインターレース信号に変換し、出力や記録が行われます。

高画質な映像を得ることができます。



プログレッシブモードで撮影を行う場合は、次のことにお気をつけください。

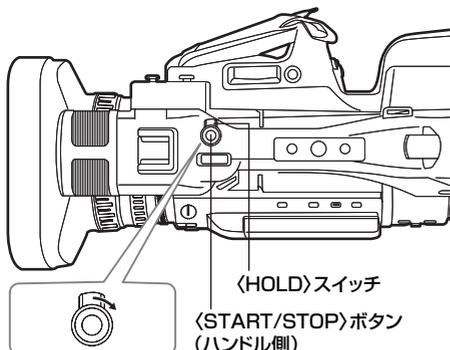
- シャッタースピードを 1/50 (OFF) に設定されることをお勧めします。
- 1080 モードの 24P モードで撮影を行う時は、4 フレーム単位で記録を行うため、記録を開始するタイミングが少し遅れることがあります。
- 480 モードの 24P モードで撮影を行う時は、5 フレーム単位で記録を行います。

便利な撮影機能を使う

ローアングル撮影

ローアングルで撮影する時は、ハンドル側の〈START/STOP〉ボタンを使うと便利です。〈HOLD〉スイッチを解除してボタンを押すと撮影を行うことができます。

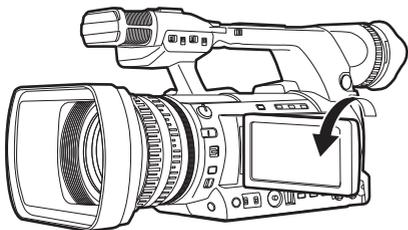
- ハンドル側の〈START/STOP〉ボタンを使用しない時は、誤操作防止のため〈HOLD〉スイッチでロックしておいてください。



時計方向に回して
ロックします

対面撮影

液晶モニターを開き、レンズ側に 180° 回転させて、撮影者自身を撮影することができます。設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [SELF SHOOT] 項目で [MIRROR] を選ぶと、液晶モニターには、左右が反転した映像が表示され、鏡を見ているイメージで撮影ができます。ただしミラーモードで撮影を行っても、記録された映像は通常に撮影されたものと同じです。鏡に映した状態では記録されません。



- 〈REC CHECK〉ボタンを押した時の再生映像は左右反転しません。
- 対面撮影時の動作状態表示
表示なし：記録できない状態（メモリーカードなし等）
[○]：撮影中、撮影停止移行中
[00]：撮影停止（撮影待機）
[!]：警告表示中
- 画面表示が一部だけになります。[!] が表示されたときは、液晶モニターを通常撮影方向に回転させて、メッセージの内容を確認してください。
- ビューファインダーで画面表示情報を確認する場合は、液晶モニターを通常撮影方向に回転させてください。
- 外部機器へは通常の映像が出力されます。

ゼブラパターン

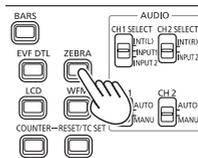
〈CAMERA〉モード時に〈ZEBRA〉ボタンを押すと、ゼブラパターンやマーカーがビューファインダーや液晶モニターに表示され、被写体の明るさを確認できます。

露出オーバーで白トビが発生する可能性のある部分を、縞模様で表示します。

- 極端に明るい部分
- 光っている部分

ゼブラパターンがなくなるように、マニュアルモードでアイリスやシャッタースピードを調整すると、白トビの少ない映像を得ることができます。

〈ZEBRA〉ボタンを押すごとに、下記のように表示が切り替わります。



[ZEBRA1] → [ZEBRA2]



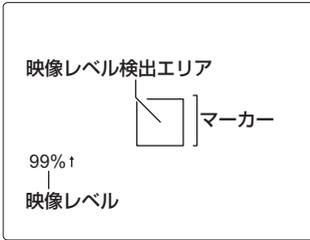
[ZEBRA OFF] ← [MARKER ON]

設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [ZEBRA DETECT1] 項目と [ZEBRA DETECT2] 項目で、それぞれのゼブラパターンのレベルを設定することができます。(89 ページ) また、[ZEBRA DETECT2] 項目を [OFF] に設定すると、〈ZEBRA〉ボタンを押しても [ZEBRA 2] が表示されなくなります。

設定されたゼブラパターンは一定時間(約 2 秒間)、[%] で表示されます。

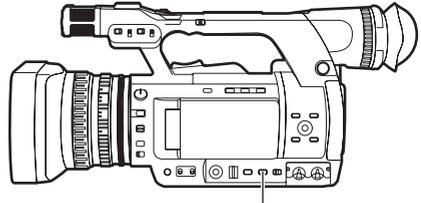
マーカー

設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [Y GET MARKER] 項目を [ON] に設定している場合、〈ZEBRA〉ボタンを押して [MARKER ON] にすると (22 ページ)、画面中央にマーカーを表示します。
画面中央付近の明度を数値で確認できます ([0%] ~ [99%])。
[99%] を超える時は、[99%↑] を表示します。



再度 〈ZEBRA〉ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

撮影状態の確認と表示



〈DISP/MODE CHK〉ボタン

撮影待機または撮影中に 〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押したままにすると、各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧など、すべての情報が表示されます。ボタンを放すと通常の表示に戻ります。

撮影待機または撮影中に 〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押すと、動作状態表示とエリアなどの枠表示、カウンター、マーカー、セーフティーゾーン表示以外のすべての表示が OFF になります。もう一度押すと通常の表示に戻ります。(78 ページ) POWER/MODE スイッチを 〈OFF〉 にして本機の電源を切る、または動作モードを切り替えても維持されます。

また、〈PB〉モードでサムネイル画面表示中に、〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押すと、選択されているクリップのプロパティが表示されます。(61 ページ) (クリップの選択は、OPERATION レバーでカーソルを移動させて行います。)

〈FUNCTION〉ノブを使った撮影

〈FUNCTION〉ノブを使って、以下の撮影を行うことができます。

- エリアオートフォーカス機能
〈FUNCTION〉ノブで選択したエリア枠内で、オートフォーカス動作を行います。
- エリアオートアイリス機能
〈FUNCTION〉ノブで選択したエリア枠内で、絞り値の自動調整を行います。[FACE DETECT]機能が設定されている場合は、設定できません。
- エリア輝度表示
〈FUNCTION〉ノブで選択したエリア枠内で、平均した輝度レベルを表示します。

1 設定メニュー [SW MODE] 画面の [FUNCTION KNOB] 項目 (81 ページ) で機能を選択する。

- [INH] : 機能を割り当てません
- [FOCUS] : エリアフォーカス機能とエリアフォーカスパー機能 (〈MENU〉設定時)
- [IRIS] : エリアアイリス機能とエリアアイリスメーター機能 (〈MENU〉設定時)
- [Y GET] : エリア輝度表示
- [FOCUS/IRIS] :
エリアフォーカス機能とエリアアイリス機能の同時動作、エリアフォーカスパー機能 / エリアアイリスメーター機能の同時動作 (〈MENU〉設定時)
- [FOCUS/Y GET] :
エリアフォーカス機能とエリア輝度表示の同時動作、エリアフォーカスパー機能 (〈MENU〉設定時)の同時動作

2 〈FUNCTION〉ノブを押す。

- 白枠が表示されます。
- 枠が表示される以外、カメラの動作に変化はありません。

3 もう一度 〈FUNCTION〉ノブを押す。

- 白枠が黄枠に変わります。
- 黄枠の時に、〈MENU〉で設定された〈FUNCTION〉ノブの機能が、枠内のエリアで動作します。
- 〈FUNCTION〉ノブをもう一度押すと黄枠が白枠に戻ります。
- [FOCUS/IRIS] の AUTO/MANUAL の切替は、通常同様に操作します。
- エリア輝度表示が動作しているときは、中央輝度表示は動作していません。
- 〈FUNCTION〉ノブを 2 秒以上押し続けると、枠が消え、エリア機能が終了します。

4 〈FUNCTION〉ノブを上下左右に操作する。

- 白枠が移動します。選択したいエリアに移動させてください。
- 〈FUNCTION〉ノブを押してください。

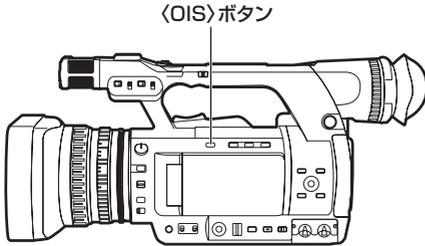
- 顔検出動作時は、エリア機能は動作しません。
- 電源 OFF や再生モードへの移行で、エリア機能は解除されます。



手ブレ補正機能

カメラを手を持って撮影する時は、手ブレ補正機能を使うことで、手ブレの少ない撮影を行うことができます。

〈OIS〉ボタンで手ブレ補正 ON/OFF の切り替えを行います。手ブレ補正が ON の時は、ビューファインダーや液晶モニターに [OIS] が表示されます。三脚を使用する時は、手ブレ補正機能を OFF にすることで、自然な映像を得ることができます。



- 大きくぶれた時や、動いている被写体を追いかけてながら撮影した場合、補正しきれないことがあります。

映像に効果を加える

[BLACKFADE] 機能や [WHITEFADE] 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、映像に効果を加えることができます。再生、REC CHECK、サムネール表示時は強制的にボタンが無効になります。

[BLACKFADE] :

ボタンを押すと映像全体を黒でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。また、ボタンを押し続けるとフェードアウトし、ボタンを放すとフェードインします。

[WHITEFADE] :

ボタンを押すと映像全体を白でフェードアウトします。この時音声も同様にフェードアウトされます。また、ボタンを押し続けるとフェードアウトし、ボタンを放すとフェードインします。

USER ボタンの活用

USER ボタンには、16 種類の機能から 1 つの機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。

被写体に合わせて、撮影する条件を瞬時に切り替えることや、フェード効果を映像に加えることができます。

工場出荷時の設定では、以下の機能が各ボタンに割り当てられています。

〈USER1〉 : [BACKLIGHT]

〈USER2〉 : [D.ZOOM]

〈USER3〉 : [SHOT MARK]

詳しくは、設定メニュー [SW MODE] 画面の [USER 1] ~ [USER 3] 項目 (83 ページ) を参照してください。

機能を割り当てた USER ボタンを押して動作させた状態で電源を切ったり、モードを移行させると、元の状態に戻ります。

逆光補正

逆光で被写体を撮影する時は、[BACKLIGHT] 機能を割り当てた USER ボタンを押します。

画面に [BACKLIGHT] が表示されます。

逆光補正用のオートアイリス制御を行い、被写体の映像が暗くなるのを防ぎます。

再度、この USER ボタンを押すと、逆光補正を解除します。(マニュアルアイリス時は、逆光補正を解除してもその時点のアイリス状態を維持します。)

カラーバー

〈CAMERA〉モードの時に、〈BARS〉ボタンを押すと、テレビや外部モニターの画質調整に便利な、カラーバーを表示することができます。再度押すと、元の映像に戻ります。

- カラーバー表示中に 1 kHz のテストトーンがヘッドホン端子、または 〈AUDIO OUT〉端子に出力されます。スピーカー出力はされません。
- [AV OUT SETUP] 画面の [TEST TONE] 項目でテストトーン出力の設定ができます。
- 〈START/STOP〉ボタンを押すと、カラーバーを記録することができます。
- カラーバー表示は電源を切ると解除されます。
- 〈PB〉モード時は 〈BARS〉ボタンは無効になります。

映像サイズを変える

DV モードで記録する場合、記録する映像のサイズ（アスペクト比）を変えることができます。設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [ASPECT CONV] 項目で選びます。

[SIDE CROP] :

標準の 4 : 3 モードで記録します。左右両端をカットします。

- [SIDE CROP] に設定した場合、液晶モニターおよびビューファインダーの左右黒帯部分に表示される情報は、外部出力には表示されません。



[LETTER BOX] :

画角を 16 : 9 にして記録します。画面の上下に黒い帯が記録されます。

- [LETTER BOX] に設定した場合、液晶モニターおよびビューファインダーには [LT.BOX] と表示され、アスペクト比 16 : 9 の映像が表示されます。



[SQUEEZE] :

カメラ映像を水平方向に圧縮して記録します。記録された映像をワイド画面に対応したモニターテレビで再生すると、アスペクト比 16 : 9 の映像になります。

- [SQUEEZE] に設定した場合、液晶モニターおよびビューファインダーには、アスペクト比 16 : 9 の映像が表示されます。



* イラストは、4 : 3 のモニター画面に外部出力を表示した場合のイメージ図です。

ウェーブフォームモニター機能

〈CAMERA〉モード中に〈WFM〉ボタンを押すと、液晶モニターに映像の波形を表示することができます。

もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。

- 設定メニュー [SW MODE] 画面の [WFM] 項目 (83 ページ) で波形表示とベクトル表示、波形 / ベクトルを切り替えることができます。
- ビューファインダーには表示されません。
- ウェーブフォームは記録できません。
- ウェーブフォーム表示中は、撮影画面の一部や画面表示がかくれて見えなくなるため、ビューファインダーを併用してお使いください。
- フォーカスアシスト機能（拡大表示）の動作中は表示されません。

撮影時の音量調整



ヘッドホンで撮影時の音声をモニターしている場合は、〈AUDIO MON/ADV〉ボタンで音量を調整することができます。

- 入力音声レベルの調整について (41 ページ)。
- 調整した音量は、POWER/MODE スイッチを〈OFF〉にして電源を切った場合に記憶します。

ショットマーク機能

クリップのサムネールに付ける目印をショットマークといいます。サムネール画面でショットマークを付けたクリップのみ選んで表示 / 再生できます。

撮影中、[SHOT MARK] 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、液晶モニターやビューファインダーに [MARK ON] と表示され、撮影中のクリップのサムネールにショットマークが設定されます。もう一度押すと解除されます。

また、クリップのサムネール操作でもショットマークの設定 / 解除が可能です。(54 ページ)

ただし、再生中はショットマークの設定 / 解除はできません。

- ショットマークの設定 / 解除ができない時は、[INVALID] が表示されます。

インデックス記録 (AVCHD モードのみ)

撮影中または再生中のクリップのある映像ポイントに、インデックスを付加する機能です。

撮影中に [INDEX] 機能を割り当てた USER ボタンを押すと、そのポイントにインデックス信号が記録されます。(83 ページ)

また、再生中にインデックスを付加したり、インデックスを付けたクリップのみ選んで表示 / 再生できます。(57 ページ)

- インデックスは 1 クリップにつき、最大 100 個まで記録できます。
- インデックスが 100 個を超えると付加操作を行っても、[INVALID] と表示されて付加できません。
- 連続してインデックスを付加する場合は、1 秒以上の間隔をあけて付加してください。1 秒以内に連続して付加操作を行っても、最初の操作しか有効になりません。

[LAST CLIP] 機能

USER ボタンに、[LAST CLIP] を割り当てると、ボタンを押すことで最後に撮影したクリップを削除することができます。

[LAST CLIP] を割り当てた USER ボタンを押すと、画面に [YES] / [NO] が表示されます。

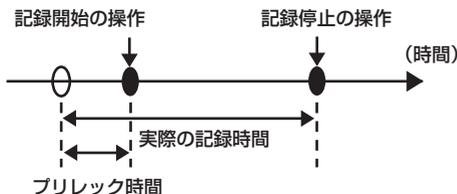
[YES] を選ぶと最後に撮影したクリップが削除されます。

- クリップを削除しない場合は、[NO] を選択してください。
- 撮影後に次のことを行った場合は、クリップを削除できません。
 - 〈PB〉モードに切り替えた場合
 - 記録フォーマットを変更した場合
 - パーソナルコンピューターと USB 接続した場合
 - 本機の電源を切った場合
 - メモリーカードスロットカバーを開けた場合
- 同時記録モード時は動作しません。

特殊な撮影機能を使う

プリレック (PRE REC)

記録開始の操作をした時点より約 3 秒前からの映像と音声を記録します。



1 設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [PREREC MODE] 項目を [ON] にする。画面に [PREREC] が表示されます。

- [TC/UB SETUP]画面の [TCG]項目が [REC RUN] に設定されている場合は、自動的に [FREE RUN] に設定が変更されます。

2 <START/STOP> ボタンを押す。

- 約 3 秒前からの映像と音声を記録します。
- 下記の場合、すぐに記録を開始しても約 3 秒前の映像と音声が記録できない場合があります。
 - <PB> モードから <CAMERA> モードへの切り替え直後
 - 電源 ON 直後
 - [PREREC MODE] 項目を変更した直後
 - プリレック機能を使って撮影したクリップのサムネールは、AVCHD モードでは、<START/STOP> ボタンを押した時点の画像が表示されます。DV モードでは、<START/STOP> ボタンを押した時点の約 3 秒前の画像が表示されます。

インターバル記録 (AVCHD モードのみ)

長時間かけてゆっくり動くシーンを、記録間隔を空けてコマ撮りをし、短時間のビデオとして記録します。

設定した記録間隔ごとに 1 コマが記録され、24 (25) コマで 1 秒の映像となります。

<CAMERA> モード時に、設定メニューの [RECORDING SETUP] 画面の [INTERVAL REC] 項目で設定します。

- [1SECOND] / [10SECONDS] / [30SECONDS] / [1MINUTE] / [2MINUTES] : 記録間隔を変更します。
[OFF] : インターバル記録を設定しません。
- 画面に [⇄] が表示されます。
- 撮影終了後、インターバル記録の設定は解除されます。
- 音声の記録はできません。
- プリレックを設定すると、インターバル記録は解除されます。

設定例	設定時間 (記録間隔)	撮影時間	記録される時間
日没	1 秒	30 分～ 1 時間	1 分 15 秒～ 2 分 30 秒
せみの羽化	10 秒	2 時間～ 4 時間	30 秒～1 分
アサガオの開花	30 秒	1 時間～ 3 時間	5 秒～15 秒

- 撮影時間は最大 168 時間です。
- 長時間の撮影には、AC アダプターをご使用ください。

- インターバル記録中に、バッテリーや AC アダプターを取り外さないでください。撮影した映像が破損したり、失われる可能性があります。
- インターバル記録を設定すると、記録モードの変更はできません。
- 光源や撮影場所によっては、色合いやピントが自動で合いません。このような場合には、手動 (マニュアル) で調整してください。
- インターバル記録を設定する場合は、記録フォーマットを下記の値に設定してください。下記の設定以外では、[INTERVAL REC] 項目がグレー表示され、設定できません。
記録フォーマット : PH モード、1080/24P (25P)
- 記録したビデオを再生する場合には、再生フォーマットを 1080/24P (25P) にしてください。
- 記録を停止した時に 24 (25) コマに達しない場合でも、1 秒の映像が記録されます。

タイムスタンプ機能

映像に重ねて、撮影日時を記録することができます。設定メニューの [RECORDING SETUP] 画面の [TIME STAMP] 項目で [ON] を選びます。タイムスタンプ機能が [ON] の時は、ビューファインダーと液晶モニターの日時表示の先頭に [R] が表示されます。また、月表示は数字から英語表示に変更されます。

- [R] は、実際の映像には記録されません。
- 撮影フォーマットによって、映像に記録される日時の文字の大きさや位置は異なります。
- 液晶モニターやビューファインダーの表示と外部出力表示では、タイムスタンプの文字サイズと位置が異なります。
- 記録される日時表示は、[DISPLAY SETUP] 画面の [DATE/TIME] 項目の設定に従います。[OFF] に設定している場合は、日時はタイムスタンプとして記録されません。
- タイムスタンプを記録したクリップを本機で再生する場合は、日時が重なって表示されるのを防ぐために、[DISPLAY SETUP] 画面の [DATE/TIME] 項目を [OFF] にしてください。〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押して表示を消すこともできます。

リレー機能

記録中のメモリーカード残量が不足した時に、もう一方のメモリーカードスロットへ記録を継続する機能です。

設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [RELAY REC] 項目を [ON] に設定する。

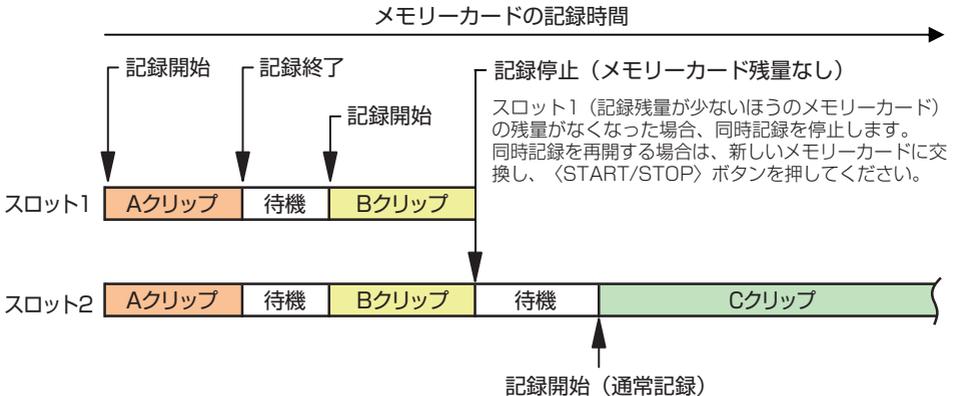
- 記録中にメモリーカード残量が不足すると自動的に、もう一方のスロットのメモリーカードへ継続して記録します。
- メモリーカードスロットに記録可能なメモリーカードが挿入されていない場合、リレー記録は動作しません。
- 本機での連続記録最長時間は 12 時間です。リレー機能を使用しても延長できません。

同時記録

メモリーカードを2つのスロットに挿入している場合、同じ映像を2枚のメモリーカードに記録する機能です。設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [SIMUL REC] 項目を [ON] にすると、同時記録モードになります。

画面のメディア残量表示には、同時記録可能な残量時間（記録残量が少ないほうのメモリーカード残量時間）が表示され、 のアイコンが表示されます。

- スロット1、2どちらかのメモリーカード残量がなくなった時点で記録を停止します。（下図は、スロット1のメモリーカード残量がなくなった場合です。）



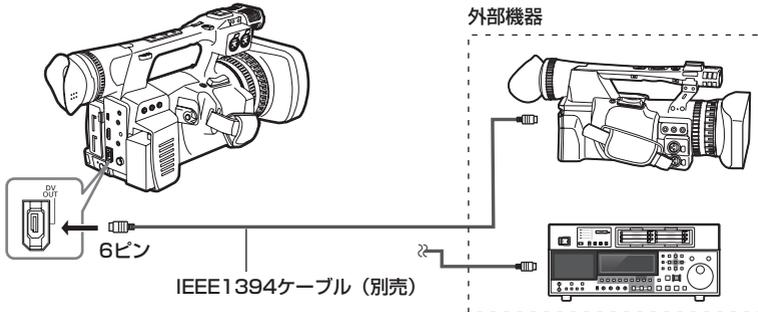
スロット1のメモリーカードを交換せずに〈START/STOP〉ボタンを押した場合は、スロット2（記録残量があるほうのメモリーカード）に通常記録を行います。

- 記録残量が同じ場合は、スロット1のメモリーカード残量が表示されます。
- 同時記録は、リレー記録、VFR記録、インターバル記録と同時に使用できません。
- 同時記録中にどちらかのメモリーカードに記録異常が発生し記録が停止した場合、もう一方のメモリーカードは継続して記録します。
- 同時記録終了後、どちらかのメモリーカードに残量がある場合は、自動的にそのメモリーカードが、記録対象のメモリーカードとして選択されます。再度〈START/STOP〉ボタンを押して通常記録ができます。
- 同時記録モード設定中に、メモリーカードが1枚しか挿入されていない場合は、通常記録になります。
- 同時記録後のREC CHECK機能は動作しません。
- 同時記録後の[LAST CLIP]機能は動作しません。
- 同時記録後、〈PB〉モードに切り替えた場合は、スロット1のメモリーカードのサムネイルが表示されます。

バックアップ記録 (DV モードのみ)

本機の〈DV OUT〉端子に接続した外部機器に、本機のカメラ映像を記録し、自動的にバックアップ記録を行うことができます。

設定メニュー [OTHER FUNCTIONS] 画面の [DV CONTROL] 項目と [DV CMD SEL] 項目で、外部機器の制御方法を設定してください。(92 ページ)



バックアップ記録を行う場合は、次のことにお気をつけください。

- バックアップ記録を行った後は、メニュー項目の設定を確認してから本機を操作してください。メニュー項目の設定は、電源を OFF にしても記憶されているため、バックアップ記録を行った設定のまま本機を使用すると、接続機器のメディアに映像を上書きしてしまうことがあります。
- バックアップ記録を行う場合、2 台以上の外部機器を接続すると正しく動作しないことがあります。
- 接続する IEEE1394 ケーブルの長さは、4.5 m までにしてください。
- バックアップ記録を行う時は、外部機器で 1394 信号を記録できる状態にしておいてください。
- 設定メニュー [OTHER FUNCTIONS] 画面の [DV CONTROL] 項目 (92 ページ) で [CHAIN] を設定してバックアップ記録を行うと、撮影中に本機のメモリーカードの記録残量が終端付近になった時に、待機中のバックアップ機器に自動的に記録を開始します。
- REC CHECK を行うと、その映像も記録されますのでお気をつけください。
- IEEE1394 ケーブルを接続するときや外すときは、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 4 ピン型の IEEE1394 端子を搭載している外部機器と接続するときは、本機の〈DV OUT〉端子 (6 ピン) を先に接続してください。
- IEEE1394 ケーブルは、二重シールドケーブルをご使用ください。

バリエブルフレームレート (VFR) (AVCHD モードのみ)

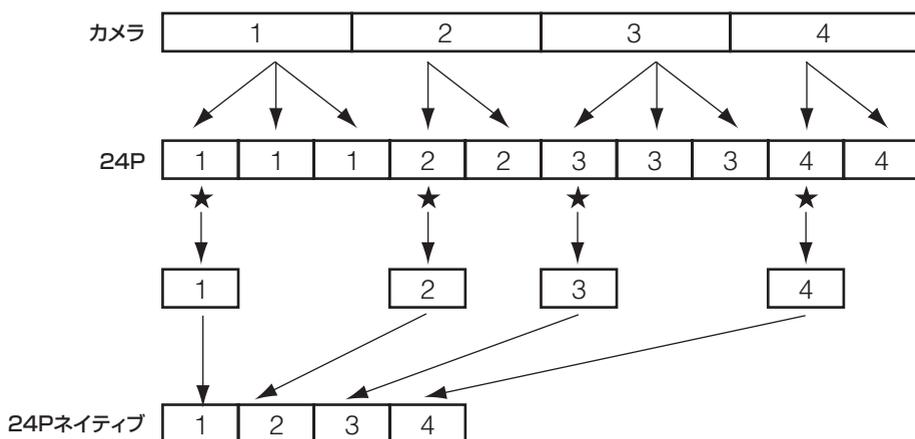
本機は、映画の手法であるコマ落とし (アンダークランク) や高速度 (オーバークランク) 撮影を、フレームレートコンバーターを使用することなく行うことができます。

- VFR 撮影は、[REC FORMAT] を [PH 1080/24P] / [PH 1080/30P] / [PH 1080/25P] に設定した撮影時のみ可能です。VFR を設定する場合は、プリレック機能を [OFF] に設定してください。プリレック機能が [ON] に設定されていると、VFR の設定ができません。また、720P モードでは動作しません。
- VFR を設定すると、インターバル記録、リレー記録、同時記録機能は、自動的にすべて [OFF] に設定され、[TCG] は自動的に [REC RUN] に設定されます。
- インターバル記録、リレー記録、同時記録、プリレック機能とは併用できません。
- 記録中にフレームレートを変更することはできません。
- 記録フレームレートの設定が低くなるほど、撮影終了後のメモリーカードにアクセスする時間が長くなります。メモリーカード取り出し時は、メモリーカードアクセスランプが点滅していないことを確認の上、取り出してください。

24P モード：

24 コマ / 秒のネイティブモードで撮影を行います。映像信号は、24 コマ / 秒の画像が 24 フレームに記録されます。

★：有効フレーム



記録フレームレートは、下記表の 23 通りの中から設定できます。

表示される記録フレームレートと実際に記録されるフレームレートには若干の誤差があります。下表をご参照ください。表の上段が記録フレームレート (fps)、下段が実際に記録されるフレームレート (fps) です。

[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時、[REC FORMAT] = [PH 1080/24P] / [PH 1080/30P]

60	54	48	44	40	36	34	32	30	28	27	26	25	24	22	21	20	18	15	12	9	6	2
59.94	53.95	47.96	44.07	39.97	35.96	34.06	32.11	29.97	28.10	26.97	25.84	24.98	23.98	22.48	20.75	19.98	17.98	14.99	11.99	8.99	5.99	2.00

[SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時、[REC FORMAT] = [PH 1080/25P]

50	48	45	42	37	34	32	30	28	27	26	25	24	23	22	21	20	18	15	12	9	6	2
50.00	48.08	45.00	42.19	36.76	34.09	32.14	30.00	28.13	27.00	25.96	25.00	24.04	23.08	22.06	20.89	20.00	18.00	15.00	12.50	9.00	6.25	2.00

ネイティブ記録

- 1 設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目 (85 ページ) で記録フォーマット [PH 1080/24P] *1 を選ぶ。
- 2 設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [VFR MODE] 項目を [ON] にして、[FRAME RATE] 項目 (79 ページ) で任意の記録フレームレートを設定する。
- 3 <START/STOP> ボタンを押す。
VFR モードでネイティブ記録を開始します。

- VFR モード設定時は、音声記録されません。画面に [REC] が表示され、オーディオレベルメーターのレベル表示はしません。撮影を開始すると、[VFR ON = NO AUDIO RECORDING] が約 5 秒間表示されます。また、外部出力端子から音声出力されません。
- 低フレームレート (12P 以下) に設定すればするほど、撮影が終了してからメモリーカードにアクセスする時間が長くなります。メモリーカード取り出し時は、メモリーカードアクセスランプが点滅していないことを確認してから取り出してください。

スタンダード記録

- 1 設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目 (85 ページ) で記録フォーマット [PH 1080/30P] *1 または [PH 1080/25P] *2 を選ぶ。
- 2 設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [VFR MODE] 項目で [ON] にして、[FRAME RATE] 項目 (79 ページ) で任意の記録フレームレートを設定する。
- 3 <START/STOP> ボタンを押す。
VFR モードでスタンダード記録を開始します。

- VFR モード設定時は、音声記録されません。画面に [REC] が表示され、オーディオレベルメーターのレベル表示はしません。撮影を開始すると、[VFR ON = NO AUDIO RECORDING] が約 5 秒間表示されます。また、外部出力端子から音声出力されません。
- 記録フレームレート 30P、25P は 2 : 2 プルダウン記録になります。
- 低フレームレート (12P 以下) に設定すればするほど、撮影が終了してからメモリーカードにアクセスする時間が長くなります。メモリーカード取り出し時は、メモリーカードアクセスランプが点滅していないことを確認してから取り出してください。

* 1 [SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時

* 2 [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時

バリエブルフレームレート (VFR) の活用

映画制作のための標準速撮影

スクリーン上映を目的とした制作の場合、フィルム上映時と同じ 24 fps (毎秒 24 コマ) のフレームレートが通常 (1 倍速) となります。以下の設定にすれば上映時と同じ再生を得ることができます。1080P プログレッシブとシネライクガンマによりフィルムライクな高画質映像が得られます。

記録フォーマット [REC FORMAT]	記録フレームレート [FRAME RATE]
[PH 1080/24P] (ネイティブ記録)	24 fps*

CM/ドラマ制作のための標準速撮影

テレビ画面上映を目的とした制作の場合、30 fps (毎秒 30 コマ) のフレームレートが通常 (1 倍速) となります。以下の設定にすれば放送時と同じ再生を得ることができます。CM、ミュージックリップの収録がフィルムライクな高画質で、しかもテレビ放送に適したコマ数で可能です。

記録フォーマット [REC FORMAT]	記録フレームレート [FRAME RATE]
[PH 1080/30P] (2 : 2 プルダウン)	30 fps*
[PH 1080/25P]	25 fps*

アンダークランク撮影

雲の流れ、雑踏の中に立つ人物、カンフーなどの演出に用いられるクイックモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 24P で撮影した場合、VFR 記録フレームレートを 12 fps にすれば 2 倍速のクイックモーション効果が得られます。

記録フォーマット [REC FORMAT]	記録フレームレート [FRAME RATE]
[PH 1080/24P]	22 fps 以下に設定*
[PH 1080/30P]	28 fps 以下に設定*
[PH 1080/25P]	24 fps 以下に設定*

オーバークランク撮影

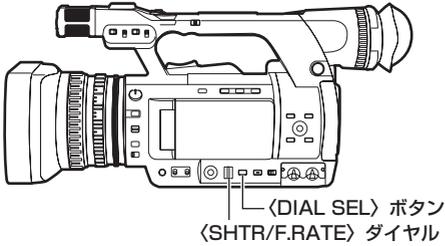
カーチェイスやアクション、クライマックスシーンなどのドラマチックな演出に用いられるスローモーション効果です。例えば再生フレーム指定するための記録フォーマット 30P で撮影した場合、記録フレームレートを 60fps にすれば 1/2 倍速のスローモーション効果が得られます。1080P プログレッシブ映像が滑らかで高画質のスローモーションを生み出します。

記録フォーマット [REC FORMAT]	記録フレームレート [FRAME RATE]
[PH 1080/24P]	25 fps 以上に設定*
[PH 1080/30P]	32 fps 以上に設定*
[PH 1080/25P]	26 fps 以上に設定*

* 記録フレームレート [FRAME RATE] は 23 種類からの選択になります。(36 ページ)

シャッタースピードを調整する

〈SHTR/F.RATE〉ダイヤルの使い方



1 〈DIAL SEL〉ボタンを押す。

- 〈SHTR/F.RATE〉ダイヤルの役割が、以下の順に切り替わります。
[DIAL SHUTTER] → [DIAL SYNCHRO SCAN] → [DIAL FRAME RATE] → [DIAL LOCK]
- [DIAL SYNCHRO SCAN] は、〈DIAL SEL〉ボタンを押して [DIAL SHUTTER] を選択し、〈SHTR/F.RATE〉ダイヤルを回してシンクロスキャンに設定すると、選択できます。
- [DIAL FRAME RATE] は、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目が、[PH 1080/24P] または [PH 1080/30P] (または [PH 1080/25P]) に設定されている場合、選択できます。

- ダイヤル操作を約 12 秒間行わなかった場合、自動的に [DIAL LOCK] が設定されます。再度操作する場合は、〈DIAL SEL〉ボタンを押してください。最後に操作したモードの状態に戻ります。また、誤動作防止のため、〈DIAL SEL〉ボタンで [DIAL LOCK] を設定することもできます。

シャッターの設定

1 〈DIAL SEL〉ボタンを押して、[DIAL SHUTTER] を選択する。

2 〈SHTR/F.RATE〉ダイヤルを押す。

- 〈SHTR/F.RATE〉ダイヤルを押すたびに、シャッターが ON/OFF します。
- ON にした状態で 〈SHTR/F.RATE〉ダイヤルを回すと、シャッタースピードが 37 ページの表の順で変化します。

- シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低下します。
- シャッタースピードを遅くした場合には、合焦時間が長くなるため、三脚などに固定して撮影することをお勧めします。
- 蛍光灯などの放電管による照明下では、画面上に横帯が現れることがあります。この時、シャッタースピードを調整すると改善される場合があります。
- すばやく横切る被写体を撮影すると、少し歪んで見えることがあります。これは、撮像素子 (MOS センサー) の信号読み出し方式によるものであり、故障ではありません。
- シャッタースピードが遅いとき (1/6 ~ 1/15 など) に、画面に白・赤・緑・青等の点が出ることがありますが、故障ではありません。

シンクロスキャンの設定

- 1 <DIAL SEL> ボタンを押して、[DIAL SHUTTER] を選択する。
- 2 <SHTR/F.RATE> ダイアルを回してシンクロスキャンに設定する。
- 3 <DIAL SEL> ボタンを押して、[DIAL SYNCHRO SCAN] を選択する。
- 4 <SHTR/F.RATE> ダイアルを回す。
 - シンクロスキャンのシャッタースピードを設定できます。
 - <SHTR/F.RATE> ダイアルを押しながら回すと、シャッタースピードの変化が速くなります。
 - シンクロスキャンの設定は、設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [SYNCHRO SCAN] 項目でも設定できます。

-
-
- 設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [SYNC SCAN TYPE] 項目により、設定形式が変わります。

[deg.] : 角度表示 (180.0d など)
[sec] : 速度表示 (1/48.0 など)

フレームレートの設定

- 1 <DIAL SEL> ボタンを押して、[DIAL FRAME RATE] を選択する。
- 2 <SHTR/F.RATE> ダイアルを押す。
<SHTR/F.RATE> ダイアルを押すたびに、VFR OFF とフレームレート設定モードが切り替わります。
 - <SHTR/F.RATE> ダイアルを回すと、フレームレートを設定できます。
 - フレームレートの設定は、設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [FRAME RATE] 項目でも設定できます。

-
-
- フレームレート機能をご使用になるには、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目が、[PH 1080/24P] または [PH 1080/30P] (または [PH 1080/25P]) に設定されている必要があります。
 - 設定メニュー [AV OUT SETUP] 画面の [SDI 24PsF] 項目が [ON] に設定されていると、フレームレート機能は設定できません。
-
-

■ AVCHD モード ([VFR MODE] = [ON] 設定時)

[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz]

1080/24P 時	
標準 (OFF) 1/50	[SYNCHRO SCAN] ↔ 1/24 ↔ 1/60 ↔ 1/120 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250
1080/30P 時	
標準 (OFF) 1/50	[SYNCHRO SCAN] ↔ 1/30 ↔ 1/60 ↔ 1/120 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250

[SYSTEM FREQ] = [50Hz]

1080/25P 時	
標準 (OFF) 1/50	[SYNCHRO SCAN] ↔ 1/25 ↔ 1/60 ↔ 1/120 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250

* [VFR MODE] = [ON] 設定時 シャッター設定の注意点
フレームレートの設定値により、シャッター値が変更となることがあります。
シャッター値が変更になった場合は、「(1/25)」のようにカッコを付けて表示します。

■ AVCHD モード ([VFR MODE] = [OFF] 設定時) および DV モード時

[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz]

1080/60i、720/60P、480/60i 時	
標準 (OFF) 1/60	[SYNCHRO SCAN] ↔ 1/8 ↔ 1/15 ↔ 1/30 ↔ 1/100 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120
1080/30P、720/30P、480/30P 時	
標準 (OFF) 1/50	[SYNCHRO SCAN] ↔ 1/8 ↔ 1/15 ↔ 1/30 ↔ 1/60 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120
1080/24P、720/24P、480/24P 時	
標準 (OFF) 1/50	[SYNCHRO SCAN] ↔ 1/6 ↔ 1/12 ↔ 1/24 ↔ 1/60 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120

[SYSTEM FREQ] = [50Hz]

1080/50i、1080/25P、720/50P、720/25P、576/50i、576/25P 時	
標準 (OFF) 1/50	[SYNCHRO SCAN] ↔ 1/6 ↔ 1/12 ↔ 1/25 ↔ 1/60 ↓ 1/2000 ↔ 1/1000 ↔ 1/500 ↔ 1/250 ↔ 1/120

シンクロスキャン

テレビ画面やパーソナルコンピューターのモニター画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードは、〈SHTR/F.RATE〉ダイヤル(35ページ)、または設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [SYNCHRO SCAN] 項目で設定します。(79ページ)

- テレビ画面やパーソナルコンピューターのモニター画面の周波数に合わせて、シャッタースピードを調整すると、テレビ画面を撮影した時に発生する水平方向のノイズを最小限にして、撮影することができます。
- プログレッシブモードにすると、PAL 方式で再生しているテレビ画面を撮影することもできます。
- 設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [SYNCHRO SCAN] 項目の設定値がグレー表示の場合は、現在の記録フォーマットでは有効になりません。記録フォーマットごとの設定値で動作します。

記録フォーマットごとの設定値は以下になります。([SYNC SCAN TYPE] = [sec] 時)

60i/60P モード：1/60 秒

30P モード：1/30 秒

24P モード：1/24 秒

50i/50P モード：1/50 秒

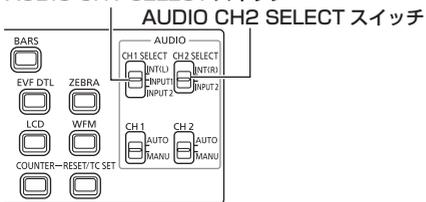
25P モード：1/25 秒

-
-
- プログレッシブモードは、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目(85ページ)で切り替えることができます。
-
-

入力音声を切り替える

撮影時は、最大 2 チャンネルの音声を記録することができます。また、それぞれのチャンネルに記録する入力音声を、内蔵マイク、外部マイク、あるいは接続したオーディオ機器に切り替えることができます。

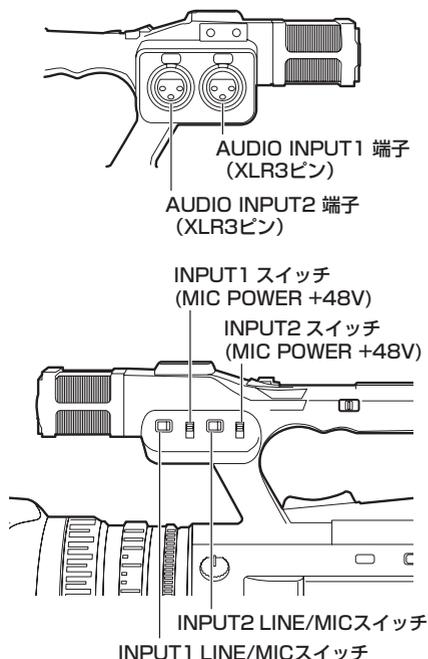
AUDIO CH1 SELECT スイッチ



内蔵マイクを使う

- 1 AUDIO CH1 SELECT スイッチを 〈INT(L)〉の位置にする。**
 - 内蔵マイク Lch の音声信号が音声チャンネル 1 に記録されます。
- 2 AUDIO CH2 SELECT スイッチを 〈INT(R)〉の位置にする。**
 - 内蔵マイク Rch の音声信号が音声チャンネル 2 に記録されます。

外部マイクやオーディオ機器を使う



1 AUDIO INPUT1/2 端子 (XLR3 ピン) に外部マイクまたはオーディオ機器を接続する。(64 ページ)

2 INPUT1 LINE/MIC スイッチまたは INPUT2 LINE/MIC スイッチで、接続した音声入力信号を切り替える。

〈LINE〉：(オーディオ機器を接続した時)
入力レベルは 0 dBu です。

〈MIC〉：(外部マイクを接続した時)
入力レベルの工場出荷時の設定は -50 dBu です。
設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [MIC GAIN1] 項目と [MIC GAIN2] 項目で入力レベルを [-40dB] または [-60dB] に変更することができます。(86 ページ)ただし、[-60dB] に設定すると感度が高くなり、ノイズ等が記録される場合があります。

3 ファントムマイク (+48 V 電源が必要なマイク) を使用する場合

INPUT1 スイッチ (MIC POWER+48V) / INPUT2 スイッチ (MIC POWER+48V) を〈ON〉の位置にする。

〈ON〉：(ファントムマイクを接続した時)

AUDIO INPUT1/2 端子に +48 V 電源を供給します。

〈OFF〉：(ファントムマイクを接続しない時)

AUDIO INPUT1/2 端子に電源を供給しません。

- ファントムマイクを使用すると、バッテリーの持続時間が短くなります。
- +48 V 電源に対応していない機器を接続する時は〈OFF〉の位置にしてください。〈ON〉の位置にすると、接続した機器が故障する場合があります。
- AG-MC200G (別売) をお使いの場合は、[RECORDING SETUP] 画面の [MIC GAIN1]、または [MIC GAIN2] 項目を [-50dB] に設定してください。

4 AUDIO CH1 SELECT スイッチで、音声チャンネル 1 に記録する入力信号を選ぶ。

〈INT(L)〉：

内蔵マイク Lch の音声を記録します。

〈INPUT1〉：

AUDIO INPUT1 端子に接続した機器の音声を記録します。

〈INPUT2〉：

AUDIO INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

5 AUDIO CH2 SELECT スイッチで、音声チャンネル 2 に記録する入力信号を選ぶ。

〈INT(R)〉：

内蔵マイク Rch の音声を記録します。

〈INPUT2〉：

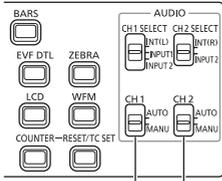
AUDIO INPUT2 端子に接続した機器の音声を記録します。

• 音声入力切替一覧

スイッチ設定		記録チャンネル	
AUDIO CH1 SELECT スイッチ	AUDIO CH2 SELECT スイッチ	CH 1	CH 2
INT(L)	INT(R)	内蔵マイク Lch	内蔵マイク Rch
	INPUT2	内蔵マイク Lch	INPUT2
INPUT1	INT(R)	INPUT1	内蔵マイク Rch
	INPUT2	INPUT1	INPUT2
INPUT2	INT(R)	INPUT2	内蔵マイク Rch
	INPUT2	INPUT2	INPUT2

- 外部マイクの信号を CH1 と CH2 に入力する時は、外部マイクを AUDIO INPUT2 端子に接続し、AUDIO CH1 SELECT スイッチと AUDIO CH2 SELECT スイッチの両方を INPUT2 の位置にしてください。

音声の記録レベルを自動で合わせる



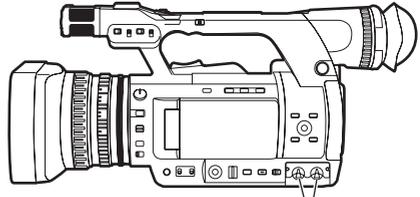
AUDIO AUTO/MANU CH1スイッチ
AUDIO AUTO/MANU CH2スイッチ

1 AUDIO AUTO/MANU CH1/ CH2 スイッチを〈AUTO〉の位置にする。

内蔵マイクや AUDIO INPUT 1/2 端子 (XLR3ピン) に入力された、音声信号の記録レベルを自動で調整します。

- CH1/CH2 個別に設定できます。
 - 〈AUTO〉 設定時は、〈AUDIO LEVEL〉つまみによる記録レベルの変更と、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [AUDIO LIMITER CH1] / [AUDIO LIMITER CH2] 項目 (86 ページ) の設定が無効になります。
-
- 音声信号の記録レベルを自動で調整するため、周囲の音の状況により、高速ズーム時にズーム駆動音が記録される場合があります。

音声の記録レベルをマニュアルで調整する

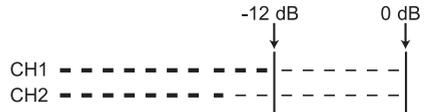


〈AUDIO LEVEL〉つまみ

1 AUDIO AUTO/MANU CH1/ CH2 スイッチを〈MANU〉の位置にする。

内蔵マイクや AUDIO INPUT 1/2 端子 (XLR3ピン) に入力された、音声信号の記録レベルを〈AUDIO LEVEL〉つまみで調整します。液晶モニター/ビューファインダー左下のオーディオレベルメーター表示をご参考に調整してください。

- CH1/CH2 個別に設定できます。
- 〈MANU〉 設定時は、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [AUDIO LIMITER CH1] / [AUDIO LIMITER CH2] 項目 (86 ページ) の設定が有効になります。



- 撮影前に記録音量レベルを確認してください。
- 記録時、当社放送用ショルダータイプのカメラレコーダーと比較すると、約 8 dB 記録レベルが高く設定されています。

撮影用の設定を使い分ける（シーンファイル）

各種撮影状況に応じた設定を、〈SCENE FILE〉ダイヤル〈F1〉～〈F6〉の各位置に保存しています。撮影時、〈SCENE FILE〉ダイヤルで瞬時に必要なファイルを読み出しすることができます。

- 工場出荷時の設定では、次のファイルが保存されています。

〈F1〉：[SCENE]

標準の撮影に適したファイル。

〈F2〉：[SCENE FLUO.]

蛍光灯の特性を考慮した撮影（屋内撮影などの撮影）に適したファイル。

〈F3〉：[SCENE SPARK]

解像度、色合い、コントラストにメリハリをつけた撮影に適したファイル。

〈F4〉：[SCENE B-STR]

暗い部分の階調を広げた撮影（夕暮れなどの撮影）に適したファイル。

〈F5〉：[SCENE CINE V]

コントラスト重視の映画感覚の撮影に適したファイル。（シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。[RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目で設定する必要があります。85 ページをご参照ください。）

〈F6〉：[SCENE CINE D]

ダイナミックレンジ重視の映画感覚の撮影に適したファイル。（シーンファイルを変更しても、記録フォーマットは変更されません。[RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目で設定する必要があります。85 ページをご参照ください。）

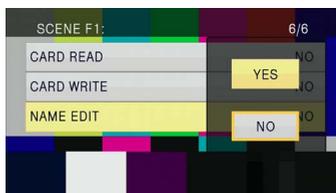
シーンファイルの設定変更

シーンファイルの設定値は、変更することもできます。

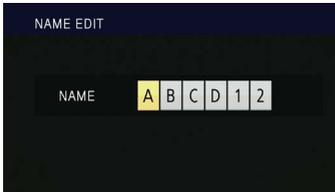
また、変更したシーンファイルを、〈SCENE FILE〉ダイヤル〈F1〉～〈F6〉の各位置に保存することもできます。

例：シーンファイルのファイル名を変更する

- 1 本機の POWER / MODE スイッチを 〈ON〉にする。（Vol.1 の 27 ページ）
- 2 〈SCENE FILE〉ダイヤルを回して、変更するシーンファイルを選ぶ。
- 3 設定メニュー [SCENE FILE] 画面を選ぶ。
 - メニューの操作（Vol.1 の 28 ページ）
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「リモコン」（Vol.1 の 21 ページ）をご参照ください。
- 4 OPERATION レバーを 〈▲〉〈▼〉方向に倒して [NAME EDIT] 項目を選ぶ。
- 5 OPERATION レバーを押し（または 〈▶〉方向に倒し）、〈▲〉方向に倒して [YES] を選び、再度 OPERATION レバーを押し。



- 6** 下記の画面が表示されたら OPERATION レバーで 6 文字のファイル名を設定する。
ユーザーズビットの設定と同じ方法(50ページ)で行います。
- 設定できる文字
(スペース)、A～Z、0～9、:<=>?@[
]^_-. /
ファイル名を設定している時に〈RESET/
TC SET〉ボタンを押すと、文字がクリアされます。



- 7** ファイル名の設定が完了したら、OPERATION レバーを押す。
- 8** 確認の画面で [YES] を選ぶ。
- [YES] を選ぶと、[NAME EDIT] 画面が終了して変更内容が確定します。
 - 変更内容が確定すると、電源を OFF にしたり、シーンダイヤルを変更しても、変更した名前や値は保存されています。

メモリーカードにシーンファイルなどを保存する

設定したシーンファイルやその他の設定値をまとめて、ファイルとしてそれぞれ4つまで、メモリーカードに保存、読み出しすることができます。

- シーンファイルの場合、現在の設定値は自動的に本機に保存され、その保存したデータをメモリーカードに書き込みます。メモリーカードから読み出した時は本機内の保存データと同時に、現在の設定値も書き替わります。
- 〈F1〉～〈F6〉すべてのシーンファイルが書き替わります。

以下の説明は、シーンファイルの保存を基本的に説明しています。

1 本機の POWER/MODE スイッチを 〈ON〉 にする。(Vol.1 の 27 ページ)

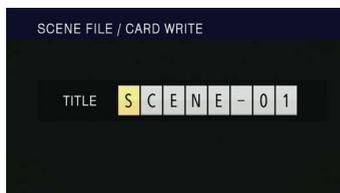
2 設定メニュー [SCENE FILE] 画面の [CARD WRITE] 項目で保存したいメモリーカードのスロット番号を選んで、OPERATION レバーを押す。

その他の設定値の場合は、[USER FILE] 画面を選択します。(91 ページ)

- メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「リモコン」(Vol.1 の 21 ページ) をご参照ください。



3 OPERATION レバーを 〈◀〉 〈▶〉 〈▲〉 〈▼〉 方向に倒して、ファイルを選んで OPERATION レバーを押し、ファイル名を設定する。



4 もう一度 OPERATION レバーを押して、下記の画面が表示されたら [YES] を選び、OPERATION レバーを押す。

- 下図の場合は、[SCENE-01] が TITLE 名になります。TITLE 名を変更するには下記をご参照ください。



- 書き込みが完了すると、FILE 1 ファイル名 WRITE COMPLETED が表示されます。

5 〈MENU〉 ボタンを押して、メニューモードを解除する。

ファイルを読み出すには

- 1) 手順 2 で [CARD READ] を選んで OPERATION レバーを押す。
- 2) ファイル番号を選び OPERATION レバーを押す。
- 3) 確認の画面で [YES] を選ぶ。読み込みが完了すると、FILE 1 ファイル名 READ COMPLETED が表示されます。

ファイルにタイトルを付けるには

- 1) 手順 1～3 を行う。
- 2) OPERATION レバーを 〈▲〉 〈▼〉 方向に倒して文字を選び 〈▶〉 方向に倒して次の文字に移動する。
入力できる文字は以下のとおりです。
(スペース)、A～Z、0～9、:<=>?@[] ^ _ . /
- 3) すべての入力が終わったら、OPERATION レバーを押す。
- 4) 確認の画面で [YES] を押す。

-
- [WRITE PROTECT] が表示された場合は、メモリーカードのプロテクトを解除してください。
 - FILE 1 ファイル名 WRITE FAILED が表示された場合は、その他の動作 (再生中など) を終了してから操作してください。
-

クリップメタデータについて (AVCHD モードのみ)

メモリーカードに記録した映像データには、映像音声方式、撮影者名、撮影場所、テキストメモなどを付加することができます。これをクリップメタデータと呼びます。

(表示の方法は、61 ページをご参照ください。)

クリップメタデータには、撮影時に自動的に記録されるものと、メモリーカードにメタデータアップロードファイルを作成して、これを本機に読み込むものがあります。
(クリップメタデータの読み込み方法は、46 ページをご参照ください。)

クリップメタデータの内容

下線の項目は、メモリーカード内のメタデータアップロードファイルを読み込むことで設定できます。その他の項目は撮影時に自動的に設定されます。

[CLIP PROPERTY / GLOBAL CLIP ID] :
クリップの撮影状態を示すグローバルクリップ ID を表示します。

[CLIP PROPERTY / USER CLIP NAME] :
ユーザーが設定したクリップの名称を表示します。^{*1}

[CLIP PROPERTY / VIDEO & AUDIO] :
記録映像の [FRAME RATE] (フレームレート)、[REC RATE]、[RESOLUTION] (解像度)、[PULL DOWN] (プルダウン方式)、[AUDIO] (記録音声) を表示します。

[CLIP PROPERTY / ACCESS] :
[CREATOR] (収録者名)、[CREATION DATE] (収録日)、[LAST UPDATE DATE] (最終更新日)、[LAST UPDATE PERSON] (最終更新者) を表示します。

[CLIP PROPERTY / DEVICE] :
[MANUFACTURER] (機材のメーカー名)、[SERIAL NO.] (機材のシリアルナンバー)、[MODEL NAME] (機材のモデル名: 本機の場合、AG-AC160A) を表示します。

[CLIP PROPERTY / SHOOT] :
[SHOOTER] (撮影者名)、[PLACE NAME] (撮影地の名前) を表示します。

[CLIP PROPERTY / LOCATION] :
[ALTITUDE] (撮影地の高度)、[LONGITUDE] (撮影地の経度)、[LATITUDE] (撮影地の緯度)、[SOURCE] (情報源) を表示します。本機では記録されません。

[CLIP PROPERTY / SCENARIO] :^{*2}
[PROGRAM NAME] (番組名)、
[SCENE NO.] (シーンナンバー)、
[TAKE NO.] (テイクナンバー) を表示します。

[CLIP PROPERTY / NEWS 1] :
[REPORTER] (リポーター名)、[PURPOSE] (取材目的) を表示します。

[CLIP PROPERTY / NEWS 2] :
[OBJECT] (取材対象) を表示します。

[CLIP PROPERTY / MEMO] :^{*3}
[PERSON] (テキストメモの記録者)、[TEXT] (テキストメモの内容) を表示します。

- * 1 メタデータアップロードファイルに情報がない場合は、メモリーカード単位に、最初に撮影したクリップを 0 として、撮影順に 5 桁の連番を付加していきます。[CLIP PROPERTY / USER CLIP NAME] の記録方法を選択することが可能です。詳しくは 46 ページをご参照ください。
- * 2 [CLIP PROPERTY / SCENARIO] を入力する時は、必ず [PROGRAM NAME] を入力してください。[SCENE NO.]、[TAKE NO.] のみの入力はできません。
- * 3 [CLIP PROPERTY / MEMO] を入力する時は、必ず [TEXT] を入力してください。[PERSON] のみの入力はできません。

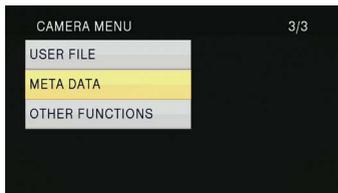
-
- 本機では、ASCII 文字のみ表示可能です。日本語の表示はできません。
 - 本機では、文字数の表示制限があるためすべてのデータを表示できません。(データが消えているわけではありません。)
 - メタデータは、P2 ビューアープラスで作成することができます。
P2 ビューアープラスは、下記のウェブサイトからダウンロードすることができます。
<http://panasonic.biz/sav/>
-

メタデータのアップロードなどを行う [META DATA]

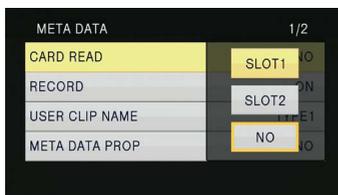
以下の操作が行えます。
必要に応じて準備を行ってください。

- メタデータの読み込み
メタデータを記録したメモリーカードを本機に挿入してください。(クリップメタデータの内容は、45 ページをご参照ください。)
- メタデータをメモリーカードに記録する / しないの選択
- 本機内メタデータの初期化
- 本機内メタデータの表示

- POWER/MODE スイッチを回して
〈CAMERA〉モードにする。
- 〈MENU〉ボタンを押す。
メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
- OPERATION レバーを〈▲〉〈▼〉方向に倒して [META DATA] を選び、OPERATION レバーを押す (または〈▶〉方向に倒す)。



- OPERATION レバーを〈▲〉〈▼〉方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



[CARD READ] :

メモリーカードにセットしたメタデータを本機に読み込みます。

[CARD READ] に移動した状態で OPERATION レバーを押して、[SLOT1] / [SLOT2] / [NO] を選び、OPERATION レバーを押してください。

- メモリーカードのメタデータは、作成日が新しい順に 8 個まで表示できます。
- 読み込むメタデータファイル名が半角英数字以外の場合は*に変換されて表示されます。

[RECORD] :

本機に読み込んだメタデータを、撮影と同時にメモリーカードに記録するかどうかを設定します。

[ON] / [OFF] (記録する / しない) を選び、OPERATION レバーを押してください。
工場出荷モードは [OFF] です。

[USER CLIP NAME] :

[USER CLIP NAME] の記録方法を選択することが可能です。詳しくは下記をご参照ください。

[META DATA PROP] :

本機に記録されたメタデータを表示します。

[CLIP COUNTER RST] :

カウンター値を 1 にリセットします。
[YES] / [NO] (リセットする / しない) を選び、OPERATION レバーを押してください。

[META INIT SET] :

本機に記録されたメタデータを初期化します。
[YES] / [NO] (初期化する / しない) を選び、OPERATION レバーを押してください。

- 〈MENU〉ボタンを押して、メニューモードを解除する。

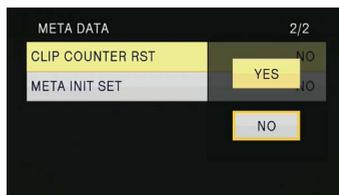
[USER CLIP NAME] の記録方法の選択

〈MENU〉ボタンを押して [META DATA] → [USER CLIP NAME] を選択すると、[USER CLIP NAME] の記録方法を選ぶことができます。
[TYPE1] と [TYPE2] の 2 通りがあります。

記録される [USER CLIP NAME]

	[TYPE1]	[TYPE2]
クリップメタデータを読み込んでいる場合	アップロードされたデータ	アップロードされたデータ + COUNT 値*
クリップメタデータを読み込んでいない、または読み込んだクリップメタデータを記録しない設定の場合	5 桁の撮影順の連番	5 桁の撮影順の連番

* COUNT 値は、4桁の数字で表示されます。
COUNT 値は、クリップメタデータが読み込まれ、かつ記録方法を [TYPE2] に設定した状態の時、撮影を行って新しいクリップを生成することに、1ずつ増えます。また COUNT 値は、以下の方法でリセットできます。
<MENU> ボタンを押して [META DATA] → [CLIP COUNTER RST] → [YES] を選んで OPERATION レバーを押すと、COUNT 値が 1 にリセットされます。



カウンターを利用する

カウンター表示

撮影や再生の経過時間を示すカウンターを表示することができます。

1 <COUNTER> ボタンを押す。

ボタンを押すごとに、下記のデータに切り替わります。(72ページ)

[0:00.00] (<CAMERA> モードのみ)

カウンター値の表示です。設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [REC COUNTER] 項目で [TOTAL] * を選択した場合に表示されます。

[CLIP 0:00.00]

設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [REC COUNTER] 項目で [CLIP] * を選択した場合に表示されます。

撮影開始時に自動的に値がリセットされ、撮影ごとのカウンター値が表示されます。

* <PB> モード時は、カウンター値は表示されません。

[TC 12:34:56.01]

タイムコードの表示 (PH1080/24P、PH720/24P モードは、フレーム桁を 24 フレームで表示します。480i/24P モードは、フレーム桁を 30 フレームに変換して表示します。)

[UB 12 34 56 78]

ユーザーズピットの表示

無表示：

データを表示しません。

- カウンター値をリセットする場合は、カウンター値表示中に <RESET/TC SET> ボタンを押します。

TC プリセットモード

マルチカメラで撮影する時に、タイムコードの初期値を同期にセットさせることができます。(以下、同期の元となる方を MASTER 側、同期させる方を SLAVE 側と表記しています。)

- 1 2 台の機器の TC PRESET IN/OUT 端子 (<VIDEO OUT> 端子) をピンケーブルで接続し、電源を入れます。

■ MASTER 側の設定

- 2 MASTER 側が <CAMERA> モードになっていることを確認して設定メニュー [TC/UB SETUP] 画面の [EXT TC LINK] 項目を [MASTER] に設定します。

画面に [OUTPUTTING LTC SIGNAL] と表示され、TC PRESET IN/OUT 端子 (<VIDEO OUT> 端子) からタイムコードが出力されます。

- MASTER 側と SLAVE 側のカメラの、記録フォーマットを合わせ、[TC/UB SETUP] 画面の [TCG] 項目を [FREE RUN] に設定してください。
- タイムコード出力を解除する場合は <MENU> ボタンを押してください。

■ SLAVE 側の設定

- 3 設定メニュー [TC/UB SETUP] 画面の [EXT TC LINK] 項目を [SLAVE] に設定します。

- 4 <COUNTER> - <RESET/TC SET> ボタンを押します。MASTER から入力されている TC 値に TCG 値がプリセットされます。

- メニュー画面が閉じて、画面中央に [TC LINK OK] と表示されます。
- TC 値が正しくセットできない場合は、[LINK NG] と表示されます。
- SLAVE 側が 24P に設定されている時は、MASTER 側の [TC MODE] 項目を [NDF] に設定してください。
- [SLAVE] モードを解除する場合は <MENU> ボタンを押してください。

内蔵電池の充電 / タイムコードを設定する

内蔵電池の充電

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。日時設定しても、[LOW INTERNAL BATTERY] (内蔵電池の残量がありません) が表示される時は、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。

充電完了後、日時を設定してください。

- 1 本機に AC アダプターを接続する。
(Vol.1 の 23 ページ)
 - 本機の POWER/MODE スイッチは、〈OFF〉のままにします。
- 2 約 4 時間、そのままの状態にしておく。
 - 内蔵電池が充電されます。
 - 充電を行った後は、タイムコードやメニューを確認してください。

充電後も年月日、時刻が記憶されていない場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

タイムコードを設定する

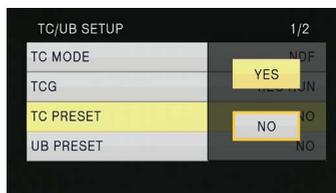
設定メニュー [TC/UB SETUP] 画面の下記の項目で、タイムコードにかかわる各種の設定を行います。(87 ページ)

- [TC MODE] 項目
- [TCG] 項目
- [TC PRESET] 項目
- [UB MODE] 項目 (DV モードのみ)

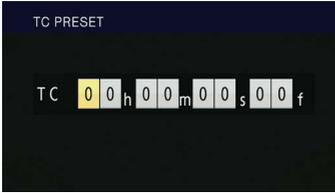
タイムコードを指定する ([TC PRESET] 項目)

任意の値を記録開始時のタイムコード値として記録する場合、[TC PRESET] 項目でタイムコード値を設定します。

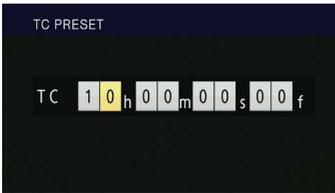
- 1 本機の POWER/MODE スイッチを 〈ON〉 にする。(Vol.1 の 27 ページ)
- 2 設定メニュー [TC/UB SETUP] 画面の [TC PRESET] 項目を選択する。
 - メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
 - 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「リモコン」(Vol.1 の 21 ページ) をご参照ください。
- 3 OPERATION レバーを 〈▲〉 方向に倒して、[YES] に移動し、OPERATION レバーを押す。



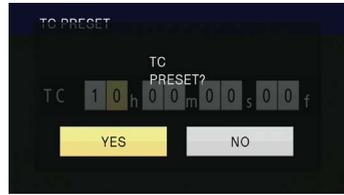
- 4** 下記の画面が表示されたらタイムコード値を設定する。
OPERATION レバーを〈▲〉〈▼〉方向に倒して、タイムコード値を選択します。



OPERATION レバーを〈▶〉方向に倒して次の桁に移動し、再度、〈▲〉〈▼〉方向に倒して値を選択します。



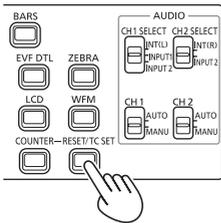
- 6** OPERATION レバーを〈◀〉方向に倒して [YES] に移動し、OPERATION レバーを押す。



本機では、フォーマットやフレームレートに従ってタイムコードの値が調整されます。そのためフォーマットやフレームレートを変更すると、前回の最終タイムコード値と不連続になることがありますのでお気をつけください。記録フォーマットが 24P の時は、下表のフレーム単位の調整となります。

記録フォーマット	タイムコードの調整
1080/24P 720/24P	4 フレーム単位
480/24P	5 フレーム単位

- タイムコードを設定している時に〈RESET/TC SET〉ボタンを押すと、タイムコード値をゼロにリセットします。



- 5** タイムコード値の設定が完了したら OPERATION レバーを押す。

ユーザーズビットを設定する

ユーザーズビットを設定することにより、16進数8桁までのメモ情報を記録することができます。ユーザーズビットの設定内容は、自動的にメモリーされ、電源を切った後も保持されます。

DVモードでは、設定メニュー [TC/UB SETUP] 画面の [UB MODE] 項目で [USER] / [TIME] / [DATE] / [TCG] / [FRAME RATE] を選択できます。DVモードでユーザーズビットを設定する場合は、[USER] を選択してください。

1 本機のPOWER/MODEスイッチを〈ON〉にする。(Vol.1の27ページ)

2 設定メニュー [TC/UB SETUP] 画面の [UB PRESET] 項目を選択する。

- メニューの操作 (Vol.1の28ページ)
- 本体のボタンに対応したリモコンのボタンでも操作できます。詳しくは「リモコン」(Vol.1の21ページ)をご参照ください。

3 OPERATIONレバーを〈▲〉方向に倒して [YES] に移動し、OPERATIONレバーを押す。



4 ユーザーズビットを設定する。OPERATIONレバーを〈▲〉〈▼〉方向に倒して、ユーザーズビットの文字を選択します。

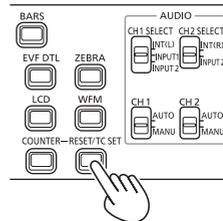
- 設定できるユーザーズビットの文字は、数字の0～9とアルファベットのA～Fです。



OPERATIONレバーを〈▶〉方向に倒して次の桁に移動し、再度、〈▲〉〈▼〉方向に倒して文字を選択します。



- ユーザーズビットを設定している時に、〈RESET/TC SET〉ボタンを押すと、ユーザーズビットをゼロにリセットします。



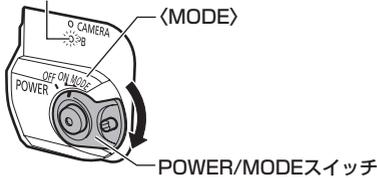
5 ユーザーズビットの設定が完了したらOPERATIONレバーを押す。

6 OPERATIONレバーを〈◀〉方向に倒して [YES] に移動し、OPERATIONレバーを押す。



再生の基本操作

動作ランプ



- 1 (MODE) の位置まで POWER/MODE スイッチを回して、動作ランプ (PB) を点灯させる。動作ランプ (PB) が緑点灯し (PB) モードになります。
 - (MODE) の位置まで回すたびに、(CAMERA) モードと (PB) モードが切り替わります。

サムネールを使ったクリップの再生について詳しくは 52 ページをご覧ください。

本機の操作ボタン		リモコン
	再生する (▶▶) 押すと、カーソル位置のクリップが再生されます。	
	早送り再生をする (▶▶▶) 再生中に操作すると、早送り再生 (約 10 倍速) をします。 更に操作すると、更に早い早送り再生 (約 20 倍速) をします。 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ進めます。	
	早戻し再生をする (◀◀) 再生中に操作すると、早戻し再生 (約 10 倍速) をします。 更に操作すると、更に早い早戻し再生 (約 20 倍速) をします。 一時停止中に操作すると、クリップを 1 つ戻します。	
	停止する (■)	
	一時停止する () 再生中に操作すると、一時停止します。 再度操作すると、再生に戻ります。	

サムネール画面について

1 回の撮影によってできた映像データを、クリップと呼びます。〈PB〉モードにした時は、液晶画面に各クリップがサムネール表示されます。(クリップ数が多い場合、表示されるまでに時間がかかります。)

サムネール画面を使って、以下のようなことができます。

- クリップの再生、削除
- メモリーカードのフォーマット
- クリップの保護、インデックスの付加、削除 (AVCHD モードのみ)
- ショットマークの付加、解除

- AVCHD モードで記録したクリップは、DV モード時はサムネール表示されません。また、DV モードで記録したクリップは、AVCHD モード時はサムネール表示されません。
- 2 つのメモリーカードスロット両方に、クリップが記録されたメモリーカードを挿入している場合は、選択しているスロット側のメモリーカードのクリップが、サムネール表示されます。もう一方のスロットのメモリーカードのクリップを、サムネール表示するには、再生するスロットを切り替えてください。(54 ページ)
- 1 枚のメモリーカードに記録されているクリップが、1000 クリップを超えている場合、1000 クリップを超えたサムネールは表示できません。
- クリップ情報を表示するには、クリップを選択して 〈DISP/MODE CHK〉 ボタンを押してください。

サムネール画面の基本操作

サムネールを選ぶには：

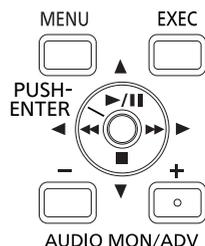
OPERATION レバーを 〈◀〉 〈▶〉 〈▲〉 〈▼〉 方向に倒してサムネールを選びます。(オレンジ色の枠が移動)

クリップを再生するには：

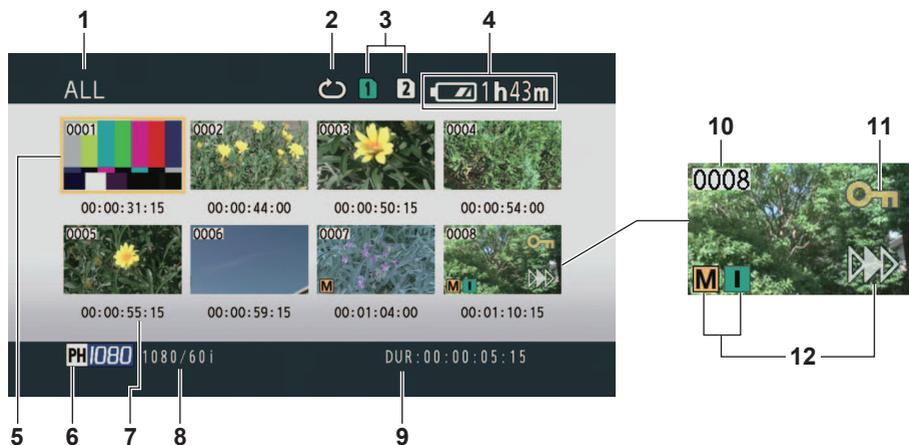
サムネールを選んで OPERATION レバーを押す。(再生については、51 ページをご参照ください。)

再生するスロットを変更するには：

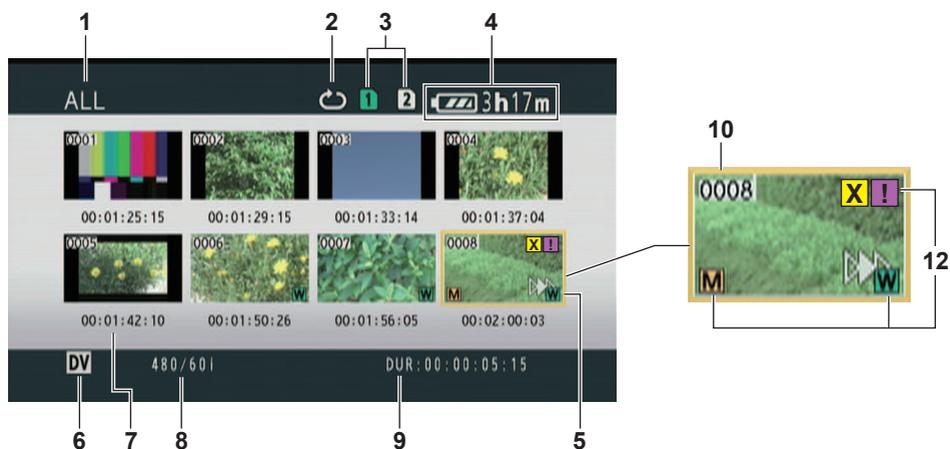
〈SLOT SEL〉 ボタンを押し、選択してください。



■ AVCHD モード時



■ DV モード時



1 サムネールの表示状態 (57 ページ)

サムネール表示するクリップの種類を示しています。

2 リピート再生インジケータ (55 ページ)

リピート再生時に表示します。

3 メディア情報表示

メモリーカードの状態を表示します。

4 バッテリー残量表示 (Vol.1 の 22 ページ)

バッテリーの残量を表示します。

5 カーソル (オレンジ色の枠)

選択中のサムネールに表示されます。

6 記録モード表示

カーソル位置のクリップが PS、PH、PM、CH および DV モードで撮影されたクリップの場合に、記録モードが表示されます。(12 ページ)

7 時間表示 (57 ページ)

設定により、クリップの記録開始時点のタイムコード / クリップの記録開始時点のユーザーズビット / 撮影時刻 / 撮影日 / 撮影日時のいずれかを表示します。

8 記録フォーマット表示

カーソル位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

9 デュレーション表示

カーソル位置のクリップのデュレーションが表示されます。

10 クリップ番号

撮影した順番に表示されます。(1000 クリップまで) 記録フォーマットが違うクリップなど、再生できないクリップの番号は赤色で表示されます。

赤色のクリップを再生するには、設定メニュー [PLAY SETUP] 画面の [PB FORMAT] 項目を、記録フォーマットに合わせてください。(94 ページ)

11 [On] : クリッププロテクト表示 (AVCHD モードのみ)

プロテクトされたクリップに表示します。

12 各種インジケータ

● AVCHD モード時

[M] : ショットマーク

ショットマークが付いていることを示しています。(54 ページ)

[I] : インデックス

インデックスが付加記録されていることを示しています。(58 ページ)

[>>] : レジューム再生表示

レジューム再生の対象になるクリップに表示します。

● DV モード時

[M] : ショットマーク

ショットマークが付いていることを示しています。(54 ページ)

[W] : ワイド

16 : 9 の画角で記録されたクリップに表示されます。

【▶▶】：レジューム再生表示

レジューム再生の対象になるクリップに表示します。

【☒】(黄色)：不良クリップ(修復可能なクリップ)

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。修復できる場合があります。(59 ページ)

【☒】(赤色)：不良クリップ(修復不可能なクリップ)

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。修復できませんので、クリップを削除してください。クリップを削除できない場合は、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。(11 ページ)

【?】：不良クリップ(コンテンツ内容不明なクリップ)

本機で対応していない規格のため、コンテンツの内容が不明なクリップに表示されます。

【■】：不完全クリップ

1 つのクリップの記録容量が、4 GB を超えると(記録時間は約 16 分)、自動的に別クリップとして分割保存されます。この時、本体の電源が切れるなどの原因で、関連クリップとして正常に保存されなかったクリップに表示されます。

- サムネール画面でクリップのプロパティを表示する場合は、OPERATION レバーでプロパティを表示するクリップにカーソルを移動して、〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押してください。表示される内容については、「クリップの情報画面」(61 ページ)をご参照ください。プロパティ表示中に〈MENU〉ボタンを押すと、サムネール画面に戻ります。

クリップにショットマークを付ける

ショットマーク [M] を付けておくと、好みのクリップを探すのに便利です。

1 OPERATION レバーを〈◀〉〈▶〉〈▲〉〈▼〉方向に倒して、カーソルをショットマークを付けたいクリップに移動させる。

2 ショットマーク機能を割り当てた USER ボタンを押す。(83 ページ)

ショットマークを解除するには、上記の操作を再び行ってください。

- 民生用カメラ機器で撮影したクリップには、ショットマークを付加することができません。

再生スロットを選択する

再生するメモリーカードのスロットの切替をすることができます。

1 〈PB〉モードのサムネール画面表示時に、〈SLOT SEL〉ボタンを押す。

再生の設定をする [PLAY SETUP]

再生するフォーマットや再生の方法を設定します。

再生フォーマットを設定する [PB FORMAT] (AVCHD モードのみ)

再生するフォーマットを設定します。

- 1 <MENU> ボタンを押す。
メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
- 2 [PLAY SETUP] 画面の [PB FORMAT] 項目を選び、OPERATION レバーを押す (または <▶> 方向に倒す)。



- 3 OPERATION レバーを<▲><▼>方向に倒して、再生するフォーマットを選び、OPERATION レバーを押す。

- 初期値は、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目の設定が反映されます。
- 再生可能なクリップのクリップ番号が黒色で、再生できないクリップ番号は赤色で表示されます。

- 再生フォーマットを設定しても、<CAMERA> モードに切り替えると、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目で設定された記録フォーマットに戻ります。
- リレー記録機能を用いて作成されたリレー先のクリップは、再生フォーマットがクリップと一致していない場合、サムネイル映像が表示されません ([!] が表示されます)。再生フォーマットをクリップと一致させるとサムネイル映像が表示されます。

リピート再生 [REPEAT PLAY]

設定すると、選択されているスロットの再生可能なすべてのクリップを繰り返して再生します。

- 1 <MENU> ボタンを押す。
メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
- 2 [PLAY SETUP] 画面の [REPEAT PLAY] 項目を [ON] にする。
- 3 <MENU> ボタンを押して、サムネイル画面に戻る。
リピート再生インジケータが表示されます。再生操作をすると、再生可能なクリップを繰り返して再生します。
 - 停止操作をするまで、繰り返し再生を行います。
 - リピート再生の設定を [OFF] にするには、手順 2 で [OFF] を選んでください。

続きから再生する [RESUME PLAY]

設定すると、再生を途中で止めた場合に続きから再生します。

- 1 〈MENU〉 ボタンを押す。
メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
- 2 [PLAY SETUP] 画面の [RESUME PLAY] 項目を [ON] にする。
- 3 〈MENU〉 ボタンを押して、サムネール画面に戻る。
- 4 クリップを選んで再生する。
再生を途中で止めた場合は、クリップのサムネールにレジューム再生インジケータが表示され、次に再生操作をすると続きから再生します。
 - レジューム再生の設定を [OFF] にするには、手順 2 で [OFF] を選んでください。
 - 電源 OFF や、〈CAMERA〉モードに切り替えると、再生途中の位置は解除します。(最終クリップの先頭に戻ります)

スキップの方法を設定する [SKIP MODE] (AVCHD モードのみ)

一時停止中にスキップ (頭出し) 操作をした時の動作を設定します。

- 1 〈MENU〉 ボタンを押す。
メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
- 2 [PLAY SETUP] 画面の [SKIP MODE] 項目を選択する。
- 3 スキップの方法を選択する。
[CLIP] :
一時停止中に OPERATION レバーを ◀▶ または ▶▶ 方向に倒すと、前後の CLIP の先頭に移動します。
[CLIP & INDEX] :
一時停止中に OPERATION レバーを ◀▶ または ▶▶ 方向に倒すと、前後の CLIP の先頭と、前後の INDEX の位置に移動します。
- 4 〈MENU〉 ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

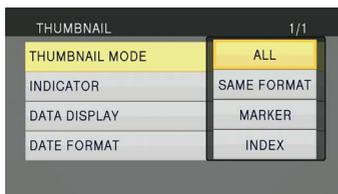
サムネールの操作

サムネールの表示方法を選ぶ [THUMBNAIL]

好みの種類のクリップをサムネール表示させることができます。

また、サムネール表示のしかたをさらに細かく設定することもできます。

- 1 **〈MENU〉** ボタンを押す。
メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)
- 2 **[THUMBNAIL]** を選び、**OPERATION** レバーを押す (または **〈▶〉** 方向に倒す)。
- 3 **OPERATION** レバーを **〈▲〉** **〈▼〉** 方向に倒して項目を選び、**OPERATION** レバーを押す。



[THUMBNAIL MODE] :

表示するクリップを選びます。

[ALL] :

すべてのクリップを表示します。

[SAME FORMAT] (AVCHD モードのみ) :

PB フォーマットと同じクリップを表示します。

[MARKER] :

ショットマークが付いたクリップを表示します。

[INDEX] (AVCHD モードのみ) :

インデックスが付いたクリップを表示します。

[INDICATOR] :

インジケータの [ON] / [OFF] (表示 / 非表示) を設定します。(工場出荷時は [ON] に設定されています。)

[OFF] に設定しても、クリッププロテクト表示とレジューム再生表示は表示されます。

[DATA DISPLAY] :

クリップの時間表示の部分を、[TC] (タイムコード) / [UB] (ユーザズビット) / [TIME] (撮影時間) / [DATE] (撮影日) / [DATE&TIME] (撮影日時) のいずれかから選択します。[DATE&TIME] に設定した場合、「月-日 時刻」の表示になります。

[DATE FORMAT] :

撮影日時の表示順を、[Y/M/D] (年月日) / [M/D/Y] (月日年) / [D/M/Y] (日月年) のいずれかから選択します。

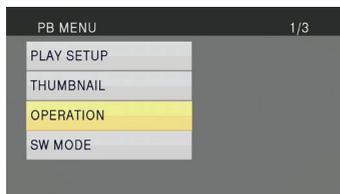
この表示は、クリップのプロパティで表示される記録日に反映されません。

- 4 **〈MENU〉** ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

クリップの削除やプロテクト（保護）などを行う【OPERATION】

クリップの削除やプロテクト（AVCHD モードのみ）が行えます。

- 1 〈MENU〉 ボタンを押す。
メニューの操作（Vol.1 の 28 ページ）
- 2 【OPERATION】 を選び、OPERATION レバーを押す（または 〈▶〉 方向に倒す）。



- 3 OPERATION レバーを 〈▲〉 〈▼〉 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。



【DELETE】：

【ALL CLIPS】：

すべてのクリップを削除します。

【YES】 / 【NO】（削除する / しない）を選び、OPERATION レバーを押してください。

【SELECT】：

選択したクリップを削除します。

OPERATION レバーでクリップを選ぶと選んだクリップが赤色の枠で囲まれます。（続けて選択できます。）

〈EXEC〉 ボタンを押して決定し

OPERATION レバーを 〈◀〉 〈▶〉 方向に倒して 【YES】 / 【NO】（削除する / しない）を選び、OPERATION レバーを押してください。

【NO】：

1 つ前の画面に戻ります。

- プロテクトされているクリップは削除できません。
- 【ALL CLIPS】 を選んですべてのクリップを削除する時は、削除する容量によって時間がかかる場合があります。
- リモコンで削除操作はできません。
- 途中で削除を中止するには、CANCEL 表示中に OPERATION レバーを押してキャンセルしてください。途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

【INDEX】（AVCHD モードのみ）：

【YES】：

選択したクリップにインデックスを付加します。

- 1) クリップを選んで再生し、インデックスを付加するポイントで OPERATION レバーを押します。



- 2) 確認の画面で 【YES】 を選ぶとインデックスが付加されます。
 - クリップにインデックスが付加されるポイントには、0.5 秒程度の誤差が発生します。
 - インデックスを削除する場合は手順 3 で 【INDEX】 → 【YES】 を選んだ後
 - 1) クリップを選んで再生し、OPERATION レバーを 〈▲〉 方向に倒して、一時停止状態にする。
 - 2) OPERATION レバーを 〈◀〉 〈▶〉 方向に倒すと、インデックスが付加されたポイントに、ポインターが移動するので、削除するインデックスに、ポインターを移動させて OPERATION レバーを押す。
 - 3) 確認の画面で 【YES】 を選ぶ。
- 【NO】：
- 1 つ前の画面に戻ります。

- 民生用カメラ機器で撮影した映像には、インデックスを付加することができません。
- インデックス再生中は、音量調整ができません。

[CLIP PROTECT] (AVCHD モードのみ) :

[YES] :

選択したクリップをプロテクトします。

((**[On]** マークが表示されます。))

- プロテクトされたクリップを選択すると解除します。(**[On]** マークが消えます。)

クリップがプロテクトされていても、フォーマットを実行すると消去されます。

[NO] :

1 つ前の画面に戻ります。

4 <MENU> ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

クリップを修復する (DV モードのみ)

サムネール画面で不良クリップインジケーター **[X]** (黄色) が表示されたクリップを修復します。

- 不良クリップインジケーター **[X]** (赤色) が表示されたクリップは修復できません。

1 サムネール画面で <MENU> ボタンを押す。

サムネールメニューが表示されます。

2 サムネールメニューの [OPERATION] 項目で [REPAIR] を選択し [YES] を押します。

3 修復するクリップを OPERATION レバーで選択します。

4 <EXEC> ボタンを押す。

5 確認の画面で [YES] を選び、OPERATION レバーを押す。

クリップの修復が実行されます。

- ショットマークを設定していた場合には、設定が解除されます。

- 不良クリップをパーソナルコンピューターなどに移動する場合は、あらかじめ本機でクリップを修復してから移動させてください。修復前の不良クリップをパーソナルコンピューターに移動し、再度メモリーカードに書き戻すとクリップの修復ができなくなります。

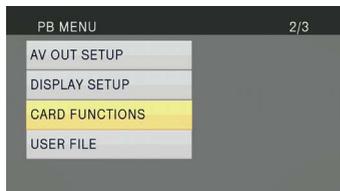
メモリーカードのフォーマット/クリップやメモリーカードの情報を確認する [CARD FUNCTIONS]

メモリーカードのフォーマットを行ったり、クリップやメモリーカードの情報が確認できます。

1 〈MENU〉 ボタンを押す。

メニューの操作 (Vol.1 の 28 ページ)

2 [CARD FUNCTIONS] を選び、OPERATION レバーを押す (または 〈▶〉 方向に倒す)。



3 OPERATION レバーを 〈▲〉 〈▼〉 方向に倒して項目を選び、OPERATION レバーを押す。

CARD FUNCTIONS	1/1
CARD FORMAT	NO
CARD STATUS	NO
CLIP PROPERTY	NO

[CARD FORMAT] :

- フォーマットするメモリーカードを本機に挿入してください。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータ (AVCHD モード、DV モードで撮影したクリップを含む) が消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパーソナルコンピューターに保存するようにしてください。
[YES] / [NO] (フォーマットする / しない) を選び、OPERATION レバーを押してください。

[CARD STATUS] :

メモリーカードの情報が表示されます。
(61 ページ)

[CLIP PROPERTY] :

選択したクリップの情報が表示されます。
(61 ページ)

- OPERATION レバーを 〈◀〉 〈▶〉 方向に倒すと前後のクリップの情報を表示できます。

4 〈MENU〉 ボタンを押して、サムネール画面に戻る。

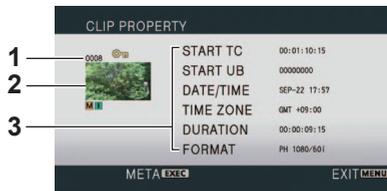
メモリーカードの情報画面



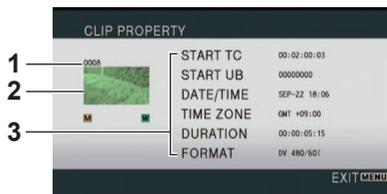
- 1 [USED SPACE] : 使用容量
- 2 [FREE SPACE] : 空き容量

クリップの情報画面

- AVCHD モード時



- DV モード時



1 クリップ番号

2 サムネール

サムネール画面については、52ページをご参照ください。

3 クリップ情報

クリップに付加されたさまざまなデータを表示します。

[START TC] :

記録開始時のタイムコードの値

[START UB] :

記録開始時のユーザービットの値

[DATE/TIME] :

記録した日付と記録開始時の時刻

[TIME ZONE] :

タイムゾーンを表示します。

[DURATION] :

クリップの長さ

[FORMAT] :

記録フォーマット

- クリップメタデータ (AVCHD モードのみ)

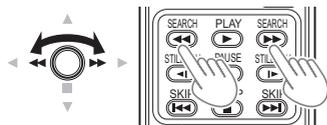
クリップの情報画面を表示している時に、**<EXEC>** ボタンを押すと映像音声フォーマットや、撮影者情報などの詳しいデータを表示します。

OPERATION レバーを **<▲>** **<▼>** に倒して、見たい情報を確認してください。(クリップメタデータの内容については、45ページをご参照ください。)

再生に便利な機能

早送り / 早戻し再生

- 1 再生中に、OPERATION レバーを <◀◀> (早戻し) または <▶▶> (早送り) 方向に倒す (またはリモコンの <SEARCH> ボタンを押す)。約 10 倍速で、早送り / 早戻し再生します。更に操作すると、約 20 倍速の早送り / 早戻し再生します。



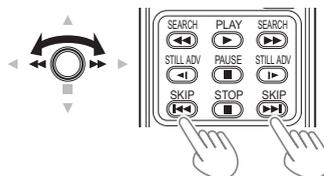
本体 または リモコン

通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを <▲> 方向 (再生) に倒します (またはリモコンの <PLAY> ボタンを押す)。

- 早送り再生で最後のクリップの再生を終了するとサムネール表示に戻ります。
- 早戻し再生で先頭のクリップの再生を終了すると、先頭クリップで一時的に停止します。
- 早送り / 早戻し再生中は音声出力されません。

クリップ送り / 戻し

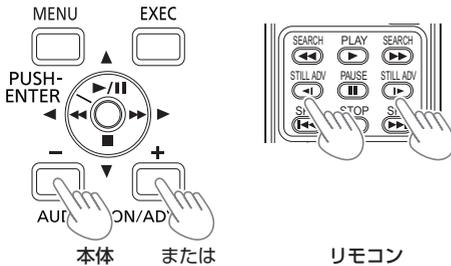
- 1 再生中に、OPERATION レバーを <▲> 方向に倒して、一時停止状態にする (またはリモコンの <PAUSE> ボタンを押す)。
- 2 OPERATION レバーを <◀◀> (早戻し) または <▶▶> (早送り) 方向に倒す (またはリモコンの <SKIP> ボタンを押す)。



本体 または リモコン

コマ送り再生

- 再生中に、OPERATION レバーを〈▲〉方向に倒して、一時停止状態にする（またはリモコンの〈PAUSE〉ボタンを押す）。
- 〈AUDIO MON/ADV〉ボタンを押す（またはリモコンの〈STILL ADV〉ボタンを押す）。
 - 押し続けると、押ししている間、連続してコマ送ります。
 - リモコンの〈STILL ADV〉ボタンを押し続けると連続コマ送りモードになります。元に戻すには〈PAUSE〉ボタンを押してください。

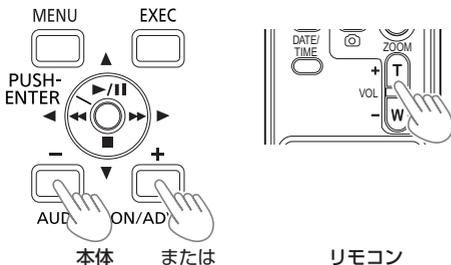


〈+〉ボタンを押すと正方向にコマ送りされ、〈-〉ボタンを押すと逆方向に0.5秒ごと(AVCHDモード時) / 1コマごと(DVモード時)の映像がコマ送りされます。

通常の再生に戻すには、OPERATION レバーを〈▲〉方向(再生)に倒します(またはリモコンの〈PLAY〉ボタンを押す)。

音量を調整する

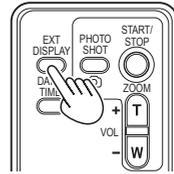
- 再生中に〈AUDIO MON/ADV〉ボタンで、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量を調整する。
リモコンの場合、〈ZOOM〉 / 〈VOL〉ボタンを押します。



テレビやモニターに接続して見る

映像ピンケーブル(別売)、音声ピンケーブル(別売)、HDMIケーブル(別売)、BNCケーブル(別売)を接続すると、テレビやモニターで再生映像を見ることができます。

- 本機とテレビやモニターを接続する。(67ページ)
- 本機を再生する。
 - ビューファインダーや液晶モニターに表示されている情報をテレビ画面に表示する時は、リモコンの〈EXT DISPLAY〉ボタンを押します。再度、〈EXT DISPLAY〉ボタンを押すと、表示が消えます。



撮影日時を確認する

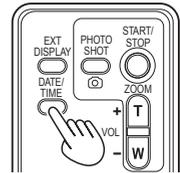
リモコンの〈DATE/TIME〉ボタンを押すと、撮影した年月日と時刻がビューファインダーや液晶モニターに表示されます。このボタンを押すごとに、下記の表示に切り替わります。

時刻の表示

↓
日付の表示

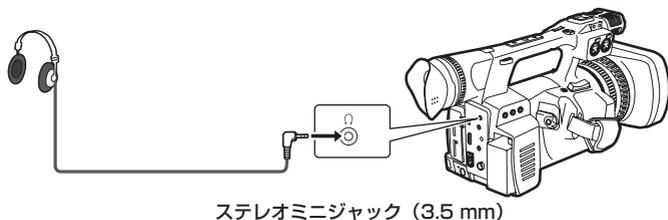
↓
時刻と日付の表示

↓
表示なし



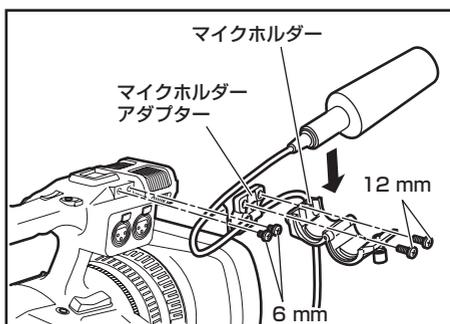
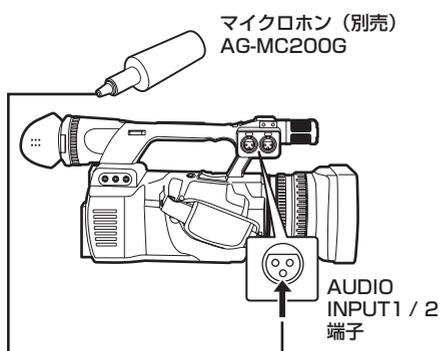
外部機器を接続する

ヘッドホン

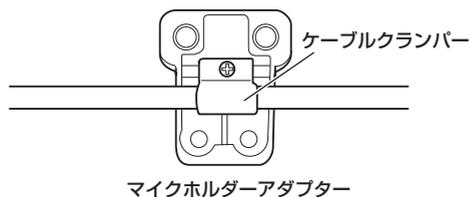


- ヘッドホン (別売) を接続するとスピーカーから音声は出力されません。

外部マイク



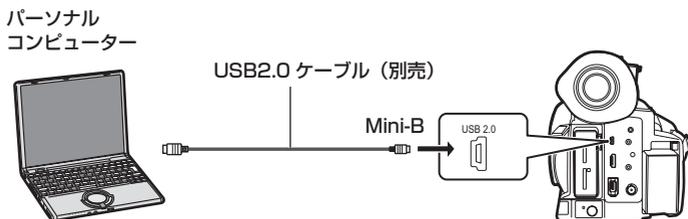
- 外部マイクを本機のマイクロホンシューに取り付ける場合は、付属のマイクロホルダーとマイクロホルダーアダプターを使用してください。
- マイクロホルダーおよびマイクロホルダーアダプターをねじで取り付ける際、ゴムとの摩擦音がありますが、しっかりと締め付けてください。
- マイクケーブルの配線処理には、マイクロホルダーアダプターのケーブルクランパーを使用してください。



パーソナルコンピューター

■ ファイル転送 / ノンリニア編集

USB2.0 ケーブル (別売) で、パーソナルコンピューターと本機を接続し、ファイル転送を行います。

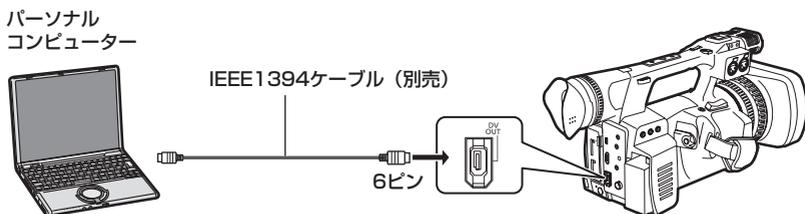


- パーソナルコンピューターの条件等については、69 ページをご参照ください。
- 本機に USB2.0 ケーブルは同梱されていません。市販の USB2.0 ケーブル (ノイズ対策のための二重シールド処理が施されているもの) をご使用ください。

■ 1394 AVC 転送 / ノンリニア編集

IEEE1394 ケーブル (別売) で、パーソナルコンピューターと本機を接続し、1394 AVC 転送を行います。
(DV モードのみ)

- 本機を 〈PB〉 モードに設定してください。



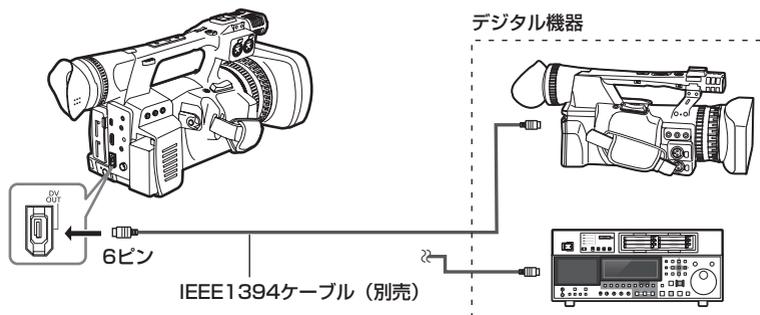
- ノンリニア編集機器から本機を操作する場合は、本機の液晶画面に表示されるサムネイル画面のカーソル位置にあるクリップから操作できます。
- ノンリニア編集機器から本機を操作できない場合は、本機で転送するクリップを操作してください。
- IEEE1394 ケーブルを接続するときや外すときは、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 4 ピン型の IEEE1394 端子を搭載している外部機器と接続するときは、本機の〈DV OUT〉端子 (6 ピン) を先に接続してください。
- IEEE1394 ケーブルは、二重シールドケーブルをご使用ください。

デジタル機器

■ 1394 AVC 転送

IEEE1394 ケーブル（別売）で、本機とデジタル機器を接続し、1394 AVC 転送を行います。（DV モードのみ）

- 本機を〈PB〉モードに設定してください。

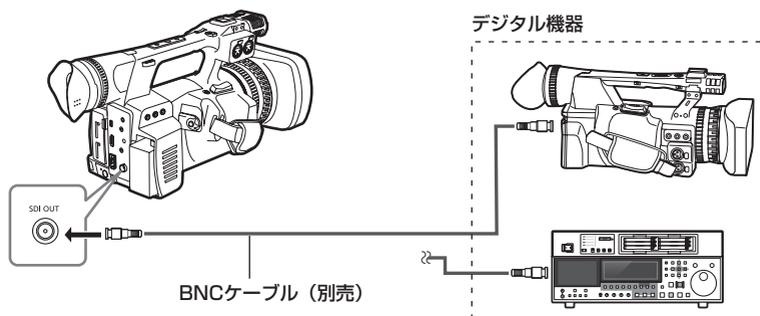


- IEEE1394 ケーブルを接続するときや外すときは、必ず接続する機器の電源を切ってから行ってください。
- 4ピン型の IEEE1394 端子を搭載している外部機器と接続するときは、本機の〈DV OUT〉端子（6ピン）を先に接続してください。
- IEEE1394 ケーブルは、二重シールドケーブルをご使用ください。

■ AUTO REC 機能

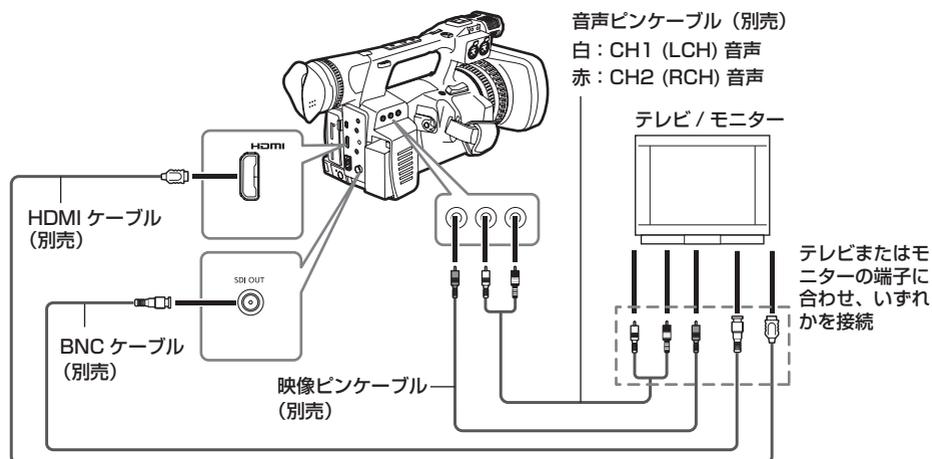
本機の記録開始 / 停止時に、SDI (HD) 出力より記録開始 / 停止の情報を出力し、外部機器を制御することができます。

- 外部機器が対応している場合のみ有効です。



テレビ / モニター

すべて本機からの出力のみです。



■ 本機の映像信号や音声信号を外部機器に出力する場合、外部機器の入力端子に接続します。

- HDMI ケーブル (別売) は、二重シールドケーブル以上をご使用ください。
- HDMI ケーブルは、当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- 本機は、ピエラリンクに対応していません。
- 〈SDI OUT〉端子に接続する BNC ケーブル (別売) は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。

■ 映像出力の制約について

- 〈SDI OUT〉出力時、液晶モニターとビューファインダーは、同時に表示できません。同時に表示させるには、設定メニュー [AV OUT SETUP] 画面の [SDI OUT] 項目を [OFF] に設定してください。なお、設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [EVF MODE] 項目が [AUTO] に設定されていると、液晶モニターの開閉でビューファインダーの表示が消えます。
- [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目を [PH 1080/24P] に設定し、[AV OUT SETUP] 画面の [SDI 24PsF] 項目を [ON] に設定していると、〈HDMI〉および〈VIDEO OUT〉出力されません。
- 出力端子からの映像にはタイムコード、オーディオレベルメーターなど、一部表示されない表示があります。

■ 外部機器（テレビ / モニター）接続時の出力一覧表

[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時

モード	メニュー設定					出力端子フォーマット			
	REC FORMAT	SDI&HDMI OUT SEL	DOWNCON MODE*6	SDI OUT	SDI 24PsF	SDI OUT	HDMI OUT	VIDEO OUT	DV OUT
AVCHD	1080/60i(30P)、 1080/60P	1080i/720P	無効	ON	無効	1080/60i*5	1080/60i*5	出力しない	出力しない
	1080/24P				ON	1080/24PsF	出力しない*2	出力しない	
					OFF	1080/60i	1080/60i	出力しない	
	720/60P(30P)、 720/24P	SIDE CROP LETTER BOX SQUEEZE*1	OFF	無効	無効	720/60P	720/60P	出力しない	
	1080/60i(30P)、 1080/24P				出力しない	1080/60i	480/60i		
	720/60P(30P)、 720/24P	DOWN CONV	SIDE CROP LETTER BOX SQUEEZE	ON	無効	480/60i	480/60P*4	出力しない	
1080/60i(30P)、 1080/24P 720/60P(30P)、 720/24P			OFF	出力しない		480/60P*4	480/60i		
DV	480/60i 480/30P 480/24P	無効	無効	ON	無効	480/60i	出力しない	480/60i	480/60i
				OFF		出力しない	出力しない	480/60i	480/60i

[SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時

モード	メニュー設定				出力端子フォーマット			
	REC FORMAT	SDI&HDMI OUT SEL	DOWNCON MODE*6	SDI OUT	SDI OUT	HDMI OUT	VIDEO OUT	DV OUT
AVCHD	1080/50i(25P)、 1080/50P	1080i/720P	メニュー設定 無効	ON	1080/50i*5	1080/50i*5	出力しない	出力しない
	720/50P(25P)				720/50P	720/50P	出力しない	
	1080/50i(25P)	SIDE CROP LETTER BOX SQUEEZE*1	OFF	出力しない	1080/50i	576/50i		
	720/50P(25P)			出力しない	720/50P	576/50i*3		
DV	1080/50i(25P) 720/50P(25P)	DOWN CONV	SIDE CROP LETTER BOX SQUEEZE	ON	576/50i	576/50P*4	出力しない	
	576/50i 576/25P	無効	無効	OFF	出力しない	576/50P*4	576/50i	
DV				ON	576/50i	出力しない	576/50i	576/50i
				OFF	出力しない	出力しない	576/50i	576/50i

* 1 それぞれ〈VIDEO OUT〉出力時のみ有効です。

* 2 設定メニュー [AV OUT SETUP] 画面の [SDI 24PsF] 項目が [ON] 時は、〈HDMI〉出力されません。

* 3 HDMI 接続時は、〈VIDEO OUT〉から映像は出力されません。HDMI 未接続時に出力されます。

* 4 AVCHD モードの場合、[AV OUT SETUP] 画面の [SDI&HDMI OUT SEL] 項目で [DOWN CONV] 設定時は、HDMI OUT 端子からはプログレッシブ信号（480P または 576P）に変換して出力されます。

* 5 記録フォーマットが 1080/60P または 1080/50P の場合でも、1080/60P または 1080/50P で出力しません。1080/60i または 1080/50i で出力します。

* 6 設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [VIDEO OUT OSD] 項目が [ON] で以下の設定の場合、〈SDI OUT〉/〈HDMI〉/〈VIDEO OUT〉出力時は文字切れを防ぐため、メニューを開くと自動的に [LETTER BOX] で表示します。メニューを閉じると [SIDE CROP] に戻ります。

AVCHD モード：[AV OUT SETUP] 画面の [DOWNCON MODE] 項目が [SIDE CROP] の時

DV モード：[RECORDING SETUP] 画面の [ASPECT CONV] 項目が [SIDE CROP] の時

ノンリニア編集をする

編集用のパーソナルコンピューターとUSB2.0ケーブルで接続(65ページ)して、メモリーカード内の映像データをノンリニア編集することができます。

十分に充電されたバッテリー、またはACアダプターをご使用ください。

USB接続を行う場合は次の条件が必要です。

- Windows XP、Windows Vista または Windows 7 を搭載したパーソナルコンピューター、または Intel 製 CPU を搭載した Macintosh (Intel Mac)
- USB2.0 (High Speed、MassStorageClass) 対応 (USB1.1 は対応していません)
- パーソナルコンピューターは 1 台のみ接続してください。
- 本機とパーソナルコンピューターの間にハブ等、他の機器が接続されていると操作できません。

1 メモリーカードを本機に挿入し、POWER/MODE スイッチを〈ON〉にする。(Vol.1 の 27 ページ)

2 本機とパーソナルコンピューターを USB2.0 ケーブルで接続する。
接続する前にパーソナルコンピューターの電源を入れてください。

3 [PC] を選択する。
[RECORDER] を選択すると、ブルーレイディスクレコーダーなどにダビングできます。

4 パーソナルコンピューターでノンリニア編集を行う。

パーソナルコンピューターのマイコンピュータまたはデスクトップに、メモリーカードの中身がリムーバブルディスクとしてアイコン表示されます。(70 ページ)

(例) Windows の場合



リムーバブルディスク (E:)

(例) Macintosh の場合



NO NAME

- 本機のファイルをパーソナルコンピューターにコピーする時は、ファイルの上書きなどにお気をつけて操作を行ってください。
- 詳しくは、パーソナルコンピューター側の編集ソフトの説明をご覧ください。
- メモリーカードを入れ替える場合は、アクセスランプが点滅していないこと、およびメモリーカードにアクセスしていないことを確認してください。
- パーソナルコンピューターと接続中は、本機の操作が行えません。
- ケーブルを抜く時は、パーソナルコンピューターで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。
- メモリーカードスロットカバーが開いていると、メモリーカードにアクセスできません。
- バッテリー使用時に USB 接続している場合は、〈SDI OUT〉〈HDMI〉〈VIDEO OUT〉の各端子から出力されません。USB 接続時、液晶モニターやビューファインダーにメッセージが表示されて消えますが、OPERATION レバーを操作すると再表示します。(AC アダプター接続時は、この制約はありません。)

5 本機の電源を切る。

- パーソナルコンピューターで本機が正しく認識できない時は、以下の方法で認識できる場合があります。
 - 本機とパーソナルコンピューターの電源を切ってから再度電源を入れてください。
 - 本機からメモリーカードを取り出し、再度挿入してください。
 - パーソナルコンピューターの他の USB2.0 端子に接続してください。
- SDXC メモリーカードをお使いの場合、パーソナルコンピューターによってはデータを認識できません。パーソナルコンピューターが SDXC メモリーカードに対応しているか、ご確認ください。

メモリーカード記録データの取り扱いについて

AVCHD モードの場合

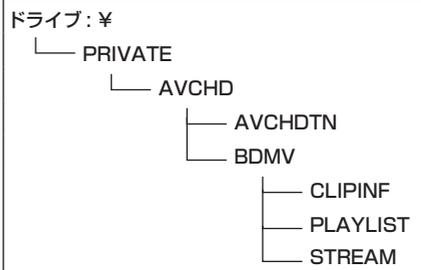
AVCHD フォーマットの記録データは、ファイル形式のため、パーソナルコンピューターとの親和性にすぐれていますが、映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、AVCHD データとして認識できない、メモリーカードが AVCHD 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

■ 本機のメタデータの取り扱いについて

本機のサポートしているメタデータは、AVCHD 規格の管理ファイル領域内のメーカー独自領域を使用しています。

本機のメタデータをサポートしていない編集ソフトやカメラレコーダーでのファイル削除、コピー、クリッププロテクトの付加、削除などの編集動作を行った場合、メタデータの独自領域が消去され、本機で付加したショットマークやインデックス、PH モードの情報などが失われます。

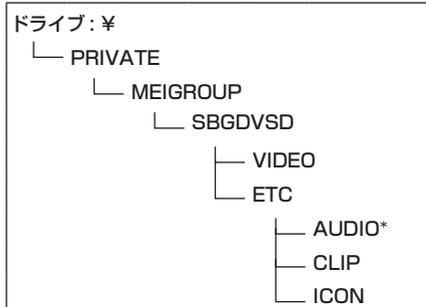
このような編集動作を行う前に、本機のメタデータをサポートしているかをご確認の上、作業してください。



DV モードの場合

DV フォーマットのビデオ・音声データは、AVI Type2 ファイルフォーマット形式で、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。「VIDEO」フォルダーにはビデオ・音声データ（例：001AB00.AVI）が保存されます。また、「ICON」フォルダーにはビデオのサムネイルが保存されます。

映像、音声データだけでなく、本機での再生に必要な情報も保存されていますので、これらの情報が変更、または削除されると、再生できなくなる場合があります。



* 本機では、AUDIO フォルダーは作成されません。

ダビングをする

ブルーレイディスクレコーダーを使ってダビングする

•以下、本書では「ブルーレイディスクレコーダー」を「BDレコーダー」と記載しています。当社製BDレコーダーに本機のAVCHDモードで撮影したメモリーカードを入れて、ブルーレイディスクやDVD、HDDに保存することができます。

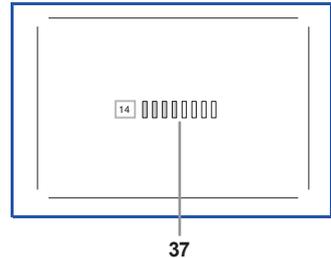
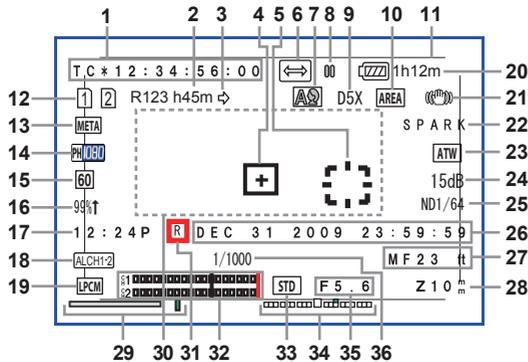
- AVCHD対応のBDレコーダーをお使いください。ただしAVCHDに対応している場合でもダビングできない場合があります。ブルーレイディスクへのダビング方法などについては、BDレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 本機で撮影したビデオをブルーレイディスク(BD-RE,BD-R)またはHDD、DVDへダビングすると、本機のサポートしているメタデータ情報が失われます。

- 1 本機から撮影済みのメモリーカードを取り出す。**
本機の電源をOFFにしてから、メモリーカードを取り出してください。
- 2 メモリーカードをBD/DVDレコーダーのメモリーカードスロットに入れる。**
ブルーレイディスクへのダビング方法などは、BD/DVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。

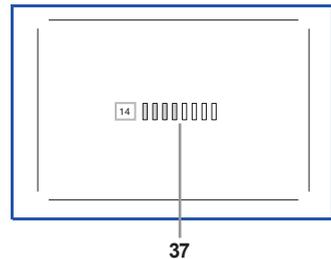
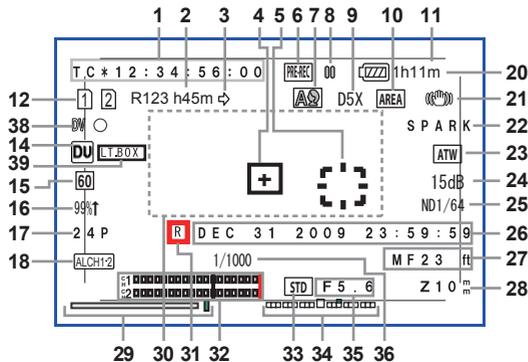
画面の表示

通常の表示

■ AVCHD モード時



■ DV モード時



1 タイムコード表示

〈COUNTER〉ボタンを押すごとに、下記のデータ（または表示なし）に切り替わります。

[COUNTER] :

カウンター値
設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [REC COUNTER] 項目で [TOTAL] を選択した場合に表示されます。

[CLIP] :

撮影ごとの [CLIP] のカウンター値
設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [REC COUNTER] 項目で [CLIP] を選択した場合に表示されます。

- 〈PB〉モード時は、カウンター値は表示されません。

[TC] :

タイムコード値
タイムコード値がメモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[TC *] を表示します。

[UB] :

ユーザーズビット値
ユーザーズビット値がメモリーカードから正しく読みとれなかった時には、[UB *] を表示します。

2 メディア残量表示

設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [REC FORMAT] 項目で設定された記録フレームレートでの残量を表示します。

〈PB〉モード時には表示しません。

- 表示される時間は目安です。
- スロット2の残量もこの位置に表示されます。

3 記録モード表示

[⇄]：リレー記録時

- メディア残量表示は、2枚のメモリーカードの合計残量を表示します。

[⏏]：同時記録時

- メディア残量表示は、同時記録可能な残量を表示します。

4 センターマーカー枠表示

設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [CENTER MARKER] 項目が [ON] の場合に表示されます。

5 AREA 枠表示

AREA 機能の範囲を表示します。

6 記録機能表示

[PRE-REC]：プリレックモード ON 時

[⇄]：インターバル記録モード時
(AVCHD モードのみ)

7 <AUTO/MANU> スイッチ

<AUTO/MANU> スイッチを <AUTO> に切り替えた時に表示します。

[A]：オートモードで撮影時

[A]：[FACE DETECT] 機能が有効なオートモードでの撮影時

<AUTO/MANU> スイッチを <MANU> に切り替えた時に表示します。

[A]：[FACE DETECT] 機能が有効なマニュアルモードでの撮影時 (オートフォーカス、オートアイリス設定時)

8 動作状態表示

[○] (赤色)：撮影

[⏏] (緑色)：撮影待機

[▷] (緑色)：再生

[⏏] (白色)：再生一時停止

INDEX [⏏]：INDEX 付加位置での再生一時停止

[⏏▷] ([◀⏏])：コマ送り再生

(逆方向コマ送り再生)

[▷▷] ([◀◀])：頭出し (逆方向頭出し)

[▷▷] ([◀◀])：早送り / 早戻し再生

(巻き戻し / 早戻し再生)

[▷] ([◀])：最終シーンでの一時停止

(先頭シーンでの一時停止)

9 デジタルズーム倍率表示

デジタルズーム倍率を表示します。

[D2X]：2倍

[D5X]：5倍

[D10X]：10倍

10 AREA 動作表示

<FUNCTION> ノブで機能枠内のエリアで動作中に表示します。

11 セーフティーゾーン

設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [SAFETY ZONE] 項目 (89 ページ) の設定により、範囲を表示します。

• AVCHD モード時

[90%]：16:9 の 90% 表示

[4:3]：4:3 の 100% 表示

[14:9]：14:9 の 100% 表示

[1.85:1]：1.85:1 の 100% 表示

[2:1]：2:1 の 100% 表示

[2.35:1]：2.35:1 の 100% 表示

[2.39:1]：2.39:1 の 100% 表示

[GRID]：9分割縦横ライン 16:9 画角の表示

• DV モード時

[90%]：16:9 の 100% 表示

[4:3]：4:3 の 100% 表示

12 メディア情報表示

挿入されているメモリーカードの基本情報を表示します。上段にスロット 1、下段にスロット 2 の情報を表示します。

[1] [2]：

記録可能なメモリーカード (白色)

- 記録対象の場合、緑色で表示します。

[⊗]：

ライトプロテクトがかかっている

[⊗]：

記録不可能なメモリーカード

[⊗]：

メモリーカードの容量がいっぱい

- 表示がされていても記録できる場合があります。

- メモリーカードの容量や種類によっては、撮影中にメモリーカードの容量がいっぱいになり撮影が停止しても、表示されない場合があります。

[⊗]：

再生専用メモリーカード

1000 以上のクリップが記録されたメモリーカードは再生専用になります。

[⊗]：

メモリーカードスロット 1、2 ともにメモリーカード未挿入

- 赤く点滅します。

13 メタデータ記録表示 (AVCHD モードのみ)

[META]：メタデータ記録 [ON] 時

表示なし：メタデータ記録 [OFF] 時

14 記録フォーマット表示 (85 ページ)

15 システム周波数表示

システム周波数を表示します。

[] : [SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時

[] : [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時

16 マーカー輝度表示

マーカー表示の時、画面中央付近の映像レベルを [0%] ~ [99%] で表示します。[99%] を超える時は、[99%↑] を表示します。

- AREA Y-GET 機能動作時は、AREA 枠中央付近の映像レベルを表示します。(23 ページ)

17 フレームレート表示

記録フレームレートを表示します。

1080/60i、1080/50i の時は表示しません。

18 オーディオリミッター表示

AUDIO AUTO/MANU CH1/CH2 スイッチが 〈MANU〉 に設定されていて、設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [AUDIO LIMITER CH1] / [AUDIO LIMITER CH2] 項目が [ON] の場合に表示されます。

[] : [AUDIO LIMITER CH1] = [ON] 時

[] : [AUDIO LIMITER CH2] = [ON] 時

[] : [AUDIO LIMITER CH1]、
[] : [AUDIO LIMITER CH2] = [ON] 時

19 記録オーディオ種別表示(AVCHDモードのみ)

[] : [LINEAR PCM] 記録時

[] : VFR 記録時、インターバル記録時に音声が記録されない表示をします。VFR 記録時は外部端子からの音声が出力されません。また、オーディオレベルメーターも動作しません。

表示なし : Dolby Digital 記録時

20 バッテリー残量表示

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。表示されるまでしばらく時間がかかります。

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、

[] → [] → [] → [] → [] と表示が変わります。

3分以下になると [] が赤色に点滅し、容量がなくなると、[] が点滅します。

- 低温、高温になるところや、長時間で使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)

- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。
- モードを切り替えたり、REC CHECK を行ったり、液晶モニターの明るさを変更したときなどは、バッテリー残量時間が再度計算するため時間表示が一度消えます。
- AC アダプター使用時は表示されません。

21 手ブレ補正表示

[] : 手ブレ補正が ON の時に表示されます。

22 シーンファイル名表示 (42 ページ)

23 [AWB] 情報表示

ホワイトバランスの情報を表示します。

[ATW] : [ATW] 設定時

[P3.2 K/P5.6 K/VAR] : プリセット時

[Ach/Bch] : A/B 時

[LOCK] : [ATW] ロック時

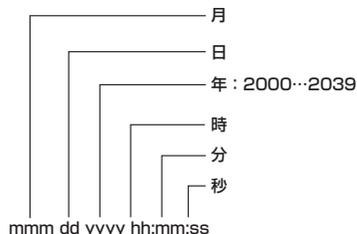
24 ゲイン表示

設定されている映像アンプのゲイン値を表示します。オートモードの時は [AGC] と表示されます。

25 ND フィルター表示

選択している ND フィルターを表示します。

26 日付と時刻表示



設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [DATE FORMAT] 項目で、並び順を変更できます。

27 フォーカス制御情報表示

[99] ~ [00] でフォーカス制御情報を表示します。
 オートフォーカスの時は [AF]、マニュアルフォーカスの時は [MF] と表示されます。また、設定メニュー [SW MODE] 画面の [MF ASSIST] 項目が [ON] の場合、マニュアルフォーカス時は [MA] と表示されます。マクロ制御に設定している時は [AF]、[MF] または [MA] が白黒反転表示になります。
 [95] (合焦距離:無限遠) ~ [00] (合焦距離:約 5 cm)
 ズームポジションにより、マクロ範囲にならないことがあります。また、ズームポジションにより、マクロ範囲の下限値が異なることがあります。
 設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [ZOOM&FOCUS] 項目で、単位を feet または m に切り替えられます。

28 ズームポジション表示

[Z00] (広角最大) ~ [Z99] (望遠最大) でズームポジションを表示します。
 設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [ZOOM&FOCUS] 項目で、単位を [mm] に切り替えられます。
 また、フォーカスポジション表示はリニアに動きません。工場出荷時は [NUMBER] 表示です。

29 FOCUS BAR 表示



液晶モニター / ビューファインダーの左下に上記表示をします。映像の高周波成分を数値化し表示しています。
 白バー：フォーカスバー表示
 緑線：ピーク表示

30 情報表示

状況に応じて、下記のような情報を表示します。
 ● オートホワイトバランスやオートブラックバランスの動作状態を表示します。
 ● ワーニング (76 ページ)
 ● 現在の撮影条件下で推奨する ND フィルターを表示します。
 ● AWB エラーメッセージ ([LOW LIGHT] / [LEVEL OVER]) を表示します。(19 ページ)
 ● 〈DISP/MODE CHK〉 ボタンを押している間、USER ボタンに割り当てた機能を表示します。

31 タイムスタンプ表示

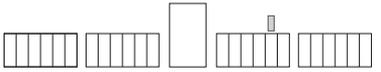
設定メニュー [RECORDING SETUP] 画面の [TIME STAMP] 項目が [ON] の場合に表示されます。

32 オーディオレベルメーター表示 (41 ページ)

33 オートアイリス制御表示

[STD] : 標準オートアイリス制御
 [SPOT] : スポットライト用のオートアイリス制御
 [BACK] : 逆光補正用のオートアイリス制御

34 IRIS METER 表示



液晶モニター / ビューファインダーの右下に上記表示をします。
 中央：標準光量を示します。
 右：光量オーバーを示します。
 左：光量アンダーを示します
 表示上の緑色の点：
 オートアイリス時の補正量を示します。

35 アイリス表示

F 値を表示します。

36 シャッタースピード表示

シャッタースピードを表示します。

37 モニター音量レベルメーター

〈AUDIO MON/ADV〉 ボタンを押すと、内蔵スピーカーとヘッドホンジャックから出力される音量が表示されます。

38 DV コントロール機器状態表示 (DV モードのみ)

〈DV OUT〉 端子に接続されている機器の状態を表示します。
 [DV ○] (赤色) : 撮影
 [DV ○○] (赤色) : 撮影待機
 [DV ⊗] : 機器が制御できない状態、または機器が撮影 / 撮影待機にならない状態
 [DV] : 機器が接続されていない状態

39 記録アスペクト表示 (DV モードのみ)

記録アスペクトが [LETTER BOX] 設定時に表示されます。

主なワーニング

液晶モニターやビューファインダーに表示される、主なワーニング表示を記載しています。その他のワーニング表示については、表示されるメッセージを確認してください。

■ A

**[ALL DATA WILL BE DELETED.
(INCLUDING CLIP OF AVCHD)
FORMAT THE CARD NOW? (SLOT1)]**

フォーマットをすると、記録されている内容はすべて消去されます。(AVCHD クリップ含む)
フォーマットしますか？ (SLOT1)

■ C

**[CANNOT BE USED DUE TO
INCOMPATIBLE DATA.]**

データの規格が異なるため使えません。

[CANNOT DELETE.]

削除できません。

[CANNOT DELETE WITH THIS BUTTON]

削除できません。

[CANNOT PLAY.]

再生できません。

[CANNOT PLAY WITH THIS BUTTON]

再生できません。

**[CANNOT RECORD PH MODE INTO
THIS CARD. PLEASE CHANGE THE REC
FORMAT.]**

このメモリーカードには、PH モードで記録できません。記録フォーマットを変更してください。

**[CANNOT RECORD. THE NUMBER OF
CLIPS HAS EXCEEDED THE MAXIMUM
LIMIT.]**

クリップ数がいっぱい記録できません。

**[CANNOT SET THE NUMBER OF
INDEXES HAS EXCEEDED THE
MAXIMUM LIMIT.]**

インデックス数が上限を超えるためセットできません。

**[CANNOT SET PRE-REC, CARD
CAPACITY TOO LOW.]**

メモリーカード残量が少ないため PRE-REC は設定できません。

[CARD DOOR OPENED.]

メモリーカードのふたが開いています。

[CARD ERROR. PLEASE REFORMAT.]

フォーマット失敗しました。このメモリーカードは再フォーマットが必要です。

[CARD FULL.]

メモリーカード残量がありません。

[CHECK CARD.]

メモリーカードを確認してください。
以前に他の機器やパーソナルコンピューターでお使いになっていたメモリーカードを本機で初めてお使いの場合、[CHECK CARD.] の表示が出て、操作ができない場合があります。
この場合は、次のように対処してください。

- 1) メモリーカードをいったん本機から取り出し、差し込み直す。(13 ページ)
本機がメモリーカードを認識し、[CHECK CARD.] の表示が消えます。
- 2) 何回抜き差ししても [CHECK CARD.] の表示が消えない場合は、パーソナルコンピューターでメモリーカードの中身を確認し、データをすべて消去する。
- 3) 本機でメモリーカードをフォーマットする。(11 ページ)

パーソナルコンピューターでメモリーカードのデータが読めなかったり、消去できなかった場合はメモリーカードが壊れている可能性があります。別のメモリーカードをご使用ください。

**[CONTROL DATA ERROR HAS BEEN
DETECTED.]**

管理情報にエラーを検出しました。

■ D

[DISCONNECT USB CABLE.]

電源を切る場合は、USB ケーブルを抜いてください。

■ I

**[INCOMPATIBLE CARD.
PLEASE CHECK CARD.]**

使用しているメモリーカードの書き込み速度が遅く、記録ができなくなる可能性がある場合に表示します。

■ N

[NO CARD]

メモリーカードが入っていません。

■ R

[REPAIR CLIP?]

クリップを修復しますか？

■ S

[SET DATE AND TIME]

日時を設定してください。

■ T

[THE CLIP IS PROTECTED. PLEASE CANCEL PROTECTION.]

クリップがプロテクトされています。プロテクトを解除してください。

[THE RECORDING IS STOPPED (OVER THE LIMITATION)]

記録を停止します。(12時間連続録画)

[THE TC MODE IS CHANGED TO "NDF"]

TCモードはNDFになります。

[THIS BATTERY CANNOT BE USED.]

このバッテリーは使えません。

[THIS CARD CANNOT RECORD IN VIDEO MODE.]

このメモリーカードはビデオ記録できません。

[THUMBNAIL DATA ERROR IS DETECTED.]

サムネイル情報にエラーを検出しました。

■ U

[UNABLE TO FORMAT.]

フォーマットできません。

■ W

[WRITE PROTECT]

ライトプロテクトされています。

エラー表示

本機やメモリーカードなどに異常が発生した場合に表示します。一度電源を切っても直らない場合は、表示の内容に従ってメモリーカードを交換するか、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ E

[ERROR OCCURRED. PLEASE TURN POWER OFF.]

本体に異常が発生したときに表示します。一度電源を切ってください。

■ R

[REC WARNING]

記録時に異常が生じたときに表示します。再度記録してください。それでもワーニング表示が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ワーニング表示が続く場合は電源をOFFにしてください。
- 再度記録してもワーニング表示が出る場合は、別のメモリーカードに取り替えてください。

■ S

[SYSTEM ERROR TURN POWER OFF]

システムに異常が発生したときに表示します。電源を入れ直してください。

- クリップを削除した時など、メモリーカードへのアクセス中に表示された場合は、メモリーカードが壊れている可能性があります。新しいメモリーカードに交換してください。
- 修復時に表示された場合は、コンテンツ修復ソフト AVCCAM Restorer (リストアラー) をお使いください。(14ページ)

画面表示内容の選択

ビューファインダーや液晶モニター画面に表示する下記の項目は、〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押した時や、設定メニュー [DISPLAY SETUP] 画面の [OTHER DISPLAY] 項目 (90 ページ) の設定により表示します。

表示項目	MODE CHK	DISPLAY	[OTHER DISPLAY] 項目の設定		
			[ALL]	[PARTIAL]	[OFF]
1 タイムコード表示	—	—	—	—	—
2 メディア残量表示	○	○	—	—	—
3 記録モード表示	○	○	—	—	—
4 センターマーカー枠表示	—	—	—	—	—
5 AREA 枠表示	—	—	—	—	—
6 記録機能表示	○	○	—	—	—
7 〈AUTO/MANU〉スイッチ	○	○	○	○	X
8 動作状態表示	—	—	—	—	—
9 デジタルズーム倍率表示	○	○	○	○	X
10 AREA 動作表示	○	○	—	—	—
11 セーフティゾーン	—	—	—	—	—
12 メディア情報表示	○	○	—	—	—
13 メタデータ記録表示 (AVCHD モードのみ)	○	○	○	X	X
14 記録フォーマット表示	○	○	○	X	X
15 システム周波数表示	○	○	○	X	X
16 マーカー輝度表示	—	—	—	—	—
17 フレームレート表示	○	○	○*1	X	X
18 オーディオリミッター表示	○	○	○	X	X
19 記録オーディオ種別表示 (AVCHD モードのみ)	○	○	○	X	X
20 バッテリー残量表示	○	○	—	—	—
21 手ブレ補正表示	○	○	○	○	X
22 シーンファイル名表示	○	○	○	X	X
23 [AWB] 情報表示	○	○	○	○*2	X
24 ゲイン表示	○	○	○	○*3	X
25 ND フィルター表示	○	○	○	X	X
26 日付と時刻表示	○	○*4	—	—	—
27 フォーカス制御情報表示	○	○	—	—	—
28 ズームポジション表示	○	○	—	—	—
29 FOCUS BAR 表示	○	○	—	—	—
30 情報表示	○	—	—	—	—
31 タイムスタンプ表示	○	○	—	—	—
32 オーディオレベルメーター表示	○	○	—	—	—
33 オートアイリス制御表示	○	○	○	○	X
34 IRIS METER 表示	○	○	—	—	—
35 アイリス表示	○	○	○	○	X
36 シャッタースピード表示	○	○	○	○	X
37 モニター音量レベルメーター	—	—	—	—	—
38 DV コントロール機器状態表示 (DV モードのみ)	—	—	—	—	—
39 記録アスペクト表示 (DV モードのみ)	○	○	○	○	X

○：表示する x：表示しない —：他の設定により表示を行います。

MODE CHK 欄の○は、〈DISP/MODE CHK〉ボタンを長押しすると表示される項目を示しています。
DISPLAY 欄の○は、〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押すと表示が消える項目を示しています。

* 1 フレームレート 50i/60i 時は表示されません。

* 2 Ach、Bch は表示されません。

* 3 0 dB は表示されません。

* 4 「26 日付と時刻表示」、「31 タイムスタンプ表示」の両方を表示させているときは、〈DISP/MODE CHK〉ボタンを押しても表示は消えません。

設定メニュー一覧

[SCENE FILE] 画面

項目	表示モード	設定内容
[LOAD/ SAVE/INIT]	<CAMERA>	<p>[LOAD] : 本機で保存したシーンファイルの設定値を、読み込みます。</p> <p>[SAVE] : 変更したシーンファイルの設定値を、保存します。</p> <p>[INIT] : <SCENE FILE> ダイアルで選択されている、シーンファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。</p> <p>[NO] : 1つ前の画面に戻ります。</p>
[VFR MODE]	<CAMERA> (AVCHD モードのみ)	<p>[ON] : VFR (バリアブルフレームレート) モードに設定します。</p> <p>[OFF] : VFR モードに設定しません。</p> <p>[REC FORMAT] が [PH 1080/24P]、[PH 1080/30P]、[PH 1080/25P] 時のみ動作します。</p> <p>[SDI 24PsF] = [ON] 時、VFR 動作が解除されます。</p> <p>[VFR MODE] = [ON] 時、音声の記録ができません。</p> <p>VFR モードを [ON] にすると、インターバル記録、リレー記録、同時記録の設定はすべて解除されます。また、インターバル記録、リレー記録、同時記録、プリレック機能とは併用できません。</p>
[FRAME RATE]	<CAMERA> (AVCHD モードのみ)	<p>フレームレートの設定を行います。</p> <p>[VFR MODE] が [ON] の時、動作します。</p> <p>カメラ本体左側の <SHTR/F.RATE> でも設定できます。</p> <p>[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時 [REC FORMAT] = [PH 1080/24P] [PH 1080/30P] 時 : [2] / [6] / [9] / [12] / [15] / [18] / [20] / [21] / [22] / [24] / [25] / [26] / [27] / [28] / [30] / [32] / [34] / [36] / [40] / [44] / [48] / [54] / [60] [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時 [REC FORMAT] = [PH 1080/25P] 時 : [2] / [6] / [9] / [12] / [15] / [18] / [20] / [21] / [22] / [23] / [24] / [25] / [26] / [27] / [28] / [30] / [32] / [34] / [37] / [42] / [45] / [48] / [50]</p>
[SYNC SCAN TYPE]	<CAMERA>	<p>シンクロスキャンの表示設定を切り替えます。</p> <p>[deg.] : 角度表示に設定します。</p> <p>[sec] : 速度表示に設定します。</p>
[SYNCHRO SCAN]	<CAMERA>	<p>テレビ画面やパーソナルコンピューターのモニター画面を撮影する時などに使用するシンクロスキャンのシャッタースピードを設定します。</p> <p>OPERATION レバーを上方向や下方向に倒したままにすると、設定値が変わるスピードが速くなります。</p> <p>[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時</p> <ul style="list-style-type: none"> [SYNC SCAN TYPE] = [sec] 設定時 60i/60P モード : [1/60.0] ~ [1/249.8] 秒 30P モード : [1/30.0] ~ [1/48.0] ~ [1/249.8] 秒 24P モード : [1/24.0] ~ [1/48.0] ~ [1/249.8] 秒 [SYNC SCAN TYPE] = [deg.] 設定時 [3.0 d] ~ [180.0 d] ~ [360.0 d] (0.5 d ステップ、角度表示) <p>[SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時</p> <ul style="list-style-type: none"> [SYNC SCAN TYPE] = [sec] 設定時 50i/50P モード : [1/50.0] ~ [1/250.0] 秒 25P モード : [1/25.0] ~ [1/50.0] ~ [1/250.0] 秒 [SYNC SCAN TYPE] = [deg.] 設定時 [3.0 d] ~ [180.0 d] ~ [360.0 d] (0.5 d ステップ、角度表示)
[DETAIL LEVEL]	<CAMERA>	<p>画像の輪郭補正 (水平垂直の両方向) の強弱の調整を行います。</p> <p>[-7] ... [0] ... [+7]</p>
[V DETAIL LEVEL]	<CAMERA>	<p>画像垂直方向の輪郭補正の強弱の調整を行います。</p> <p>[-7] ... [0] ... [+7]</p>

____ は <SCENE FILE> ダイアル <F1> の工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容
[DETAIL CORING]	<CAMERA>	ディテール信号のノイズを除去するレベルを調整します。 一方向にすると鮮明な画像になりますが、ノイズも多少増えます。 +方向にするとノイズが少なくなります。 [-7] … [0] … [+7]
[CHROMA LEVEL]	<CAMERA>	クロマレベルの調整を行います。 [-7] … [0] … [+7]
[CHROMA PHASE]	<CAMERA>	色相の調整を行います。 [-7] … [0] … [+7]
[COLOR TEMP Ach]	<CAMERA>	色温度の微調整（ホワイトバランス Ach の調整を行った後の微調整）を行います。 [-7] … [0] … [+7]
[COLOR TEMP Bch]	<CAMERA>	色温度の微調整（ホワイトバランス Bch の調整を行った後の微調整）を行います。 [-7] … [0] … [+7]
[MASTER PED]	<CAMERA>	映像の基準とする黒のマスターペダスタルの調整を行います。 [-15] … [0] … [+15]
[A.IRIS LEVEL]	<CAMERA>	AUTO IRIS 目標値の設定を行います。 [-6] … [0] … [+6]
[DRS]	<CAMERA>	[DRS]（ダイナミックレンジストレッチャー）機能を選択します。 [ON]： [DRS] 機能を有効にします。 [OFF]： [DRS] 機能を無効にします。 ● USER ボタンに [DRS] 機能を割り当てると、USER ボタンを押して ON/OFF の切り替えができます。
[DRS EFFECT]	<CAMERA>	[DRS]（ダイナミックレンジストレッチャー）機能のレベルを選択します。 通常の撮影では白飛びする高輝度な部分の映像信号レベルを圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。 [1]、[2]、[3] ● 数値が大きいくほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。
[GAMMA]	<CAMERA>	ガンマカーブを選択します。 [HD NORM]： HD 撮影に適したガンマ設定です。 [LOW]： 低輝度部の傾きがゆるやかなガンマカーブを使用して、落ち着いた映像にします。コントラストはシャープになります。 [SD NORM]： 当社製の AG-DVX100 シリーズを継承した通常の映像設定です。 [HIGH]： 低輝度部の傾きが急なガンマカーブを使用して、暗い部分の階調を広げて明るい感覚の映像にします。コントラストはソフトになります。 [B.PRESS]： LOW よりコントラストをシャープにします。 [CINE-LIKE D]： 映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 [CINE-LIKE V]： コントラスト重視の映画感覚の映像に仕上げるガンマカーブを使用します。 ● [CINE-LIKE] ガンマを選択した時は、その特長を十分に生かすために、レンズ絞りは通常の映像レベルより低く（約 1/2）することをお勧めします。
[KNEE]	<CAMERA>	白飛びを押さえるために、撮像素子が受光した高輝度の映像信号を圧縮するレベル（ニーポイント）を設定します。 [AUTO]： 受光した信号に応じて自動で設定します。 [LOW]： 低めの設定（約 80% から圧縮を開始） [MID]： 中間の設定（約 90% から圧縮を開始） [HIGH]： 高めの設定（約 100% から圧縮を開始） ● [DRS] の値を設定している時や、[GAMMA] を [CINE-LIKE] ガンマに設定している時は選択できません。

項目	表示モード	設定内容
[MATRIX]	〈CAMERA〉	マトリックステーブルを選択して、撮影時の色を表現します。 [NORM1] ： 屋外やハロゲンランプの光源で撮影を行う時に適した色を表現します。 [NORM2] ： [NORM1] より鮮やかな色を表現します。 [FLUO] ： 蛍光灯下の屋内で撮影を行う時に適した色を表現します。 [CINE-LIKE] ： 映画感覚の撮影を行う時に適した色を表現します。
[SKIN TONE DTL]	〈CAMERA〉	肌色ディテールの [ON] / [OFF] を切り替えます。[ON] にすると、肌色部分のディテールが減少し、肌のざらざら感を少なくします。 [ON] [OFF]
[CARD READ]	〈CAMERA〉	メモリーカードから、シーンファイルを読み出します。 [SLOT1] ： スロット 1 のメモリーカードに保存されたシーンファイル (〈F1〉 ~ 〈F6〉 のすべて) の設定値を選択して読み出します。 [SLOT2] ： スロット 2 のメモリーカードに保存されたシーンファイル (〈F1〉 ~ 〈F6〉 のすべて) の設定値を選択して読み出します。 [NO] ： 1 つ前の画面に戻ります。
[CARD WRITE]	〈CAMERA〉	メモリーカードへ、シーンファイルを保存します。 [SLOT1] ： スロット 1 のメモリーカードにシーンファイル (〈F1〉 ~ 〈F6〉 のすべて) の設定値を保存します。 [SLOT2] ： スロット 2 のメモリーカードにシーンファイル (〈F1〉 ~ 〈F6〉 のすべて) の設定値を保存します。 [NO] ： 1 つ前の画面に戻ります。
[NAME EDIT]	〈CAMERA〉	現在選択されているシーンファイルの名前を編集します。 [YES] [NO]

_____は〈SCENE FILE〉ダイヤル 〈F1〉の工場出荷モードです。

[SW MODE] 画面

項目	表示モード	設定内容
[FUNCTION KNOB]	〈CAMERA〉	〈FUNCTION〉 ノブの AREA 動作に割り当てる機能を設定します。 [INH] ： 機能を割り当てない。 [FOCUS] ： AUTO FOCUS/FOCUS BAR 機能 [IRIS] ： AUTO IRIS/IRIS METER 機能 [Y GET] ： [Y GET] (輝度測定) 機能 [FOCUS/IRIS] ： 上記、[FOCUS] と [IRIS] の同時動作 [FOCUS/Y GET] ： 上記、[FOCUS] と [Y GET] の同時動作
[LOW GAIN]	〈CAMERA〉	〈GAIN〉 スイッチの〈L〉位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 [0dB] 、 [3dB] 、 [6dB] 、 [9dB] 、 [12dB] 、 [15dB] 、 [18dB]
[MID GAIN]	〈CAMERA〉	〈GAIN〉 スイッチの〈M〉位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 [0dB] 、 [3dB] 、 [6dB] 、 [9dB] 、 [12dB] 、 [15dB] 、 [18dB]
[HIGH GAIN]	〈CAMERA〉	〈GAIN〉 スイッチの〈H〉位置に割り当てる、ゲイン値を設定します。 [0dB] 、 [3dB] 、 [6dB] 、 [9dB] 、 [12dB] 、 [15dB] 、 [18dB]
[SUPER GAIN]	〈CAMERA〉	USER ボタンに割り当てるスーパーゲインの値を選択します。 [24dB] 、 [30dB]

_____は工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容
[ATW]	〈CAMERA〉	<p>〈WHITE BAL〉スイッチ (〈A〉 / 〈B〉 / 〈PRST〉) のいずれかの位置) に [ATW] (自動追尾式ホワイトバランス) 機能を割り当てます。ただし、USER ボタンに [ATW] 機能を割り当てている場合は、その USER ボタンの動作に従います。</p> <p>[Ach] : 〈WHITE BAL〉スイッチを〈A〉の位置に切り替えた時に、[ATW] 機能を動作させます。</p> <p>[Bch] : 〈WHITE BAL〉スイッチを〈B〉の位置に切り替えた時に、[ATW] 機能を動作させます。</p> <p>[PRST] : 〈WHITE BAL〉スイッチを〈PRST〉の位置に切り替えた時に、[ATW] 機能を動作させます。</p> <p>[OFF] : 〈WHITE BAL〉スイッチで [ATW] 機能を動作させません。</p>
[MF ASSIST]	〈CAMERA〉	<p>マニュアルフォーカスモード時、最後のフォーカスを自動で合わせます。</p> <p>[ON] : 最後のフォーカスを自動で合わせます。</p> <p>[OFF] : フォーカスの自動動作は行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フォーカスのずれが大きき場合はフォーカスが合わないときがあります。 • 〈CAM REMOTE〉端子に接続されたリモコン操作では動作しません。
[FOCUS ASSIST]	〈CAMERA〉	<p>〈FOCUS ASSIST〉ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>[IN RED] : 映像の輪郭部分が赤色でふち取られます。</p> <p>[EXPAND] : 液晶モニター画面中央部が拡大表示されます。</p>
[HANDLE ZOOM]	〈CAMERA〉	<p>〈HANDLE ZOOM〉スイッチの各位置に割り当てる、ズームスピードを設定します。</p> <p>[L/OFF/H] : 〈1〉 / 〈2〉 / 〈3〉の各位置に、LOW (低速) / OFF / HIGH (高速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。)</p> <p>[L/M/H] : 〈1〉 / 〈2〉 / 〈3〉の各位置に、LOW (低速) / MID (中速) / HIGH (高速) を設定します。</p> <p>[L/OFF/M] : 〈1〉 / 〈2〉 / 〈3〉の各位置に、LOW (低速) / OFF / MID (中速) を設定します。(OFF は、ズーム動作を行いません。)</p>

_____は工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容
[USER1]	<CAMERA> <PB>	<p><USER1> ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>[INH] : 機能を割り当てません。</p> <p>[FACE DETECT] : 顔検出機能です。AUTO IRIS/AUTO FOCUS 動作を検出された顔中心に行います。フォーカス制御とアイリス制御、両方がオート設定の時に有効になります。</p> <p>[WFM] : ウェーブフォームの表示を切り替えます。カメラ撮影時の液晶モニターにのみ表示されます。</p> <p>[EVF DTL] : ボタンを押すと画面映像の輪郭が強調され、フォーカスが合わせやすくなります。</p> <p>[D.ZOOM] : DIGITAL ZOOM 機能の倍率を切り替えます。ボタンを押すごとに、OFF (× 1) → × 2 → × 5 → × 10 → OFF (× 1) の順に切り替わります。</p> <p>[DRS] : [DRS] 機能の [ON] / [OFF] を切り替えます。</p> <p>[S.GAIN] : 設定された値 ([24dB] / [30dB]) に切り替わります。</p> <p>[ATW] : [ATW] 機能の [ON] / [OFF] を切り替えます。</p> <p>[ATW LOCK] : [ATW] 時にボタンを押すと、ホワイトバランスの値を固定します。再度押すと、[ATW] 機能動作を行います。</p> <p>[SHOT MARK] : ショットマークを記録します。(27ページ) 記録中、サムネール表示中、クリップ表示中に有効です。</p> <p>[INDEX] : インデックス記録(27ページ)記録中に有効です(AVCHDモードのみ)。</p> <p>[LAST CLIP] : 撮影直後のクリップを削除します。(27ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影後に次のことを行った場合は、クリップを削除できません。 <ul style="list-style-type: none"> - <PB> モードに切り替えた場合 - 記録フォーマットを変更した場合 - パーソナルコンピューターと USB 接続した場合 - 本機の電源を切った場合 - メモリーカードスロットカバーを開けた場合 <p>[BACKLIGHT] : 逆光補正用のオートアイリス制御</p> <p>[SPOTLIGHT] : スポットライト用のオートアイリス制御の ON/OFF を切り替えます。</p> <p>[BLACKFADE] : ブラックフェード (25 ページ)</p> <p>[WHITEFADE] : ホワイトフェード (25 ページ)</p>
[USER2]	<CAMERA> <PB>	<p><USER2> ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>設定内容は [USER1] 項目と同じです。</p> <p>[D.ZOOM]</p>
[USER3]	<CAMERA> <PB>	<p><USER3> ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>設定内容は [USER1] 項目と同じです。</p> <p>[SHOT MARK]</p>
[WFM]	<CAMERA>	<p><WFM> ボタンを押したときの WAVE FORM の表示を切り替えます。</p> <p>[WAVE] : 波形で表示します。</p> <p>[VECTOR] : ベクトルで表示します。</p> <p>[WAVE/VECTOR] : ボタンを押すごとに、[OFF] → [WAVE] → [VECTOR] → [OFF] の順に切り替わります。</p>
[LCD]	<CAMERA> <PB>	<p><LCD> ボタンに割り当てる機能を設定します。</p> <p>[LCD REV] : 液晶モニターに表示される映像の上下、左右を反転します。</p> <p>[LCD BL] : 液晶モニターのバックライトの明るさを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <LCD> ボタンを使って切り替えた設定は、[DISPLAY SETUP] 画面の [LCD BACKLIGHT] 項目の設定にも反映されます。

_____は工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容
[FACE FRAMING]	<CAMERA>	<p>USER ボタンで [FACE DETECT] 機能の動作時に検出された顔を枠表示します。検出する枠は最大 15 個で大きいもの、画面の中心に近いものが優先されます。</p> <p>[OFF] : 表示しません。</p> <p>[PRIMARY] : 優先枠のみ表示します。</p> <p>[ALL] : 顔検出枠をすべて表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先枠は、オレンジ色で囲まれます。優先枠にピントを合わせて、明るさを調整します。

_____は工場出荷モードです。

[AUTO SW] 画面

項目	表示モード	設定内容
[A.IRIS]	<CAMERA>	<p>[ON] : オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行います。この時 <IRIS> ボタンは機能しません。</p> <p>[OFF] : オートモードの時に、オートアイリス制御の動作を行いません。<IRIS> ボタンで選択されているアイリス制御の動作を行います。</p>
[AGC]	<CAMERA>	<p>[A.IRIS] 項目で [ON] が選択された時のオートゲイン制御の動作を設定します。</p> <p>[OFF] : オートモードの時に、オートゲイン制御を行いません。<GAIN>スイッチで選択されているゲイン制御の動作を行います。</p> <p>[6dB] : オートモードの時に、最大 6 dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p>[12dB] : オートモードの時に、最大 12 dB のオートゲイン制御を行います。</p> <p>[18dB] : オートモードの時に、最大 18 dB のオートゲイン制御を行います。</p>
[ATW]	<CAMERA>	<p>[ON] : オートモードの時に、[ATW] (自動追尾式ホワイトバランス) 機能が動きます。この時 <WHITE BAL> スイッチや USER ボタンでは、[ATW] 機能動作の [ON] / [OFF] を行うことができません。ただし、USER ボタンに [ATW LOCK] を割り当てている時は、USER ボタンでホワイトバランスの値を固定することができます。</p> <p>[OFF] : オートモードの時に、[ATW] 機能動作を行いません。<WHITE BAL> スイッチで選択されているホワイトバランス機能動作を行いません。</p>
[AF]	<CAMERA>	<p>[ON] : オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行います。この時 <FOCUS> スイッチは機能しません。</p> <p>[OFF] : オートモードの時に、オートフォーカスの動作を行いません。<FOCUS> スイッチで選択されているフォーカスの動作を行います。</p>

_____は工場出荷モードです。

[RECORDING SETUP] 画面

項目	表示モード	設定内容
[HD/SD MODE]	<CAMERA>	AVCHD モード /DV モードを切り替えます。 [AVCHD]、[DV] • [TURN POWER OFF] のメッセージが表示されたら、一度電源を切り、再度電源を入れてください。再度電源を入れることにより、モードが切り替わります。
[REC FORMAT]	<CAMERA>	<p>■ AVCHD モードの場合</p> <p>記録フォーマットを選択します。(12 ページ)</p> <p>• [PH 1080/24P]、[PH 720/24P] はネイティブ記録です。 [SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時 [PS 1080/60P]、[PH 1080/60i]、[PH 1080/30P]、 [PH 1080/24P]、[PH 720/60P]、[PH 720/30P]、 [PH 720/24P]、[PM 720/60P]、[HA 1080/60i]、[HE 1080/60i]、 [CH 1080/60i] [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時 [PS 1080/50P]、[PH 1080/50i]、[PH 1080/25P]、 [PH 720/50P]、[PH 720/25P]、[PM 720/50P]、[HA 1080/50i]、 [HE 1080/50i]、[CH 1080/50i]</p> <p>■ DV モードの場合</p> <p>記録フォーマットを選択します。(12 ページ)</p> <p>[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時 [DV 480/60i]、[DV 480/30P]、[DV 480/24P] [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時 [DV 576/50i]、[DV 576/25P]</p>
[ASPECT CONV]	<CAMERA> (DV モードのみ)	DV モード記録時のアスペクト比を選択します。 [SIDE CROP] : 4:3 で記録します。左右両端をカットします。 [LETTER BOX] : 16:9 で記録します。上下に黒い帯が追加されます。 [SQUEEZE] : 水平方向に圧縮して記録します。
[PREREC MODE]	<CAMERA>	プリレックを設定します。 [ON] : プリレックを設定します。 [OFF] : 設定しません。 • [TCG] が [FREE RUN] に設定されます。 • インターバル記録の設定は解除されます。
[SIMUL REC]	<CAMERA>	2つのメモリーカードスロット両方に、同じ映像を記録します。(30 ページ) [ON] : 同時記録モードに設定します。 [OFF] : 通常記録モードに設定します。
[RELAY REC]	<CAMERA>	[ON] : リレー記録を行います。記録中のメモリーカードがFULLになった時、もう一方のメモリーカードスロットに記録可能なメモリーカードが挿入されていた場合に、連続して記録を継続します。 [OFF] : リレー記録しません。対象のメモリーカードがFULLになった時点で記録を停止します。

_____は工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容
[INTERVAL REC]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	長時間かけてゆっくり動くシーンを記録間隔を空けてこま撮りをして短時間の動画として記録します。設定した記録時間ごとに 1 コマが記録され、AVCHD モードでは 24 コマ (PAL25 コマ) で 1 秒の映像となります。 [OFF]、[1SECOND]、[10SECONDS]、[30SECONDS]、[1MINUTE]、[2MINUTES] インターバル記録を設定する場合は、記録フォーマットを下記の値に設定してください。下記の設定以外では、[RECORDING SETUP] 画面の [INTERVAL REC] 項目がグレー表示され、設定できません。 [SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時: [PH 1080/24P] [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時: [PH 1080/25P] <ul style="list-style-type: none"> • [PH 1080/24P] に設定されている場合、TC RECRUN は NDF 固定になります。 • 撮影時間は最大 168 時間です。 • 音声記録はできません。
[TIME STAMP]	〈CAMERA〉	撮影した映像に [DATE] / [TIME] 情報を重畳する機能を設定します。 [ON]: [DATE] / [TIME] 項目で設定されている情報を映像に重畳します。 [OFF]: 日付や時刻の情報を映像に重畳しません。
[PS/PH AUDIO MODE]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	[REC FORMAT] = PS/PH 時に、記録する音声のフォーマットを選択します。 [LINEAR PCM]: 非圧縮の LPCM で記録します。 [Dolby Digital]: Dolby Digital で記録します。 <ul style="list-style-type: none"> • PS/PH モード以外は Dolby Digital 固定です。 • [LINEAR PCM] に設定して記録したコンテンツは、弊社従来機種では再生できません。
[AUDIO LIMITER CH1]	〈CAMERA〉	CH1 オーディオ入力のリミッタ機能を設定します。 [ON]: 過大入力時のみレベルを下げる (〈AUDIO LEVEL〉つまみでの調整可能) [OFF]: リミッター無し (〈AUDIO LEVEL〉つまみでの調整可能)
[AUDIO LIMITER CH2]	〈CAMERA〉	CH2 オーディオ入力のリミッタ機能を設定します。 [ON]: 過大入力時のみレベルを下げる (〈AUDIO LEVEL〉つまみでの調整可能) [OFF]: リミッター無し (〈AUDIO LEVEL〉つまみでの調整可能)
[MIC GAIN1]	〈CAMERA〉	AUDIO INPUT1 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 [-40dB]、[-50dB]、[-60dB]
[MIC GAIN2]	〈CAMERA〉	AUDIO IINPUT2 端子に接続する、外部マイクの入力レベルを設定します。 [-40dB]、[-50dB]、[-60dB]

_____は工場出荷モードです。

[TC/UB SETUP] 画面

項目	表示モード	設定内容
[TC MODE]	〈CAMERA〉	<p>内部タイムコードジェネレーターのタイムコードを記録する時の、タイムコード補正モードを選択します。</p> <p>[DF]：ドロップフレームモードを使用します。</p> <p>[NDF]：ノンドロップフレームモードを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録フォーマットの記録フレームレートを 24P に設定している時は、自動で [NDF] に設定されます。 [SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時のみ有効です。
[TCG]	〈CAMERA〉	<p>内部タイムコードジェネレーターを歩進させる動作モードを設定します。</p> <p>[FREE RUN]：動作モードに関係なく歩進させます。24P に設定している時は、〈PB〉モードへの切り替えを行うと誤差が発生する場合があります。</p> <p>[REC RUN]：撮影中の時に歩進させます。</p>
[TC PRESET]	〈CAMERA〉	<p>記録するタイムコードの初期値を設定します。</p> <p>記録フォーマットの記録フレームレートを 24P に設定している場合、AVCHD モード時はフレームの値を 0 または 4 の倍数に、DV モード時は 5 フレーム単位に設定してください。他の値の場合、記録するタイムコードがずれます。</p> <p>[YES] [NO]</p>
[UB MODE]	〈CAMERA〉 (DV モードのみ)	<p>ユーザーズビットとして記録する内容を設定します。</p> <p>[USER]：ユーザーの情報を記録します。</p> <p>[TIME]：時刻を記録します。</p> <p>[DATE]：日時を記録します。</p> <p>[TCG]：タイムコードジェネレーターの値を記録します。</p> <p>[FRAME RATE]：フレーム変換のフレームレート情報を記録します。</p>
[UB PRESET]	〈CAMERA〉	<p>ユーザーズビットを設定します。</p> <p>[YES] [NO]</p>
[EXT TC LINK]	〈CAMERA〉	<p>マルチカメラ撮影をする時に、タイムコードの初期値を同期します。([SLAVE] 側のタイムコードを、[MASTER] 側の内部 [TCG] の値に同期させます。)</p> <p>[MASTER]：本機をマスターモードにします。</p> <p>[SLAVE]：本機をスレーブモードにします。〈RESET/TC SET〉ボタンを押した時に、入力タイムコードに対して内部 [TCG] を同期させます。</p> <p>[NO]：1 つ前の画面に戻ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> [MASTER]、[SLAVE] モード設定はこのメニューを開いている時のみ有効です。メニューを閉じると自動的に [EXT TC LINK] が解除されます。

_____は工場出荷モードです。

[AV OUT SETUP] 画面

項目	表示モード	設定内容
[SDI&HDMI OUT SEL]	<CAMERA> <PB> (AVCHD モードのみ)	<SDI OUT> および <HDMI> 出力時の映像方式を設定します。 [1080i/720P] : [REC FORMAT] で設定した解像度で出力します。PS モードは 1080/60i または 1080/50i で出力します。 [DOWN CONV] : [SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時、<SDI OUT> は 480i、<HDMI> は 480P で出力します。[SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時、<SDI OUT> は 576i、<HDMI> は 576P で出力します。
[SDI OUT]	<CAMERA> <PB>	<SDI OUT> 端子からの映像出力を設定します。 [ON] : <SDI OUT> 出力から映像を出力します。 この時、液晶モニターとビューファインダーは、同時に表示しません。 ビューファインダー使用時は液晶モニターを閉じてください。 [OFF] : <SDI OUT> 出力から映像を出力しません。
[SDI 24PsF]	<CAMERA> <PB> (AVCHD モードのみ)	<SDI OUT> 出力からの映像フォーマットを 24PsF にします。 [ON] : [REC FORMAT] = 1080/24P 時のみ動作します。また [ON] にすると VFR 動作が解除されます。24PsF 出力時は、<HDMI> 出力が停止します。 [OFF] : SDI 出力が、1080/60i 形式で出力されます。 • [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時は、この項目はありません。
[SDI EDH]	<CAMERA> <PB>	<SDI OUT> 出力時に、<SDI OUT> 出力への EDH の重畳を設定します。 [ON] : EDH を重畳します。 [OFF] : EDH を重畳しません。
[DOWNCON MODE]	<CAMERA> <PB> (AVCHD モードのみ)	ダウンコンパートの出力モードを切り替えます。 [SIDE CROP] : 左右両端をカットします。外部出力端子<VIDEO OUT><HDMI> <SDI OUT> から出力した映像は、画面からはみ出して見えなくなる部分があります。 [LETTER BOX] : 上下に黒い帯を追加します。 [SQUEEZE] : 水平方向に圧縮します。
[HP MODE]	<CAMERA>	ヘッドホンの出力を切り替えます。 [LIVE] : マイクから入力された音声をそのまま出力します。音の遅延が気になる場合に選択します。 [RECORDING] : 記録される状態の音声（映像と同期した音声）を出力します。
[TEST TONE]	<CAMERA>	BARS 設定が ON の時 CH1/2 へのテストトーン出力を設定します。 [LEVEL 1] : 1 kHz のテストトーンを出力します。 [LEVEL 2] : テストトーンを LEVEL 1 より小さい音量で出力します。 [OFF] : テストトーンを出力しません。
[VIDEO SETUP]	<CAMERA> <PB>	映像信号のセットアップレベルを設定します。 [0%] : <VIDEO OUT> 端子出力、記録上ともセットアップ 0% になります。 [7.5%A] : <VIDEO OUT> 端子出力はセットアップ 7.5%、記録上はセットアップ 0% になります。 • [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時は、この項目はありません。
[AUDIO OUT]	<CAMERA> <PB>	<AUDIO OUT> 端子 (A/V OUT) から出力する音声信号を設定します。 [CH1/CH2] : CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH2 信号 [CH1] : CH1 端子 = CH1 信号、CH2 端子 = CH1 信号 [CH2] : CH1 端子 = CH2 信号、CH2 端子 = CH2 信号 • 他機で 5.1 ch 記録されたメモリーカードを本機で再生した場合、<AUDIO OUT> 端子とヘッドホン端子からの出力は 2ch にダウンミックスコンパートされます。

_____は工場出荷モードです。

[DISPLAY SETUP] 画面

項目	表示モード	設定内容
[ZEBRA DETECT1]	〈CAMERA〉	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、右側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 [105%]、[100%]、[95%]、[90%]、[85%]、[80%]、[75%]、[70%]、[65%]、[60%]、[55%]、[50%]
[ZEBRA DETECT2]	〈CAMERA〉	ビューファインダーや液晶モニターに表示する、左側に傾いたゼブラパターンのレベルを設定します。 [OFF]、[105%]、[100%]、[95%]、[90%]、[85%]、[80%]、[75%]、[70%]、[65%]、[60%]、[55%]、[50%]
[Y GET MARKER]	〈CAMERA〉	輝度レベル表示用マーカの表示 [ON] / [OFF] を切り替えます。 [ON] に設定すると、〈ZEBRA〉 ボタンを押して、マーカを表示することができます。 [ON]、[OFF]
[SAFETY ZONE]	〈CAMERA〉	[SAFETY ZONE] を設定します。 ■ AVCHD モードの場合 [90%]： 16：9 の 90% 表示 [4:3]： 4:3 の 100% 表示 [14:9]： 14:9 の 100% 表示 (16:9 と 4:3 の中間サイズ) [1.85:1]： 1.85:1 の 100% 表示 (アメリカンビスタの範囲) [2:1]： 2:1 の 100% 表示 (スコープサイズの範囲) [2.35:1]： 2.35:1 の 100% 表示 (シネマスコープの範囲) [2.39:1]： 2.39:1 の 100% 表示 [GRID]： 9 分割縦横ライン 16:9 画角の表示 [OFF]： SAFETY ZONE を表示しません。 ■ DV モードの場合 [90%]： 16：9 の 90% 表示 [4:3]： 4:3 の 100% 表示 [OFF]： SAFETY ZONE を表示しません。
[CENTER MARKER]	〈CAMERA〉	マーカ表示の [ON] / [OFF] を設定します。 [ON] に設定すると、〈ZEBRA〉 ボタンを押して、マーカを表示することができます。 [ON]、[OFF]
[FOCUS BAR]	〈CAMERA〉	FOCUS ASSIST バー表示の [ON] / [OFF] を設定します。[ON] に設定すると、FOCUS ASSIST バーを表示することができます。 [ON]、[OFF]
[IRIS METER]	〈CAMERA〉	[IRIS METER] の表示を設定します。 [ON]： 映像の明るさについて、本機で判定した最適値との差を表示します。右にバーが出る：明る過ぎると判定しています。左にバーが出る：暗すぎると判定しています。 [OFF]： IRIS METER を表示しません。
[REC COUNTER]	〈CAMERA〉	撮影時のカウンター動作を選択します。 [TOTAL]： 〈COUNTER〉 ボタンでリセットするまでカウントを継続します。 [CLIP]： 撮影開始時にカウンターをリセットし、撮影単位の時間をカウントします。 • 〈PB〉 モード時は、カウンター値は表示されません。

_____は工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容
[VIDEO OUT OSD]	<CAMERA> <PB>	[ON] に設定すると、ビューファインダーや液晶モニターに表示している情報を、映像と一緒に映像出力信号として出力します。 [ON]、[OFF] • 外部出力 (VIDEO OUT) (SDI OUT) (HDMI) には、表示しない項目があります。
[DATE/TIME]	<CAMERA> <PB>	ビューファインダーや液晶モニターと映像出力信号に、日付や時刻を表示する設定を行います。 [OFF]： 日付や時刻を表示しません。 [TIME]： 時刻を表示します。 [DATE]： 日付を表示します。 [TIME&DATE]： 日付と時刻を表示します。
[DATE FORMAT]	<CAMERA> <PB>	年月日表示の表示スタイルを変更します。 [Y/M/D]： 年月日 [M/D/Y]： 月日年 [D/M/Y]： 日月年
[LEVEL METER]	<CAMERA> <PB>	オーディオレベルメーター表示の [ON] / [OFF] を切り替えます。 [ON]、[OFF]
[ZOOM& FOCUS]	<CAMERA>	ズーム値とフォーカス値の単位表示を切り替えます。 [OFF]、[NUMBER]、[mm/m]、[mm/feet] • [mm/feet] 表示、[mm/m] 表示には誤差がありますので目安としてお使いください。
[CARD& BATTERY]	<CAMERA> <PB>	メモリーカードの記録残量とバッテリー残量の表示の [ON] / [OFF] を切り替えます。 [ON]、[OFF]
[OTHER DISPLAY]	<CAMERA> <PB>	ビューファインダーや液晶モニターに表示する情報表示を設定します。 [OFF]、[PARTIAL]、[ALL]
[LCD SET]	<CAMERA> <PB>	液晶モニター映像の表示レベルを調整します。 [BRIGHTNESS]： 明るさ [COLOR]： 色レベル [CONTRAST]： コントラスト
[EVF SET]	<CAMERA> <PB>	ビューファインダー映像の表示レベルを調整します。 [BRIGHTNESS]： 明るさ [COLOR]： 色レベル [CONTRAST]： コントラスト
[LCD BACKLIGHT]	<CAMERA> <PB>	液晶モニターのバックライトを調整します。 [+1]、[0]、[-1]、[-2]、[-3] [+1]： 通常より明るくなります。 [-3]： 最も暗くなります。
[SELF SHOOT]	<CAMERA>	対面撮影を行う時に、液晶モニターをミラーモードに切り替えます。 [MIRROR] に設定すると、対面撮影時に液晶モニターの映像が左右反転して表示されます。 [NORMAL]、[MIRROR]
[EVF MODE]	<CAMERA> <PB>	画面映像の切り替えを選択します。 [AUTO]： 液晶モニターを開くと、ビューファインダーの映像が消えます。 [ON]： ビューファインダーには、常に映像を表示します。 • [AV OUT SETUP] 画面の [SDI OUT] 項目が [ON] の場合は、強制的に [AUTO] の動作になります。
[EVF COLOR]	<CAMERA> <PB>	ビューファインダー表示をカラー / モノクロから選択します。 [ON]： カラー表示 [OFF]： 白黒表示

_____は工場出荷モードです。

[CARD FUNCTIONS] 画面

項目	表示モード	設定内容
[CARD FORMAT]	〈CAMERA〉 〈PB〉	メモリーカードをフォーマットします。 [SLOT1]: スロット 1 に挿入されたメモリーカードをフォーマットします。 [SLOT2]: スロット 2 に挿入されたメモリーカードをフォーマットします。 [NO]: 1 つ前の画面に戻ります。
[CARD STATUS]	〈CAMERA〉 〈PB〉	メモリーカードの状態を表示します。 [SLOT1]: スロット 1 に挿入されたメモリーカードの情報を表示します。 [SLOT2]: スロット 2 に挿入されたメモリーカードの情報を表示します。 [NO]: 1 つ前の画面に戻ります。
[CLIP PROPERTY]	〈PB〉	選択したクリップの情報を表示します。 [YES]: クリップ情報を表示します。 [NO]: 1 つ前の画面に戻ります。 〈DISP/MODE CHK〉ボタンで表示することもできます。

_____は工場出荷モードです。

[USER FILE] 画面

項目	表示モード	設定内容
[CARD READ]	〈CAMERA〉 〈PB〉	メモリーカードへ保存されたユーザーファイルを読み出します。 [SLOT1]: スロット 1 に挿入されたメモリーカードからユーザーファイルを読み出します。 [SLOT2]: スロット 2 に挿入されたメモリーカードからユーザーファイルを読み出します。 [NO]: 1 つ前の画面に戻ります。 • システム周波数が異なるユーザーファイルを読み出す場合は、本体のシステム周波数を変更してから読み出してください。
[CARD WRITE]	〈CAMERA〉 〈PB〉	ユーザーファイルを、メモリーカードへ保存します。保存するファイルにはタイトルを付けることもできます。 [SLOT1]: スロット 1 に挿入されたメモリーカードにユーザーファイルを保存します。 [SLOT2]: スロット 2 に挿入されたメモリーカードにユーザーファイルを保存します。 [NO]: 1 つ前の画面に戻ります。
[LOAD/SAVE/INIT]	〈CAMERA〉 〈PB〉	[LOAD]: 前回保存されたユーザーファイルの設定値を読み出します。 [SAVE]: 変更したユーザーファイルの設定値を保存します。 [INIT]: ユーザーファイルの設定値を工場出荷時の状態に戻します。 [NO]: 1 つ前の画面に戻ります。 • [LOAD] や [INIT] を行った時は、設定値を有効にするために、本機の POWER/MODE スイッチを OFF にし、再度 ON にしてください。 • [INIT] を実行しても、シーンファイルの設定値、タイムコード、[OPERATION TIME] 項目、[CLOCK SET] 項目、[TIME ZONE] 項目の設定は変更されません。

_____は工場出荷モードです。

[META DATA] 画面 (AVCHD モードのみ)

項目	表示モード	設定内容
[CARD READ]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	メモリーカードにセットしたメタデータを本機にロードします。 [SLOT1] [SLOT2] [NO] ●メモリーカードにメタデータが記録されていない時は、[NO FILE] が表示されます。
[RECORD]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	本機にロードするメタデータを同時にメモリーカードに記録するかどうかを設定します。 [ON] : 同時に記録します。 [OFF] : 同時に記録しません。
[USER CLIP NAME]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	[USER CLIP NAME] の記録方法を選択します。 [TYPE1] : アップロードされたメタデータ、またはアップロードデータがない場合は [CLIP NAME] と同じ名前になります。 [TYPE2] : アップロードされたデータ + COUNT 値、またはアップロードデータがない場合は [CLIP NAME] と同じ名前になります。
[META DATA PROP]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	本機に記録されたメタデータを表示します。 [YES] [NO]
[CLIP COUNTER RST]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	COUNT の値を 1 にリセットします。 [YES] [NO]
[META INIT SET]	〈CAMERA〉 (AVCHD モードのみ)	本機に記録されたメタデータを初期化します。 [RECORD] の [ON] / [OFF] も含め、すべてクリアされます。 [YES] [NO]

_____は工場出荷モードです。

[OTHER FUNCTIONS] 画面

項目	表示モード	設定内容
[IR REMOTE]	〈CAMERA〉 (PB)	付属のワイヤレスリモコンでの操作を設定します。 [ON] : リモコンでの操作を受け付けます。 ●本機の近くで、同じ種類のリモコンが使用されていると、リモコン操作を受け付けて、撮影中などに突然、意図しない動作を行う可能性がありますので、お気をつけください。 [OFF] : リモコンでの操作を受け付けません。
[DV CONTROL]	〈CAMERA〉 (DV モードのみ)	[DV OUT] 端子にバックアップ機器を接続してバックアップ撮影する時の制御方法を指定します。 [OFF] : バックアップ機器を制御しません。 [EXT] : 〈START/STOP〉ボタンでバックアップ機器を制御します。ただし、本機での記録は行えません。 [BOTH] : 本機とバックアップ機器とで、バックアップ記録を行います。 [CHAIN] : 記録の最後に近づくとき、待機中のバックアップ機器に自動的に記録を開始します。
[DV CMD SEL]	〈CAMERA〉 (DV モードのみ)	〈START/STOP〉ボタンを押したときに、バックアップ機器が行う記録動作を設定します。 [REC P] : 記録と記録の一時停止を切り替えます [STOP] : 記録と停止を切り替えます。

_____は工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容																																																																																																												
[TALLY LAMP]	<CAMERA> <PB>	タリーランプの点灯を設定します。 [FRONT]：フロントのタリーランプ（マイクロホン側）が点灯します。 [REAR]：リアのタリーランプ（ビューファインダー側）が点灯します。 [BOTH]：フロントとリア、両方のタリーランプが点灯します。 [OFF]：タリーランプは点灯しません。																																																																																																												
[CLOCK SET]	<CAMERA> <PB>	本機の内蔵カレンダーを設定します。																																																																																																												
[TIME ZONE]	<CAMERA> <PB>	GMT に対して、[-12:00] から [+13:00] まで 30 分単位で設定します。 (下記参照) [+9:00]																																																																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>時 差</th> <th>地 域</th> <th>時 差</th> <th>地 域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>+00:00</td><td>グリニッジ</td><td>-00:30</td><td></td></tr> <tr><td>-01:00</td><td>アゾレス諸島</td><td>-01:30</td><td></td></tr> <tr><td>-02:00</td><td>中部大西洋</td><td>-02:30</td><td></td></tr> <tr><td>-03:00</td><td>フェノスアイレス</td><td>-03:30</td><td>ニューファンドランド島</td></tr> <tr><td>-04:00</td><td>ハリファックス</td><td>-04:30</td><td></td></tr> <tr><td>-05:00</td><td>ニューヨーク</td><td>-05:30</td><td></td></tr> <tr><td>-06:00</td><td>シカゴ</td><td>-06:30</td><td></td></tr> <tr><td>-07:00</td><td>デンバー</td><td>-07:30</td><td></td></tr> <tr><td>-08:00</td><td>ロサンゼルス</td><td>-08:30</td><td></td></tr> <tr><td>-09:00</td><td>アラスカ</td><td>-09:30</td><td>マルケサス諸島</td></tr> <tr><td>-10:00</td><td>ハワイ</td><td>-10:30</td><td></td></tr> <tr><td>-11:00</td><td>ミッドウェイ諸島</td><td>-11:30</td><td></td></tr> <tr><td>-12:00</td><td>クワジャリン</td><td>+12:30</td><td></td></tr> <tr><td>+13:00</td><td></td><td>+11:30</td><td>ノーフォーク島</td></tr> <tr><td>+12:00</td><td>ニュージーランド</td><td>+10:30</td><td>ロード・ハウ・アイランド</td></tr> <tr><td>+11:00</td><td>ソロモン諸島</td><td>+09:30</td><td>ダーウィン諸島</td></tr> <tr><td>+10:00</td><td>グアム</td><td>+08:30</td><td></td></tr> <tr><td>+09:00</td><td>東京</td><td>+07:30</td><td></td></tr> <tr><td>+08:00</td><td>北京</td><td>+06:30</td><td>ヤンゴン</td></tr> <tr><td>+07:00</td><td>バンコク</td><td>+05:30</td><td>ムンバイ</td></tr> <tr><td>+06:00</td><td>ダッカ</td><td>+04:30</td><td>カブール</td></tr> <tr><td>+05:00</td><td>イスラマバード</td><td>+03:30</td><td>テヘラン</td></tr> <tr><td>+04:00</td><td>アブダビ</td><td>+02:30</td><td></td></tr> <tr><td>+03:00</td><td>モスクワ</td><td>+01:30</td><td></td></tr> <tr><td>+02:00</td><td>東ヨーロッパ</td><td>+00:30</td><td></td></tr> <tr><td>+01:00</td><td>中央ヨーロッパ</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	時 差	地 域	時 差	地 域	+00:00	グリニッジ	-00:30		-01:00	アゾレス諸島	-01:30		-02:00	中部大西洋	-02:30		-03:00	フェノスアイレス	-03:30	ニューファンドランド島	-04:00	ハリファックス	-04:30		-05:00	ニューヨーク	-05:30		-06:00	シカゴ	-06:30		-07:00	デンバー	-07:30		-08:00	ロサンゼルス	-08:30		-09:00	アラスカ	-09:30	マルケサス諸島	-10:00	ハワイ	-10:30		-11:00	ミッドウェイ諸島	-11:30		-12:00	クワジャリン	+12:30		+13:00		+11:30	ノーフォーク島	+12:00	ニュージーランド	+10:30	ロード・ハウ・アイランド	+11:00	ソロモン諸島	+09:30	ダーウィン諸島	+10:00	グアム	+08:30		+09:00	東京	+07:30		+08:00	北京	+06:30	ヤンゴン	+07:00	バンコク	+05:30	ムンバイ	+06:00	ダッカ	+04:30	カブール	+05:00	イスラマバード	+03:30	テヘラン	+04:00	アブダビ	+02:30		+03:00	モスクワ	+01:30		+02:00	東ヨーロッパ	+00:30		+01:00	中央ヨーロッパ		
時 差	地 域	時 差	地 域																																																																																																											
+00:00	グリニッジ	-00:30																																																																																																												
-01:00	アゾレス諸島	-01:30																																																																																																												
-02:00	中部大西洋	-02:30																																																																																																												
-03:00	フェノスアイレス	-03:30	ニューファンドランド島																																																																																																											
-04:00	ハリファックス	-04:30																																																																																																												
-05:00	ニューヨーク	-05:30																																																																																																												
-06:00	シカゴ	-06:30																																																																																																												
-07:00	デンバー	-07:30																																																																																																												
-08:00	ロサンゼルス	-08:30																																																																																																												
-09:00	アラスカ	-09:30	マルケサス諸島																																																																																																											
-10:00	ハワイ	-10:30																																																																																																												
-11:00	ミッドウェイ諸島	-11:30																																																																																																												
-12:00	クワジャリン	+12:30																																																																																																												
+13:00		+11:30	ノーフォーク島																																																																																																											
+12:00	ニュージーランド	+10:30	ロード・ハウ・アイランド																																																																																																											
+11:00	ソロモン諸島	+09:30	ダーウィン諸島																																																																																																											
+10:00	グアム	+08:30																																																																																																												
+09:00	東京	+07:30																																																																																																												
+08:00	北京	+06:30	ヤンゴン																																																																																																											
+07:00	バンコク	+05:30	ムンバイ																																																																																																											
+06:00	ダッカ	+04:30	カブール																																																																																																											
+05:00	イスラマバード	+03:30	テヘラン																																																																																																											
+04:00	アブダビ	+02:30																																																																																																												
+03:00	モスクワ	+01:30																																																																																																												
+02:00	東ヨーロッパ	+00:30																																																																																																												
+01:00	中央ヨーロッパ																																																																																																													
[LANGUAGE]	<CAMERA> <PB>	メニュー表示言語を設定します。 [日本語]、[English]																																																																																																												
[SYSTEM FREQ]	<CAMERA>	システム周波数を切り替えます。 [59.94Hz]：NTSC 地域 [50Hz]：PAL 地域 • [TURN POWER OFF] のメッセージが表示されたら、一度電源を切り、再度電源を入れてください。再度電源を入れることにより、システム周波数が切り替わります。																																																																																																												
[SYSTEM INFO]	<CAMERA> <PB>	本機システムのバージョンを表示します。																																																																																																												

_____は工場出荷モードです。

項目	表示モード	設定内容
[MENU INIT]	<CAMERA>	メニュー設定（シーンファイル、ユーザーファイル）を工場出荷時の状態に戻します。（タイムコード / [OPERATION TIME] 項目 / [CLOCK SET] 項目 / [TIME ZONE] 項目の設定値を除く）
[OPERATION TIME]	<CAMERA> <PB>	通電時間（5桁）を表示します。

_____は工場出荷モードです。

[OPTION MENU] 画面

項目	表示モード	設定内容
[1394 STATUS]	<CAMERA> (DVモードのみ)	IEEE1394の状態を表示します。 [YES] [NO]
[1394 CONFIG]	<CAMERA> (DVモードのみ)	IEEE1394の設定を行います。 [DFLT]、[1] ~ [255]

[OPTION MENU] は、<DISP/MODE CHK> ボタンを押したまま <MENU> ボタンを押すと表示されます。

_____は工場出荷モードです。

[PLAY SETUP] 画面

項目	表示モード	設定内容
[PB FORMAT]	<PB> (AVCHDモードのみ)	再生するフォーマットを設定します。 [SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時 [1080/60P]、[1080/60i(30P)]、[1080/24P]、[720/60P(30P)]、 [720/24P] [SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時 [1080/50P]、[1080/50i(25P)]、[720/50P(25P)] ● PBモードへ移行する前の<CAMERA>モードの[REC FORMAT]の設定が、[PB FORMAT]の初期値になります。
[REPEAT PLAY]	<PB>	[ON] [OFF] [ON] に設定すると、再生可能なクリップを繰り返し再生します。
[RESUME PLAY]	<PB>	[ON] [OFF] [ON] に設定すると、クリップ再生を停止した映像位置から再生します。
[SKIP MODE]	<PB> (AVCHDモードのみ)	一時停止状態からの頭出しの先頭位置を選択します。 [CLIP]：一つ前のクリップの先頭で再生を停止します。 [CLIP & INDEX]： クリップの先頭と INDEX で停止します。

_____は工場出荷モードです。

[THUMBNAIL] 画面

項目	表示モード	設定内容
[THUMBNAIL MODE]	〈PB〉	サムネールの表示方法を選択します。 [ALL] : すべてのクリップを表示します。 [SAME FORMAT] : 記録フォーマットと同じクリップを表示します。 (AVCHD モードのみ) [MARKER] : ショットマークが付いたクリップを表示します。 [INDEX] : INDEX が付いたクリップを表示します。(AVCHD モードのみ)
[INDICATOR]	〈PB〉	インジケータの表示 / 非表示を設定します。 [ON] : 表示します。 [OFF] : 表示しません。
[DATA DISPLAY]	〈PB〉	クリップの時間表示の部分に表示する内容を選択します。 [TC] : タイムコード [UB] : ユーザーズビット [TIME] : 撮影時間 [DATE] : 撮影日 [DATE&TIME] : 撮影日時
[DATE FORMAT]	〈PB〉	[DATA DISPLAY] 項目の [DATE] または [DATE&TIME] の表示順を選択します。 [Y/M/D] : 年月日 [M/D/Y] : 月日年 [D/M/Y] : 日月年

_____は工場出荷モードです。

[OPERATION] 画面

項目	表示モード	設定内容
[DELETE]	〈PB〉	クリップを削除します。 [ALL CLIPS] : すべてのクリップを削除します。 [SELECT] : 選択したクリップのみを削除します。〈EXEC〉 ボタンを押すと、削除を実行します。 [NO] : 1 つ前の画面に戻ります。 • CLIP PROTECT されたクリップは削除できません。
[INDEX]	〈PB〉 (AVCHD モードのみ)	クリップに [INDEX] を付加、削除します。 [YES] : 表示します。 [NO] : 表示しません。
[CLIP PROTECT]	〈PB〉 (AVCHD モードのみ)	クリップを保護し、誤消去を防ぎます。 [YES] : クリップのプロテクト (保護)、解除ができます。 [NO] : 1 つ前の画面に戻ります。 • クリップがプロテクトされていても、フォーマットを実行すると消去されます。
[REPAIR]	〈PB〉 (DV モード のみ)	不良クリップを修復します。(59 ページ)

_____は工場出荷モードです。

故障？と思ったら (Q&A)

電源関係

電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。 	Vol.1 の P23
電源が入ってもすぐに切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、[■] の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。 	Vol.1 の P22

バッテリー関係

バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分に充電されていますか。AC アダプターの〈CHARGE〉ランプが消灯するまで充電してください。 ● 低い温度の所で使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。 ● バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短い時は、バッテリーの寿命です。 	Vol.1 の P21
バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● DC コードが AC アダプターに接続されていませんか。DC コードを接続していると充電できません。 	Vol.1 の P21
バッテリー残量の分表示が正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリー残量表示は、目安です。バッテリー残量が正しく表示されない場合は、バッテリーを満充電した後、使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になる場所で長時間使用したバッテリーや、充電を繰り返したバッテリーは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります) 	—

撮影

撮影が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> ● POWER/MODE スイッチが〈ON〉になっていますか。 	Vol.1 の P27
自動でピントが合わない。	<ul style="list-style-type: none"> ● マニュアルフォーカスモードになっていませんか。オートフォーカスモードにすると自動でピントが合います。 ● レンズにより、オートフォーカス機能の使用できない場合があります。 ● オートフォーカスモードでピントが合いにくい場面を撮影していませんか。オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。この場合は手動フォーカスモードでピントを合わせることができます。 ピントの合いにくい場面 <ul style="list-style-type: none"> - 遠くと近くのを撮る - 汚れたガラスの向こうのを撮る - 暗い場所を撮る - キラキラと光るものが周りにある - 動きの速いものを撮る - コントラストの少ないものを撮る 	P16

メモリーカードを正しく入れているのに撮影できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードの書き込み禁止スイッチが〈LOCK〉側になっていませんか。〈LOCK〉側になっていると撮影できません。 メモリーカードのメモリー残量が極端に少なくなっていますか。内容を他のメディアに保存した上で不要なデータを消すか、新しいメモリーカードに交換してください。 メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。または、使用できないフォーマットになっていませんか。本機でフォーマットしてください。 8 MB ~ 16 MB のメモリーカードは、動画撮影には使用できません。 	P13 P11 Vol.1 の P11
撮影がかってに止まってしまふ。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ撮影に使用可能なメモリーカードをお使いですか。ビデオ撮影に使用可能なメモリーカードをお使いください。 	Vol.1 の P11

編集

メモリーカードが読めない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードが正しくフォーマットされていますか。本機でフォーマットしてください。 	P11
ノンリニア編集ができない。	<ul style="list-style-type: none"> パーソナルコンピューターと接続ケーブルの仕様を確認してください。 	P65
外部機器にダビングできない。	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器は正しく接続されていますか。 	P65

表示関係

タイムコード表示がおかしくなる。	<ul style="list-style-type: none"> 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならない時がありますが故障ではありません。 	—
------------------	---	---

再生

再生ボタンを押しても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 〈CAMERA〉モードになっていませんか。POWER/MODE スイッチを回して動作ランプ 〈PB〉 を点灯させてください。 再生フォーマットが合っていますか。クリップの記録フォーマットと合わせてください。 	P51
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル特有の現象です。故障ではありません。 	—
テレビと正しく接続しているのに再生画が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの入力切り替えが「ビデオ入力」になっていますか。テレビ側の説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。 	—
本機のスピーカーから再生音声がでない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機の音量調整が小さくなりすぎていませんか。〈AUDIO MON/ADV〉 ボタン 〈+〉 を押して音量を調整してください。 	P63

PC (パーソナルコンピューター) 接続

USB2.0 ケーブルをつないでもパーソナルコンピューターが認識しない。	<ul style="list-style-type: none"> 動作環境を確認してください。 パーソナルコンピューターに複数の USB2.0 端子がある場合は、USB2.0 端子を変更してみてください。 本機の電源を切/入して、USB2.0 ケーブルを接続し直してください。 	P65
USB2.0 ケーブルを外したらパーソナルコンピューターにエラーメッセージが出る。	<ul style="list-style-type: none"> USB2.0 ケーブルを安全に外すために、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。 	—

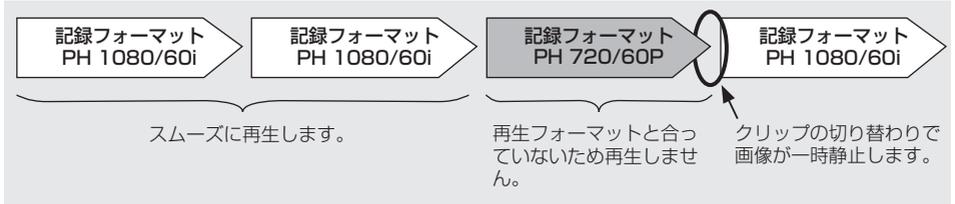
その他

リモコンが働かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンのコイン電池が消耗していませんか。リモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池が消耗しています。新しいコイン電池と交換してください。 ● 設定メニュー [OTHER FUNCTIONS] 画面の [IR REMOTE] 項目が [OFF] になっていませんか？ 	Vol.1 の P26
本機を前後に傾けた時に、カタカタと音がする。	● これはレンズが移動する音です。故障ではありません。電源を入れると音はしなくなります。	—
電源を入れた時や、〈PB〉モードから〈CAMERA〉モードに切り替えた時、一瞬カタツと音がする。	● カメラ起動時の初期化動作です。カメラ構造によるもので、故障ではありません。	—
メモリーカードの画像がおかしい。	● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パーソナルコンピューターなどにも保存するようにしてください。	—
メモリーカードをフォーマットしても使えるようにならない。	● 本機またはメモリーカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では512 MB～64 GBまでのメモリーカードを使用してください。	—
本機にメモリーカードを挿入しても認識しない。	● パーソナルコンピューターでフォーマットしたメモリーカードを挿入していませんか。メモリーカードをフォーマットする場合は本機で行ってください。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。	P11
他の機器にメモリーカードを入れても認識しない。	● メモリーカードを挿入されている機器が、ご使用のメモリーカードの容量、または種類 (SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード) に対応しているかご確認ください。詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。	Vol.1 の P11
液晶モニターに映像の焼き付きが生じる。	● 同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが生じることがありますが、数時間電源を OFF にしておくと、元に戻ります。	—

複数クリップの連続再生時にクリップの切り替わりがスムーズに行われず、AVCHD モードでは、以下のような場合に複数クリップを連続再生すると、クリップが切り替わる時に画像が一時静止することがあります。

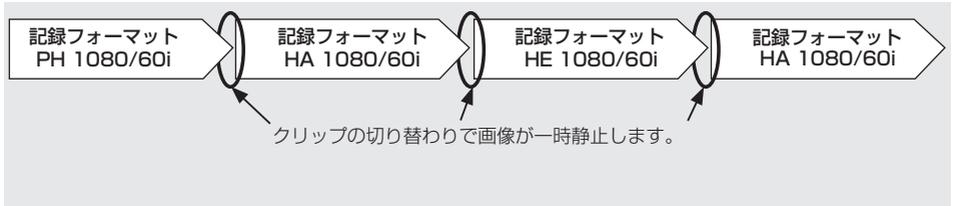
■ 記録フォーマットが混在している場合

記録モード=PHモード
再生フォーマット=1080/60i (30P)

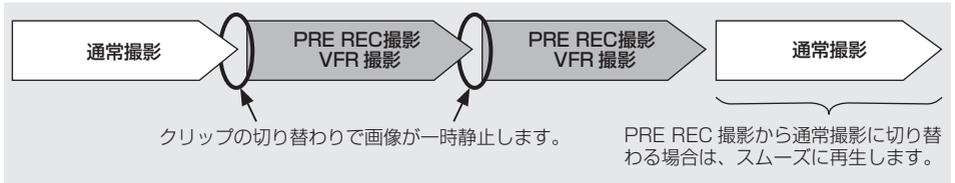


■ 記録モードが混在している場合

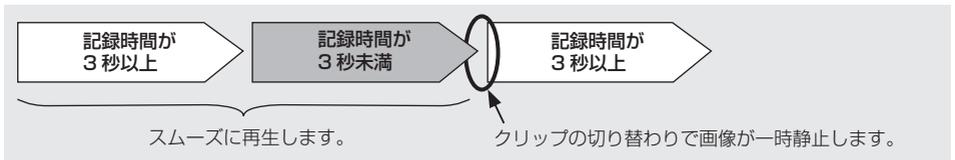
記録フォーマット=1080/60i
再生フォーマット=1080/60i (30P)



■ PRE REC 機能や VFR 機能を使って撮影したクリップがある場合



■ 記録時間が 3 秒未満のクリップがある場合



本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアに関する最新情報またはアップデートの方法は、下記のウェブサイトのサポートページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

お手入れについて

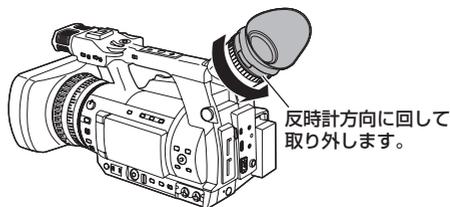
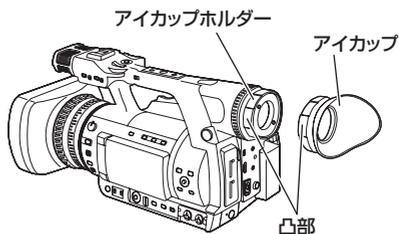
お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、カメラ本体が変形したり、塗装がはげるおそれがあります。
- お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布でカメラをふいてください。汚れがひどい時は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダーの内部にほこりが付着した場合、アイカップホルダーを取り外して除去してください。

- アイカップホルダーの内側には、特殊処理を施していますので、絶対にふかないでください。ほこりが付着した時は、エアブローなどで吹き飛ばしてください。
- アイカップホルダーは、アイカップを付けた状態で反時計方向に回して取り外します。
(アイカップホルダーは、固めに締めてあります。)
この時、少しビューファインダーを上向きに行ってください。
- アイカップホルダーを取り付ける時は、アイカップホルダーとカメラ本体の凹凸部を合わせ、時計方向にカチッと音がするまで回してください。



保管上のお願い

保管時は、カメラからメモリーカードを出し、バッテリーを外してください。

湿気が少なく比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

推奨温度：15℃～25℃

推奨相対湿度：40%～60%

カメラレコーダー

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。

バッテリー

- 極端に低温、高温になる所では、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多い所に保管すると、端子がさびるなどして故障の原因となることがあります。
- バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートし発熱することがあり、この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。

メモリーカード

- 本機から取り出した時は、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たる所など温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿気の高い所やほこりが多き所には置かないでください。

海外で使う

ACアダプターを海外で使用するには

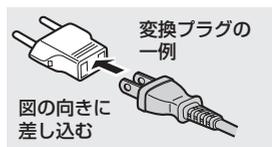
ACアダプターは、電源電圧 (100 V ~ 240 V)、電源周波数 (50Hz、60Hz) でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

充電のしかたは、国内と同じです。

ACアダプターは日本国内で使用することを前提として設計されていますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグをACコンセントから外してください。



記録フォーマット一覧

[SYSTEM FREQ] = [59.94Hz] 時

記録モード			フレームレート		
			60i	30P	24P
AVCHD	PS	1080/60P	1080/60P	—	—
	PH	1080/60i	1080/60i	1080/30P (over 60i)	1080/24P (ネイティブ記録)
		720/60P	720/60P	720/30P (over 60P)	720/24P (ネイティブ記録)
	PM	720/60P	720/60P	—	—
	HA	1080/60i	1080/60i	—	—
	HE	1080/60i	1080/60i	—	—
	CH	1080/60i	1080/60i	—	—
DV		480/60i	480/60i	480/30P (over 60i)	480/24P (over 60i)

[SYSTEM FREQ] = [50Hz] 時

記録モード			フレームレート	
			50i	25P
AVCHD	PS	1080/50P	1080/50P	—
	PH	1080/50i	1080/50i	1080/25P (over 50i)
		720/50P	720/50P	720/25P (over 50P)
	PM	720/50P	720/50P	—
	HA	1080/50i	1080/50i	—
	HE	1080/50i	1080/50i	—
	CH	1080/50i	1080/50i	—
DV		576/50i	576/50i	576/25P (over 50i)

さくいん

A			
AC アダプター	13, 48, 102		
ATW	20		
AUDIO INPUT1/2 端子 (XLR3 ピン)	40		
AVCCAM Restorer (リストアラー)	14		
AVCHD フォーマット	70		
AVCHD モード	11, 27, 9		
B			
BNC ケーブル	67		
D			
DV モード	11, 27, 9		
H			
HDMI ケーブル	67		
HD モード	27, 9		
I			
IEEE1394	94		
IRIS	17		
L			
LAST CLIP	27		
N			
ND フィルター	18		
R			
REC CHECK	10		
S			
SD メモリーカード			
アクセスランプ	11		
入れかた	9		
記録時間	12		
記録データ	70		
修復	14		
種類	11, 12		
スロット選択	11, 54		
取り出し	13		
フォーマット	11		
保護	13		
SD モード	27, 9		
U			
USB2.0 ケーブル	65		
USER ボタン	25		
V			
VFR	32, 34		
あ			
アイカップ	25		
アイリス	17		
い			
インターバル記録	86		
インデックス記録	27		
う			
ウェブフォームモニター機能	26		
え			
映像ピンケーブル	67		
液晶モニター	14, 5		
エラー表示	77		
お			
オートモード	10		
音声ピンケーブル	67		
音量調整			
音声の記録レベル	41		
再生音量	63		
撮影時のモニター音量	26		
か			
カウンター	47		
画面の表示	72		
カラーバー	25		
ガンマ	80		
き			
逆光補正	25		
記録フォーマット	102		
く			
クリップ			
再生	51, 52, 62		
削除	58		
修復	14, 59		
情報	60		
プロテクト	58		
メタデータ	45		
け			
ゲイン	18		
さ			
再生	51		
再生フォーマット	55		
撮影	9		

サムネール			
サムネール画面	52	
表示方法	57	
し			
シーンファイル	29 , 42	
自動追尾式ホワイトバランス	20	
視度調整ダイヤル	4	
絞り	17	
シャッタースピード	35	
充電			
バッテリー	13 , 21	
内蔵電池	48	
ショットマーク	27	
シンクロスキャン	38	
す			
ズーム	15	
スタンダード記録	33	
せ			
接続			
外部マイク	64	
テレビ/モニター	67	
パーソナルコンピューター	65	
ヘッドホン	64	
設定メニュー			
一覧	79	
構成	32	
初期化	29	
操作	28	
ゼブラパターン	22	
た			
タイムコード	48	
対面撮影	22	
ダビング	71	
タリーランプ	8	
て			
定格	36	
手ブレ補正	25	
と			
動作ランプ	51	
同時記録	30	
な			
内蔵マイク	39	
ね			
ネイティブ記録	33	
の			
ノンリニア編集	69	
は			
パーソナルコンピューター	65	
バックライト	7	
バリアブルフレームレート	32, 34	
ひ			
ビューファインダー	4	
ピント	16	
ふ			
ファームウェア	100	
ファインダー	4	
フォーカスアシスト	17	
フォーカスリング	16	
ブラックバランス	20	
プリレック	28	
プログレッシブモード	21	
ほ			
ホワイトバランス	18	
ま			
マイク			
外部マイク	40	
内蔵マイク	39	
ファントムマイク	40	
マイクホルダー	64	
マニュアルフォーカス	16	
マニュアルモード	16	
ゆ			
ユーザーズビット	50	
り			
リピート再生	55	
リレー機能	29	
れ			
レジューム再生	56	
ろ			
ローアングル撮影	22	
わ			
ワーニング	76	

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2012